

東部球場スコアボード改修工事

図面目録

□電気設備工事

図面番号	図面名称
E - 01	電気特記仕様書(1)
E - 02	電気特記仕様書(2)
E - 03	付近見取図・工事概要・仮設計画図
E - 04	構内配電線路・通信線路図(改修前)
E - 05	構内配電線路・通信線路図(改修後)
E - 06	幹線・通信線系統図(改修前・後)
E - 07	受変電設備単線結線図(改修図)
E - 08	電灯・通信線設備 バックスタンド棟1・R階平面図(改修前)
E - 09	電灯・通信線設備 バックスタンド棟1・R階平面図(改修後)
E - 10	電灯・通信線設備 バックスタンド棟1階放送室平面図(改修後)
E - 11	動力・通信線設備 スタンド棟1・2階平面図(改修前)
E - 12	動力・通信線設備 スタンド棟1・2階平面図(改修後)
E - 13	動力・通信線設備 スタンド棟3・4階平面図(改修前)
E - 14	動力・通信線設備 スタンド棟3・4階平面図(改修後)
E - 15	動力・通信線設備 スタンド棟5・R階平面図(改修前)
E - 16	動力・通信線設備 スタンド棟5・R階平面図(改修後)

□大型映像装置

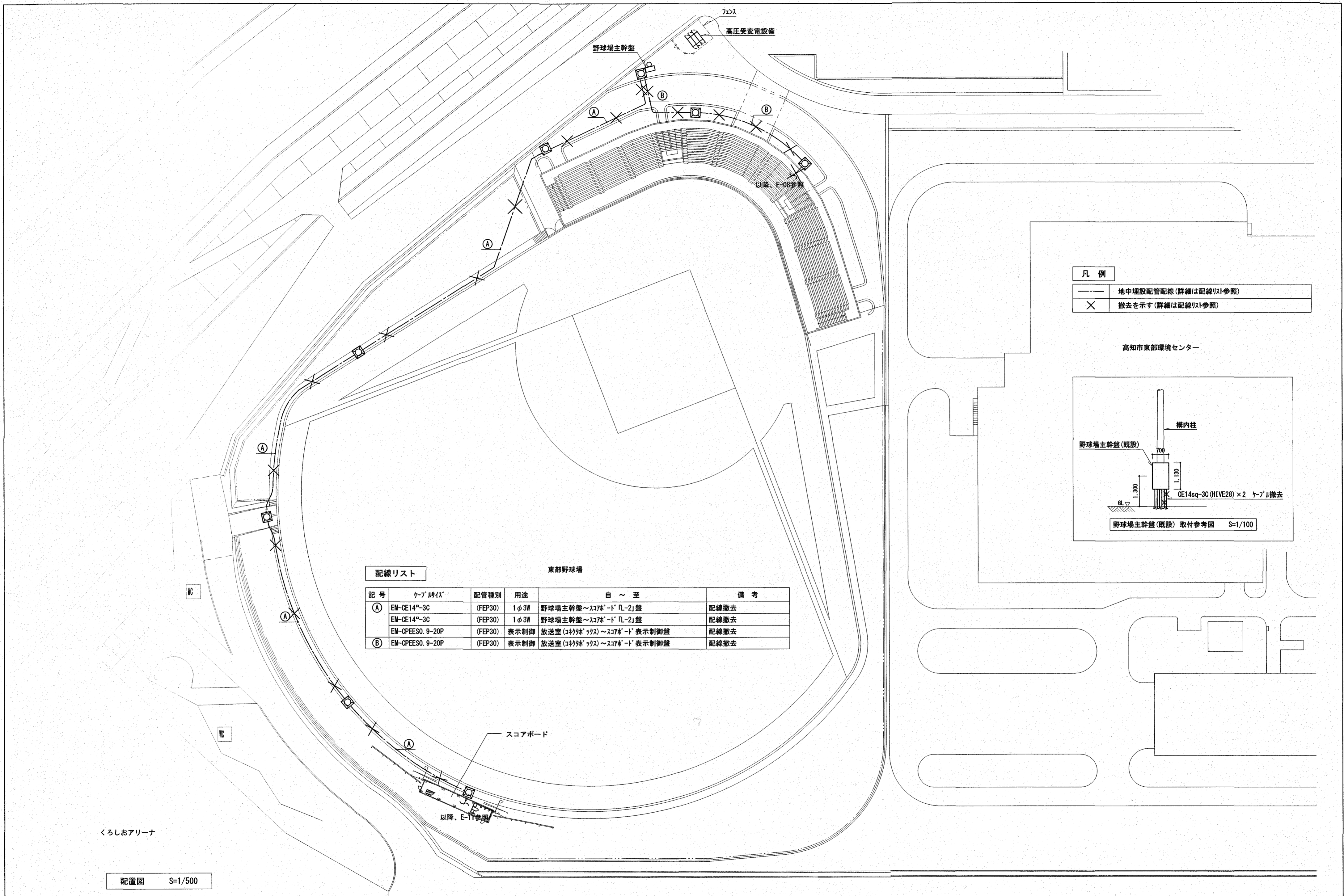
図面番号	図面名称
S - 01	大型映像装置設備 特記仕様書(1)
S - 02	大型映像装置設備 特記仕様書(2)
S - 03	大型映像装置設備 システム系統図
S - 04	大型映像装置設備 電源系統図
S - 05	大型映像装置設備 信号配線系統図
S - 06	大型映像装置設備 機器参考姿図(1)
S - 07	大型映像装置設備 機器参考姿図(2)
S - 08	大型映像装置設備 機器参考姿図(3)
S - 09	大型映像装置設備 機器参考姿図(4)
S - 10	大型映像装置設備 スコアボード外形図(改修前)
S - 11	大型映像装置設備 スコアボード外形図(改修後)
S - 12	大型映像装置設備 スコアボード新設鋼材取付梁伏図
S - 13	大型映像装置設備 スコアボード新設鋼材取付立面図
S - 14	大型映像装置設備 スコアボード側面・立面図(改修後)
S - 15	大型映像装置設備 既設胴縁・屋根撤去図
S - 16	大型映像装置設備 スタンド棟4・5階平面図
S - 17	大型映像装置設備 放送室機器配置図

□機械設備工事

図面番号	図面名称
M - 01	機械特記仕様書(1)
M - 02	空調設備 スタンド棟1階平面図・機器リスト
M - 03	空調設備 スタンド棟2・3階平面図
M - 04	空調設備 スタンド棟4・5階平面図

□建築工事

図面番号	図面名称
A - 01	建築特記仕様書(1)
A - 02	建築特記仕様書(2)
A - 03	バックスクリーン改修図
A - 04	キュービクル基礎詳細図

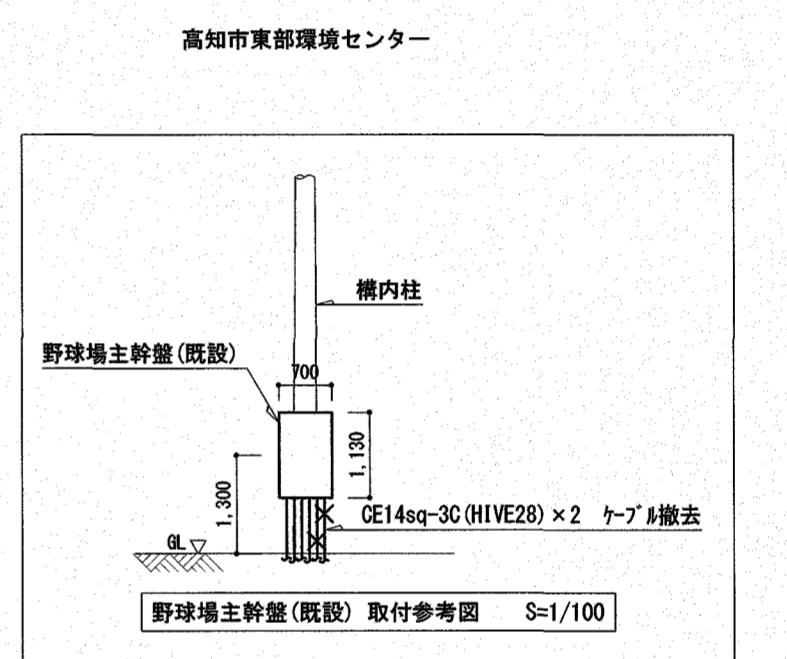


配線リスト 東部野球場

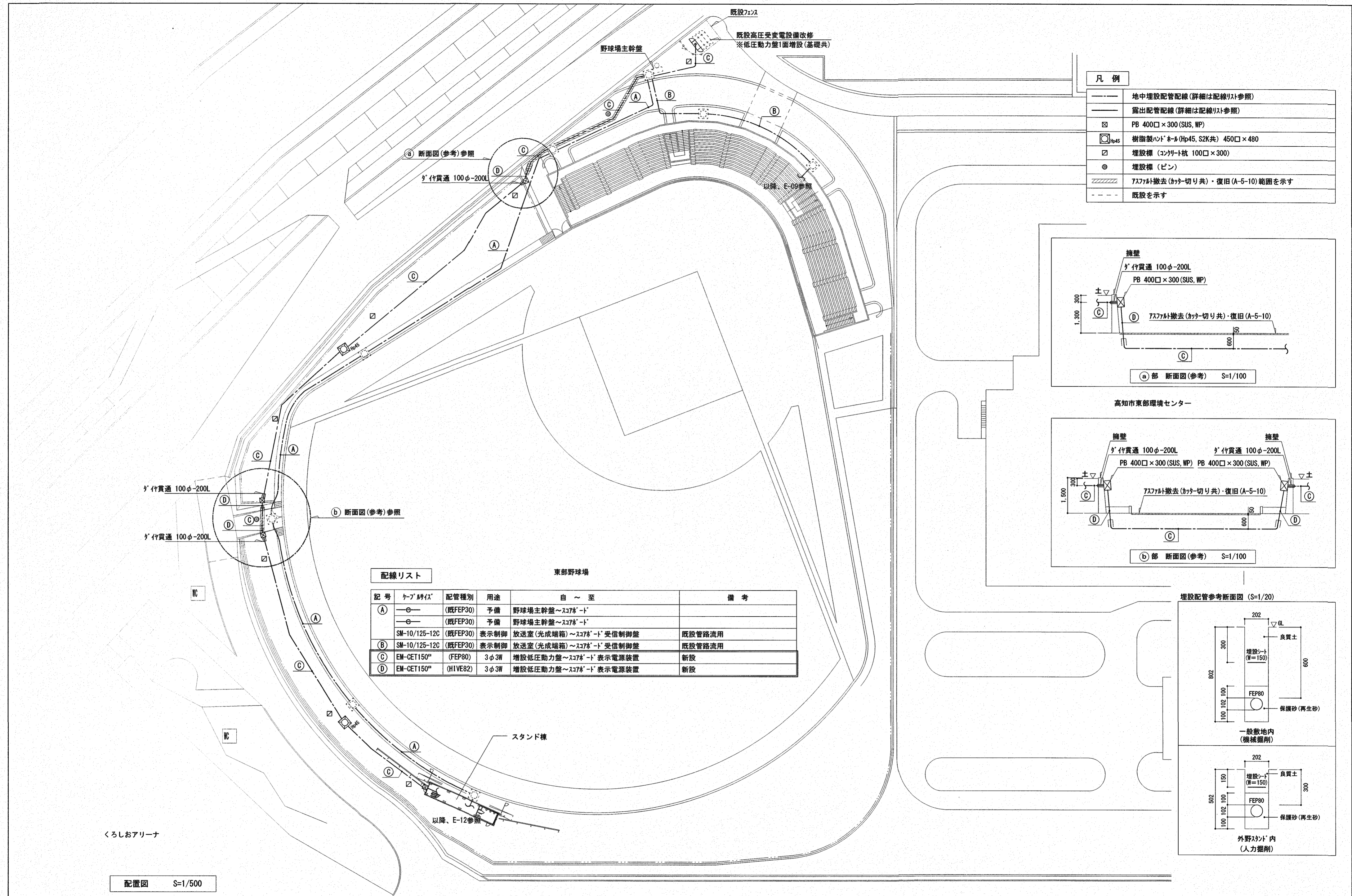
記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
A	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤~スコアボード FL-2) 盤	配線撤去
	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤~スコアボード FL-2) 盤	配線撤去
	EM-CPEESO. 9-20P	(FEP30)	表示制御	放送室(コネクト)~スコアボード表示制御盤	配線撤去
B	EM-CPEESO. 9-20P	(FEP30)	表示制御	放送室(コネクト)~スコアボード表示制御盤	配線撤去

凡例

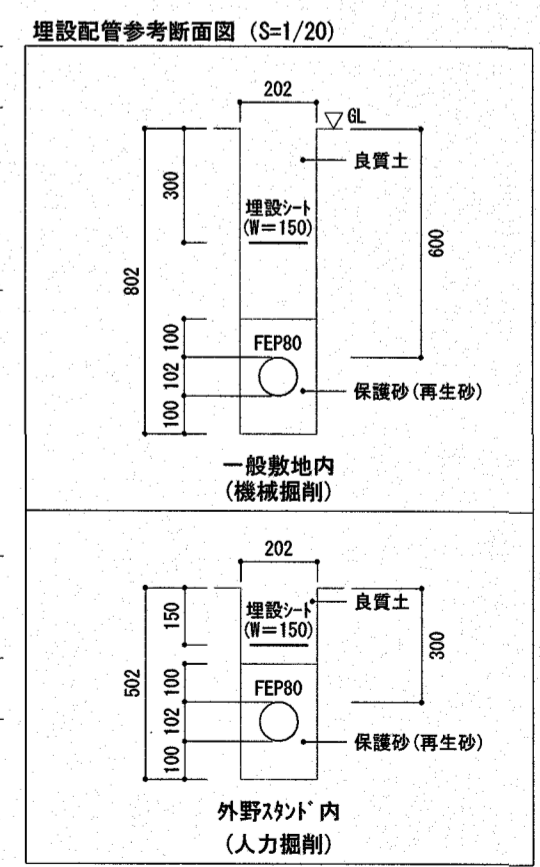
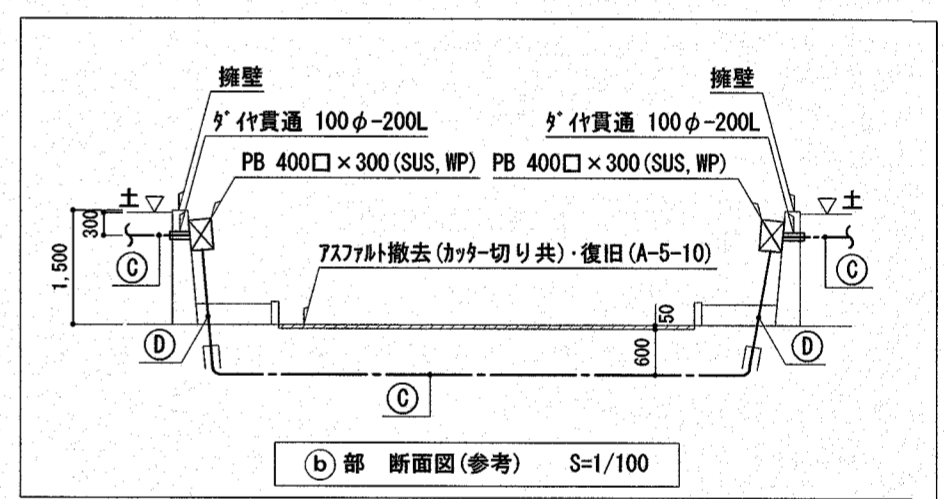
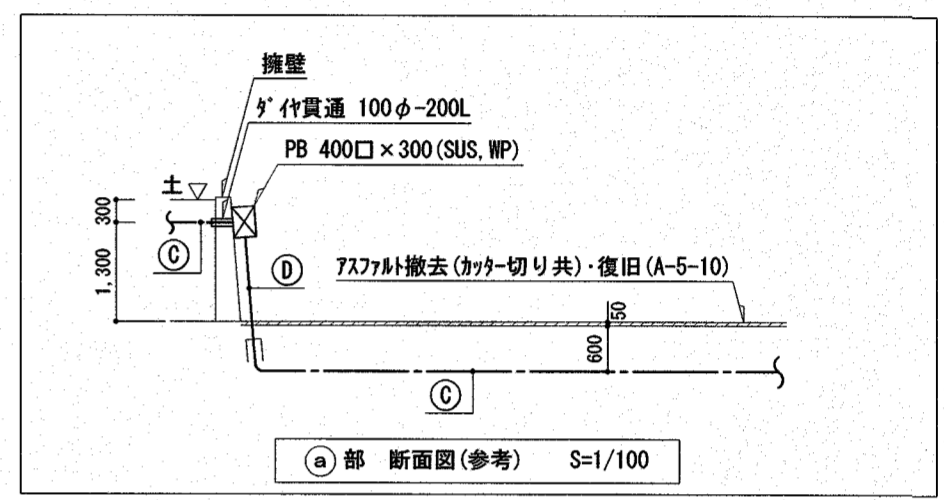
---	地中埋設配管配線(詳細は配線リスト参照)
X	撤去を示す(詳細は配線リスト参照)



くろしおアリーナ
配置図 S=1/500



凡例	
---	地下埋設配管配線 (詳細は配線リスト参照)
---	露出配管配線 (詳細は配線リスト参照)
□	PB 400口×300 (SUS, WP)
⊠	樹脂製ハンドホール (Hφ45, S2K共) 450口×480
⊞	埋設標 (コンクリート杭 100口×300)
●	埋設標 (ピン)
////	7スラット撤去 (カッター切り共)・復旧 (A-5-10) 範囲を示す
- - -	既設を示す



配線リスト		東部野球場			
記号	ケーブルサイズ	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
①	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
②	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
③	SM-10/125-12C	(既FEP30)	表示制御	放送室 (光成端箱)～スコアボード受信制御盤	既設管路流用
④	SM-10/125-12C	(既FEP30)	表示制御	放送室 (光成端箱)～スコアボード受信制御盤	既設管路流用
⑤	EM-CET150"	(FEP80)	3φ3W	増設低圧動力盤～スコアボード表示電源装置	新設
⑥	EM-CET150"	(HIVE82)	3φ3W	増設低圧動力盤～スコアボード表示電源装置	新設

配置図 S=1/500

株式会社 **みやび設計**
 MIYABI DESIGNERS OFFICE
 高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
 高知県知事登録 1037
 管理建築士/一級建築士登録 355523
 祖父江 司

東部球場スコアボード改修工事
 project no _____ date _____
 drawn by _____ checked by _____

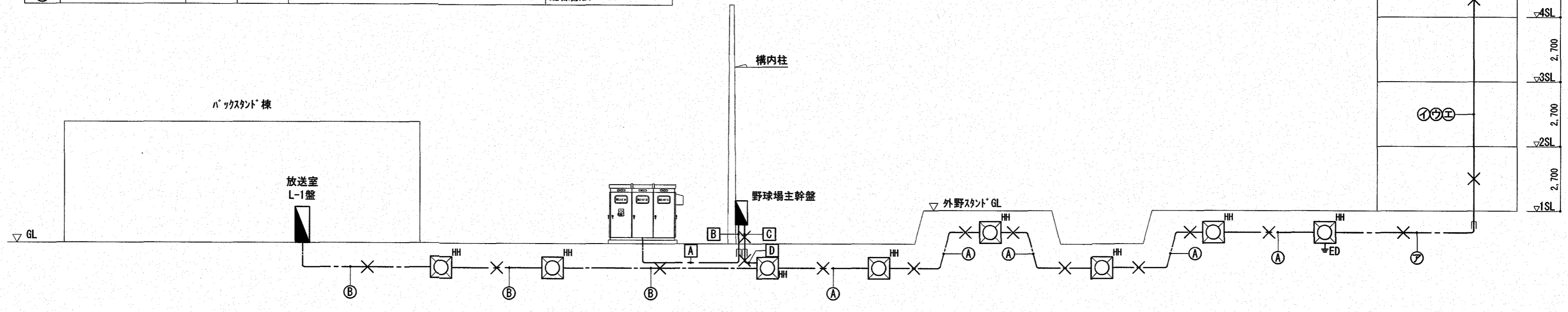
構内配電線路・通信線路図 (改修後)
 scale 1/500

高知市
 都市建設部
 公共建築課

係	係長	課長補佐	課長	電気
				E-05

記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
A	CVT100 ^φ	(FEP65)	1φ3W	キュービクル～野球場主幹盤	残置
B	CVT100 ^φ	(HIVE70)	1φ3W	キュービクル～野球場主幹盤	残置
C	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
D	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
A	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
B	EM-CPEESO. 9-20P	(FEP30)	表示制御	放送室～スコアボード「表示制御盤」	配線撤去
	EM-CPEESO. 9-20P	(FEP30)	表示制御	放送室～スコアボード「表示制御盤」	配線撤去
①	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
②	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W	野球場主幹盤～スコアボード「L-2」盤	配線撤去
③	EM-CPEESO. 9-20P	(HIVE28)	表示制御	放送室～スコアボード「表示制御盤」	配線撤去

×	撤去を示す。
---	--------

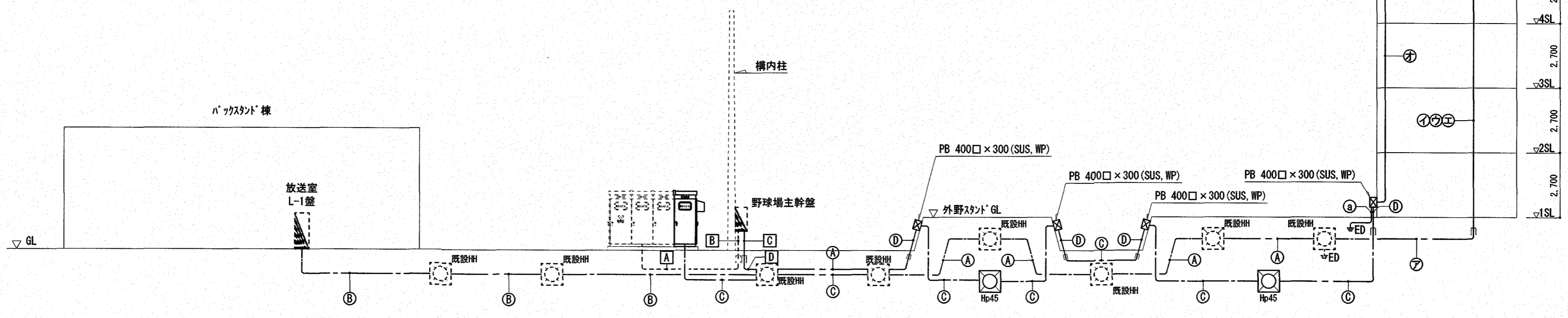


幹線・通信線系統図 (改修前) (撤去図)

記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
A	CVT100 ^φ	(既FEP65)	1φ3W	キュービクル～野球場主幹盤	既設
B	CVT100 ^φ	(既HIVE70)	1φ3W	キュービクル～野球場主幹盤	既設
C	—	(既HIVE28)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
	—	(既HIVE28)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
D	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
A	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤～スコアボード	
B	SM-10/125-12C	(既FEP30)	表示制御	放送室(光成端箱)～スコアボード「受信制御盤」	既設管路流用
	SM-10/125-12C	(既HIVE28)	表示制御	放送室(光成端箱)～スコアボード「受信制御盤」	既設管路流用
C	CET150 ^φ	(FEP80)	3φ3W	増設低圧動力盤～スコアボード「表示電源装置」	新設
D	CET150 ^φ	(HIVE82)	3φ3W	増設低圧動力盤～スコアボード「表示電源装置」	新設

記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
①	—		(既HIVE28)	予備 野球場主幹盤～スコアボード	
②	—		(既HIVE28)	予備 野球場主幹盤～スコアボード	
③	SM-10/125-12C		(既HIVE28)	表示制御 放送室(光成端箱)～スコアボード「受信制御盤」	既設管路流用
④	CET150 ^φ , IE14 ^φ	(HIVE82)	3φ3W	増設低圧動力盤～スコアボード「表示電源装置」	新設
⑤	CET150 ^φ , IE14 ^φ	ケーブルラック	3φ3W	増設低圧動力盤～スコアボード「表示電源装置」	新設
⑥	IE14 ^φ	(HIVE22)	接地 (ED)		新設

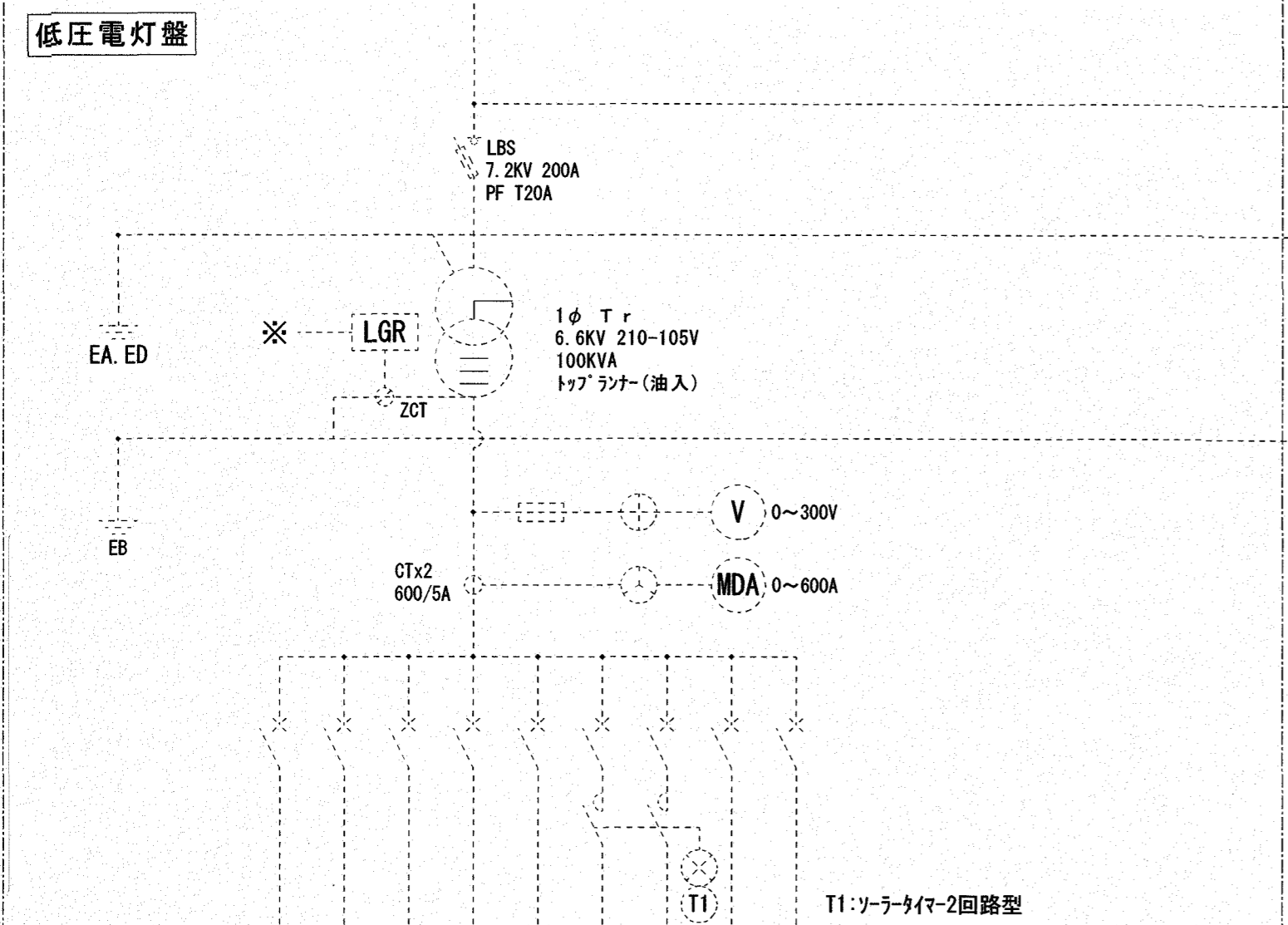
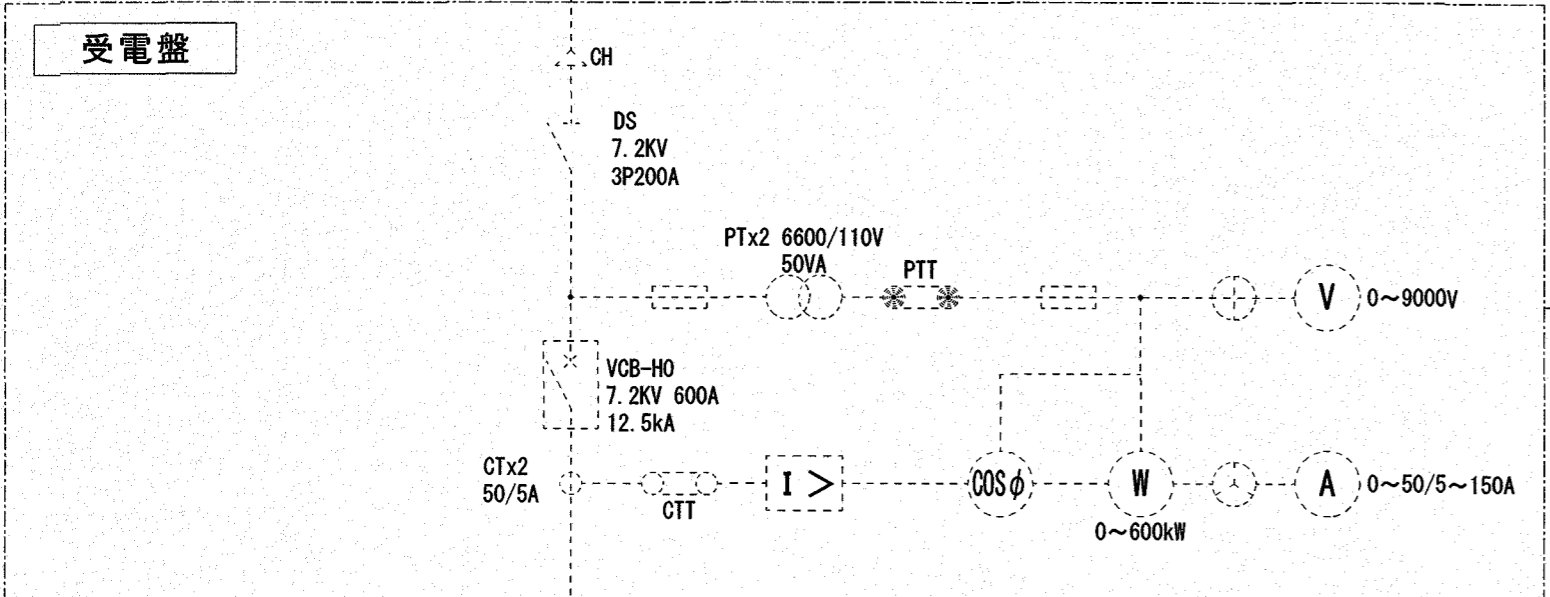
□Hp45	樹脂製ハットネーブル (Hp45, S2K共) 450□×480
---	既設を示す。



幹線・通信線系統図 (改修後)

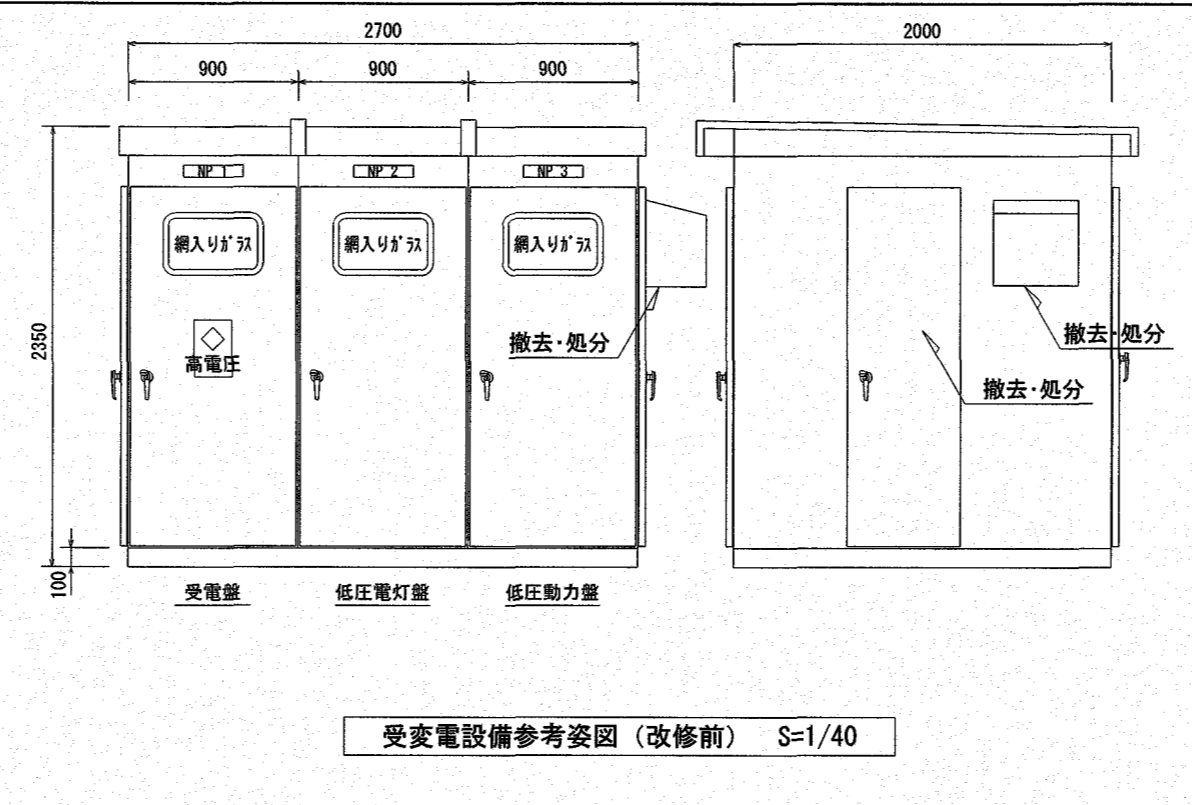
3φ-3W
6,600V (電力柱より)

6KV CET 38" (既設)

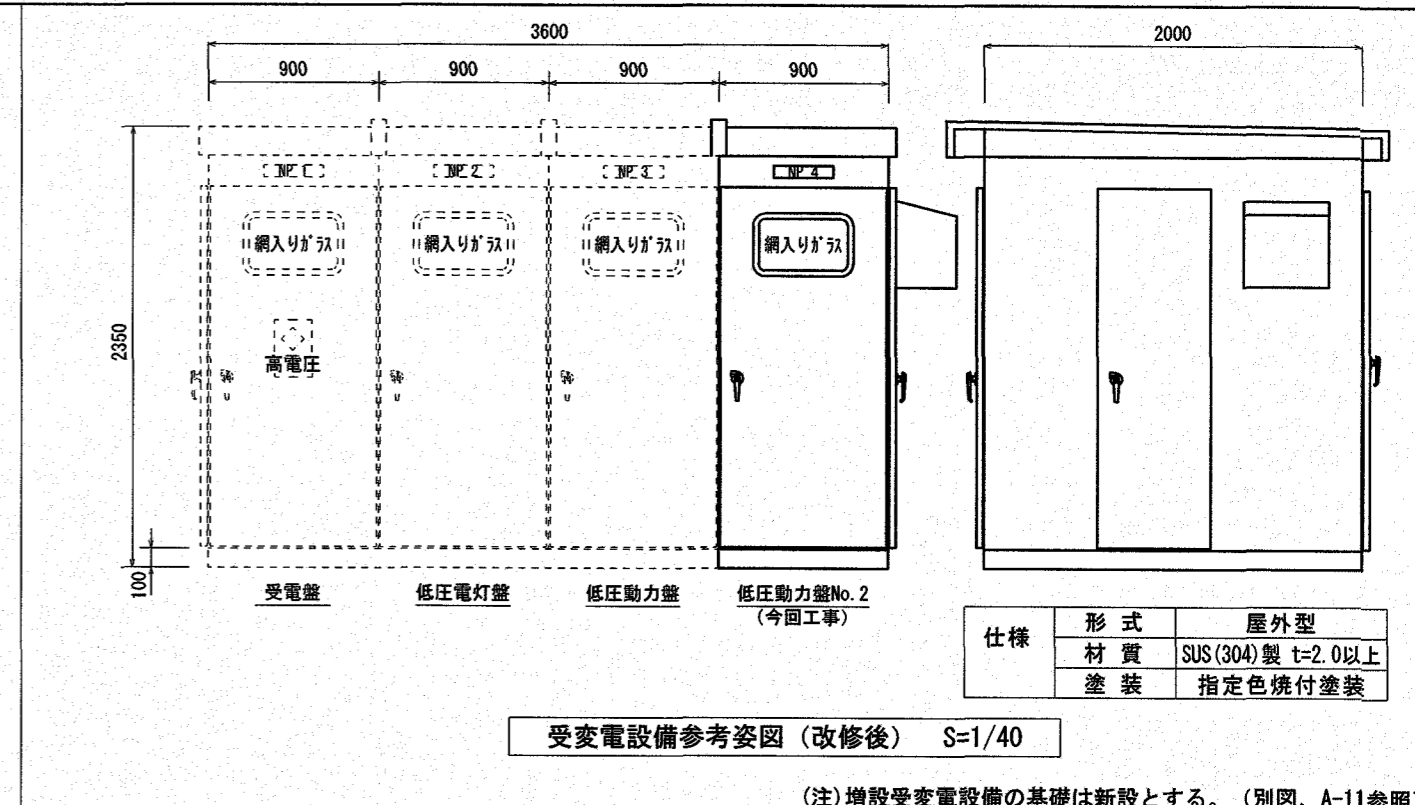


負荷名称	開閉器容量 (AF / AT)
盤内電源・操作電源※	MCCB 2P 50 / 20
LGR電源	MCCB 2P 50 / 20
野球場主幹盤 LP-1	MCCB 3P 225 / 200
投球・打撃練習場 L-1, L-2	MCCB 3P 100 / 100
ケカド・管理事務所	MCCB 3P 100 / 100
外灯 1	MCCB 2P 50 / 20
外灯 2	MCCB 2P 50 / 20
予備	MCCB 3P 100 / 100
予備	MCCB 3P 100 / 100

T1:ソラタイマー2回路型



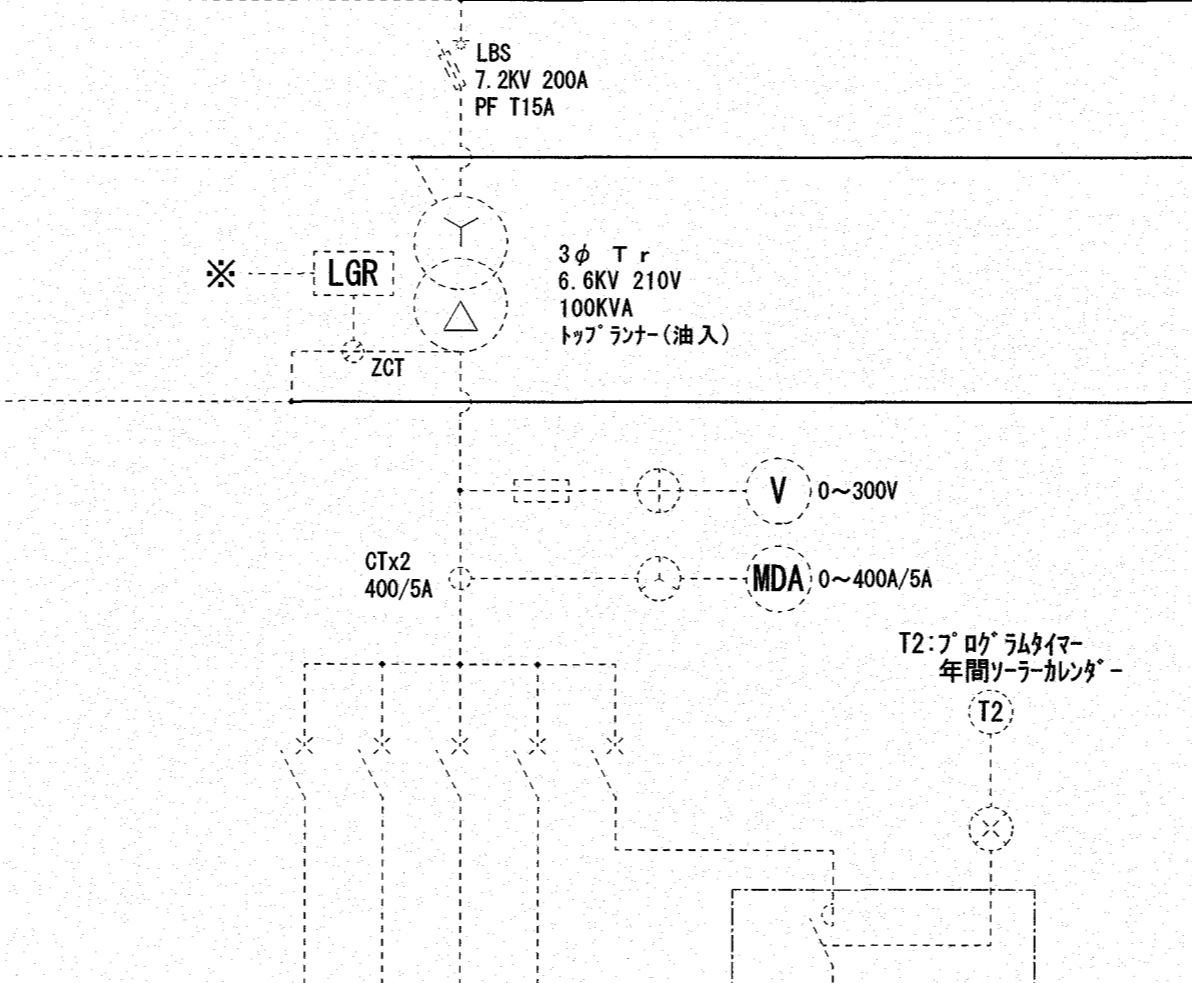
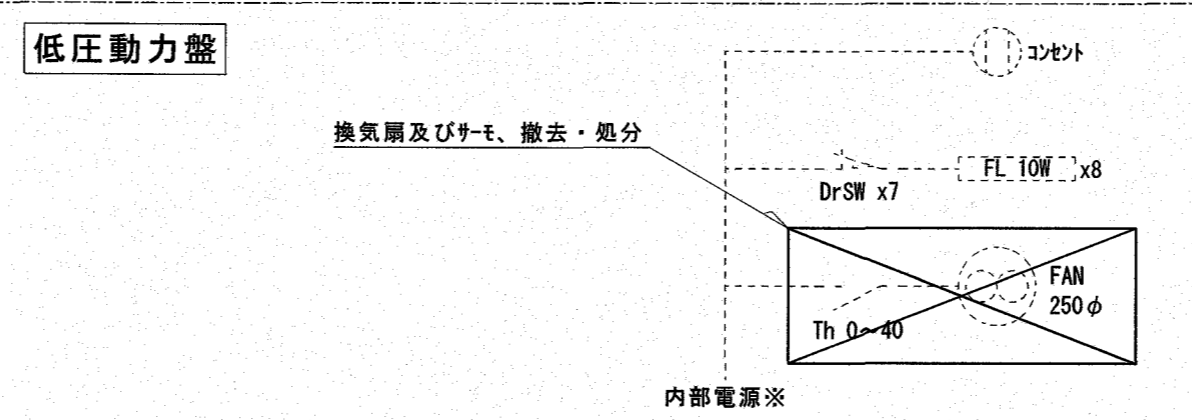
受変電設備参考姿図 (改修前) S=1/40



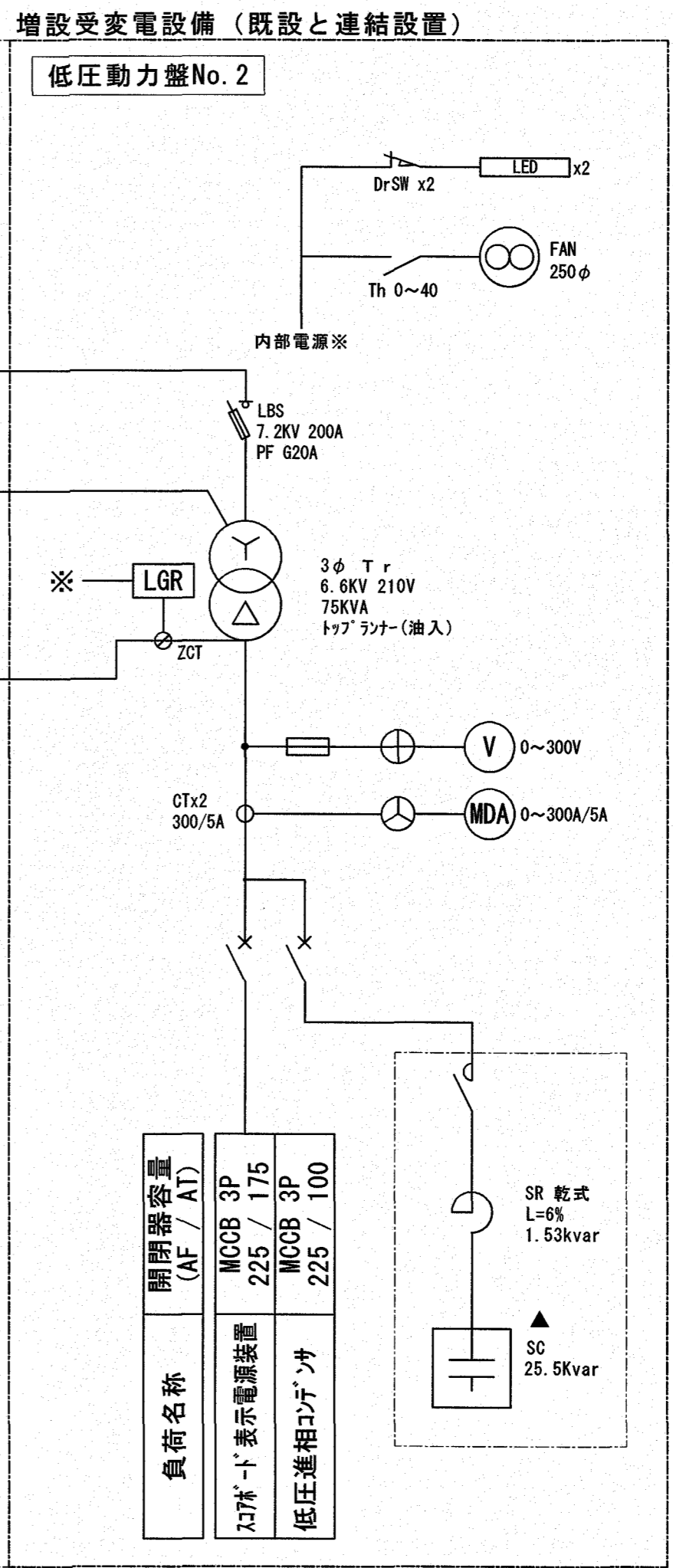
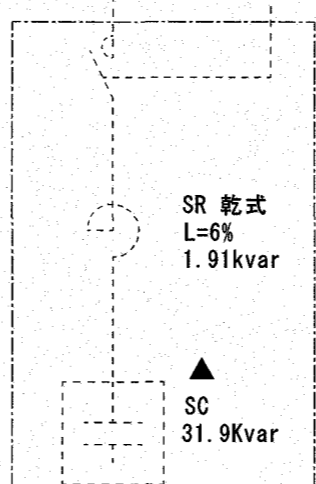
受変電設備参考姿図 (改修後) S=1/40

仕様	形式	屋外型
材質	SUS(304)製 t=2.0以上	
塗装	指定色焼付塗装	

(注)増設受変電設備の基礎は新設とする。(別図、A-11参照)

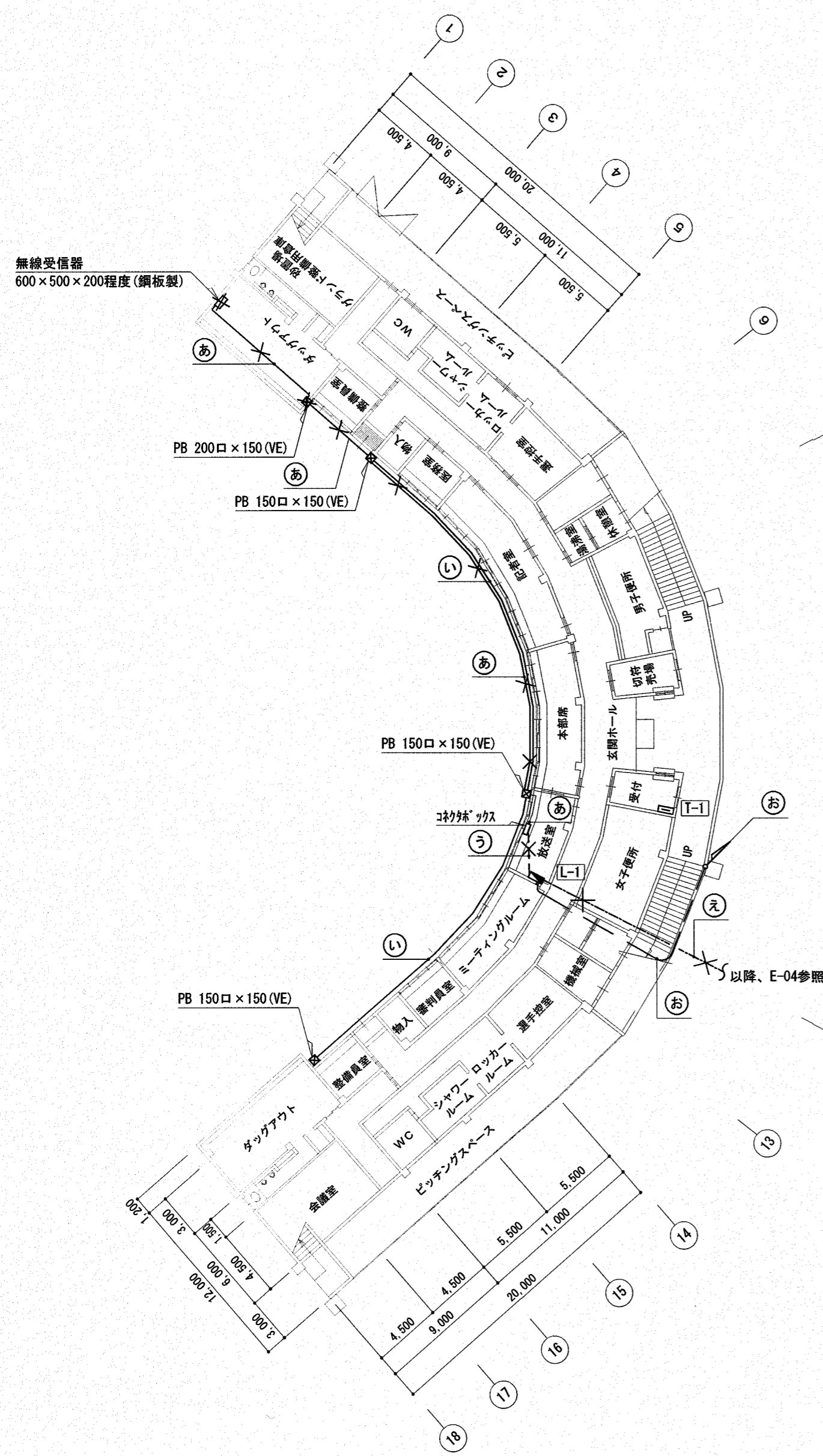


負荷名称	開閉器容量 (AF / AT)
野球場主幹盤 LP-1	MCCB 3P 100 / 100
投球・打撃練習場 照明盤	MCCB 3P 400 / 300
予備	MCCB 3P 100 / 100
予備	MCCB 3P 100 / 100
低压進相コンデンサ	MCCB 3P 225 / 120

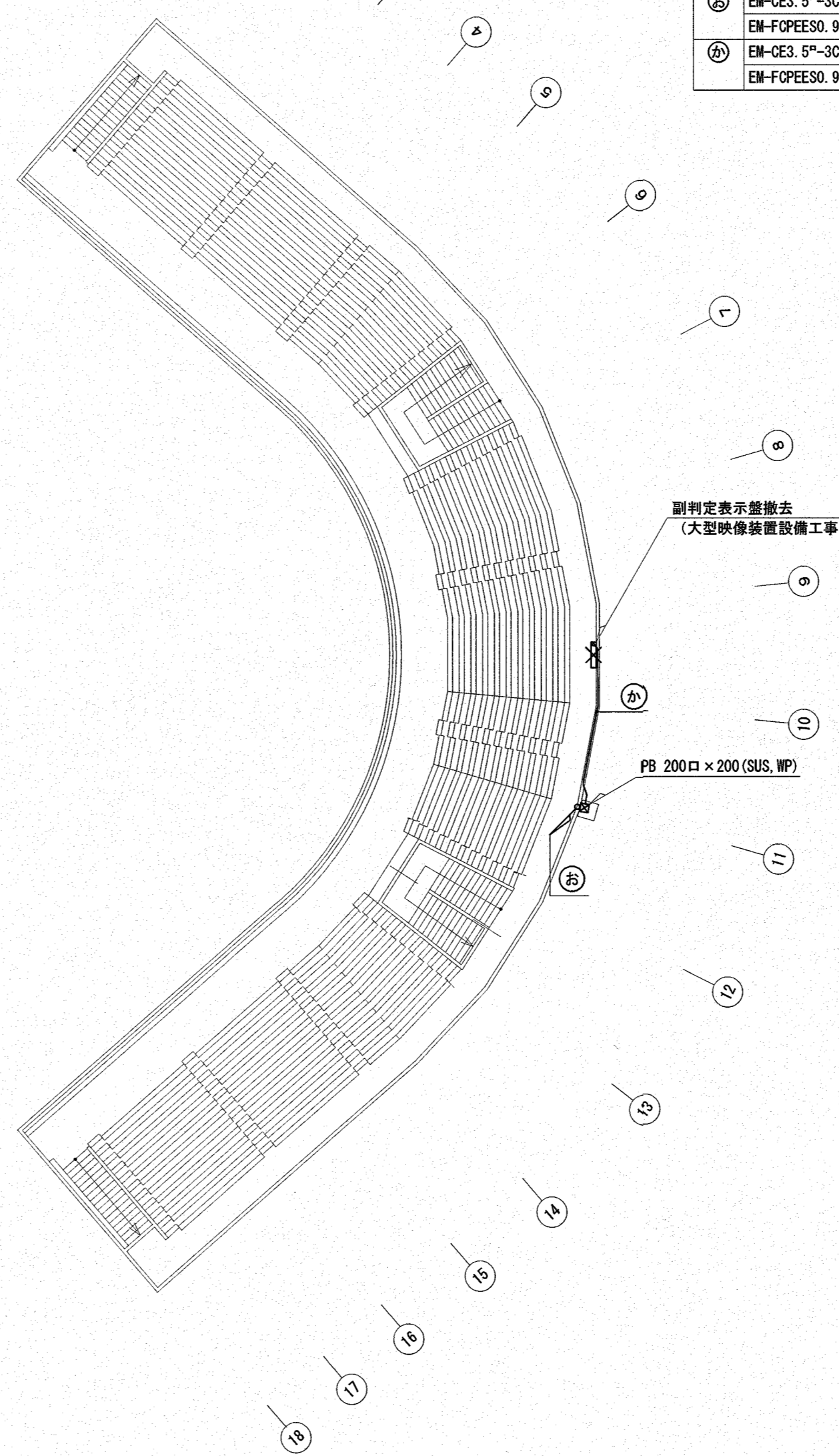


負荷名称	開閉器容量 (AF / AT)
17本ト表示電源装置	MCCB 3P 225 / 175
低压進相コンデンサ	MCCB 3P 225 / 100

<凡例>
----- 既設を示す。



野球場1階平面図 S=1/300 (撤去図)



野球場R階平面図 S=1/300 (撤去図)

配線リスト

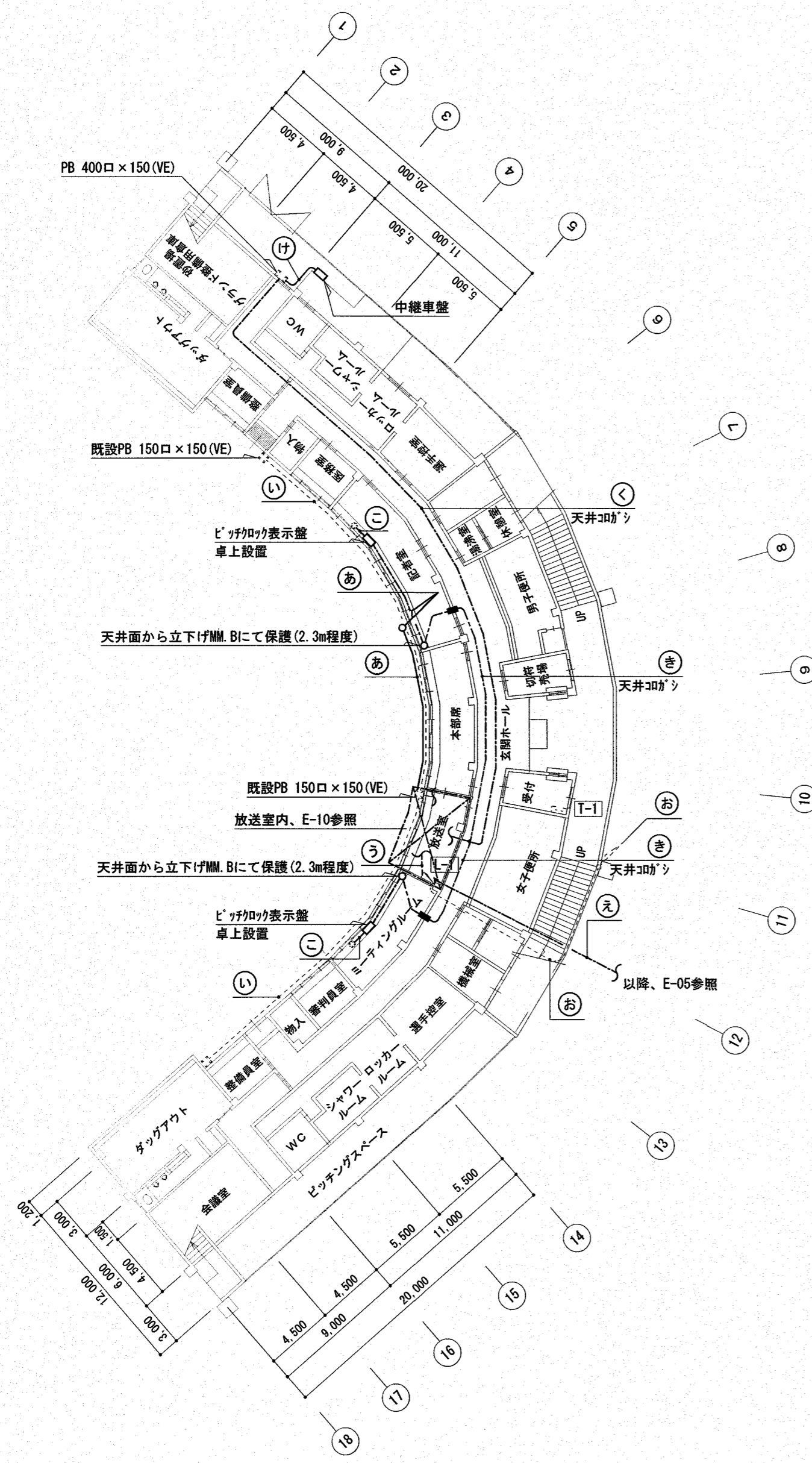
記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
あ	EM-CE2 TM -3C	(HIVE22)	100V	放送室~無線受信器	配線・配管撤去
	UTP0.5-4P Cat5	(HIVE22)	通信	放送室(コックピット)~無線受信器	配線・配管撤去
	EM-FCPEESO.9-5P	(HIVE22)	信号	放送室(コックピット)~無線受信器	配線・配管撤去
い	5C-2V	(HIVE22)	-	不明	残置
う	EM-FCPEESO.9-10P	(31)	表示信号	放送室(コックピット)~副判定表示盤	残置
	表示制御		放送室(コックピット)~スコアボード表示制御盤	配線撤去	
え	EM-FCPEESO.9-20P	(FEP30)	表示制御	放送室(コックピット)~スコアボード表示制御盤	配線撤去
お	EM-CE3.5 TM -3C	(31)	100V	放送室(L-1)~副判定表示盤	残置
	表示信号		放送室(コックピット)~副判定表示盤		
か	EM-CE3.5 TM -3C	(HIVE28)	100V	放送室(L-1)~副判定表示盤	残置
	表示信号		放送室(コックピット)~副判定表示盤		

凡例

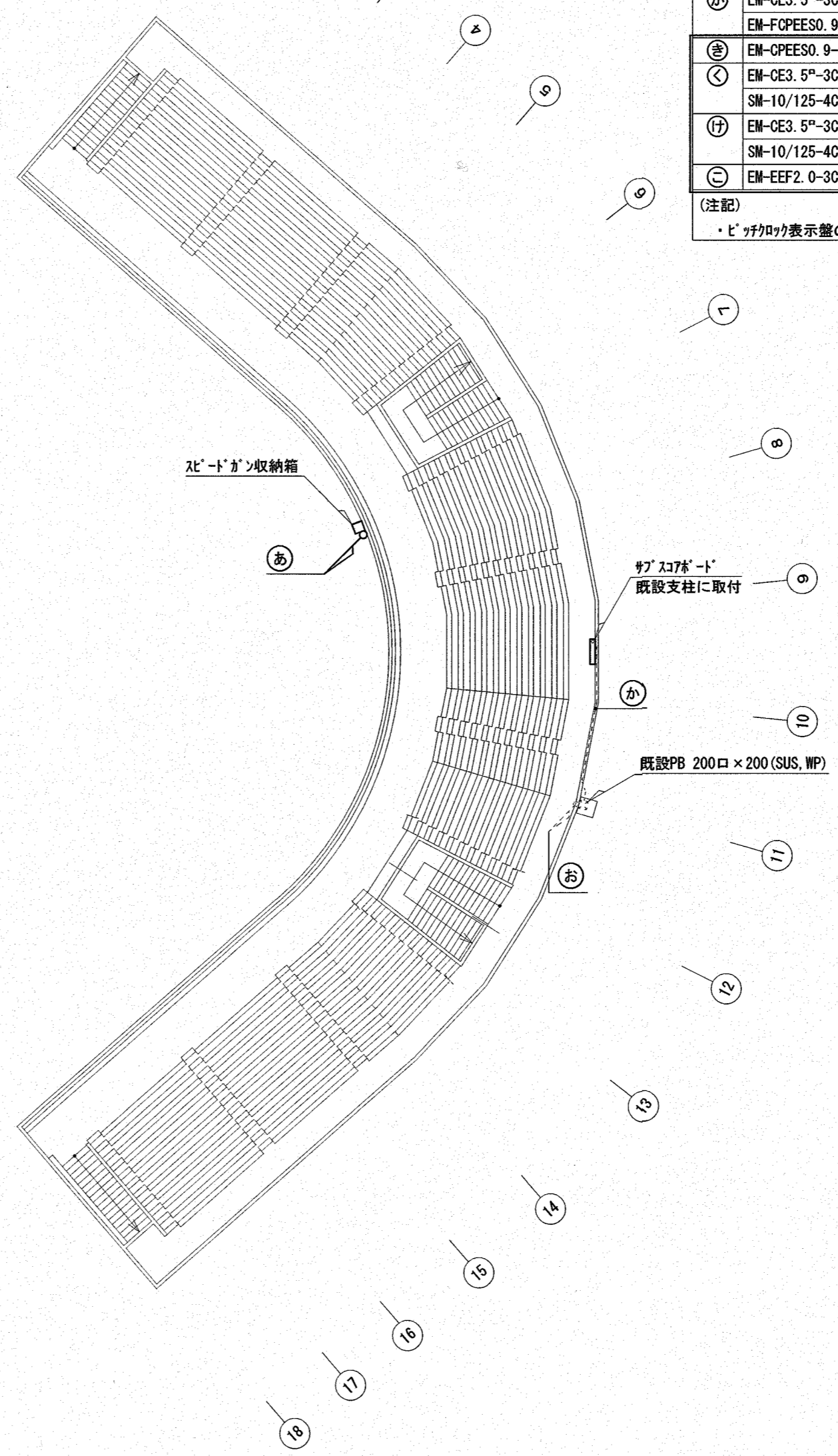
---	地中埋設配管配線 (詳細は配線リスト参照)
---	露出配管配線 (詳細は配線リスト参照)
---	ケーブル配管配線 (詳細は配線リスト参照)
×	撤去を示す (詳細は配線リスト参照)

副判定表示盤撤去
(大型映像装置設置工事)

PB 200口×200 (SUS, WP)



野球場 1階平面図 S=1/300



野球場 R階平面図 S=1/300

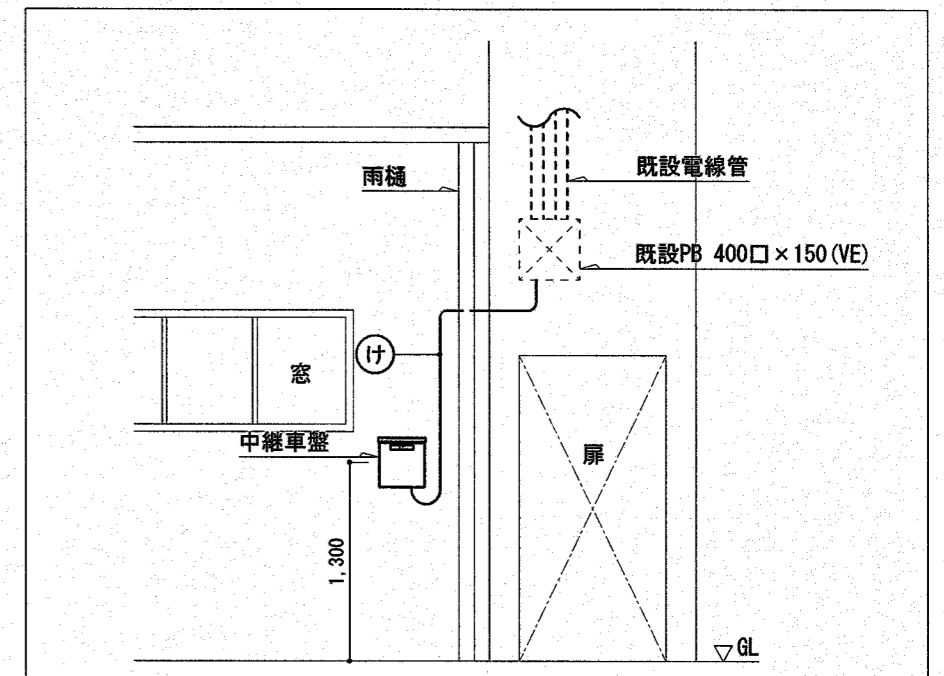
配線リスト

記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
あ	EM-AE0.9-2C	(HIVE16)	信号	放送室~ステートガン収納箱	新設
い	5C-2V	(HIVE16)	-	不明	既設
う	EM-FCPEES0.9-10P SM-10/125-12C	(既31)	表示信号	放送室~副判定表示盤	既設
			表示制御	放送室~スコアボード表示制御盤	新設
え	SM-10/125-12C	(既FEP30)	表示信号	放送室~スコアボード表示制御盤	新設
お	EM-CE3.5 ^o -3C EM-FCPEES0.9-10P	(31)	100V	放送室(L-1)~副判定表示盤	既設流用
			表示信号	放送室~副判定表示盤	既設流用
か	EM-CE3.5 ^o -3C EM-FCPEES0.9-10P	(HIVE28)	100V	放送室(L-1)~副判定表示盤	既設流用
			表示信号	放送室~副判定表示盤	既設流用
き	EM-CPPEES0.9-10P	天井コガシ	信号	放送室~ビッパロク表示盤	新設
く	EM-CE3.5 ^o -3C SM-10/125-4C	天井コガシ 天井コガシ(FP2)	100V	放送室(L-1)~中継車盤	新設
			映像信号	放送室~中継車盤	新設
け	EM-CE3.5 ^o -3C SM-10/125-4C	(HIVE22)	100V	放送室(L-1)~中継車盤	新設
			映像信号	放送室~中継車盤	新設
こ	EM-EEF2.0-3C	MM.A	100V	最寄りコメントより分岐	新設

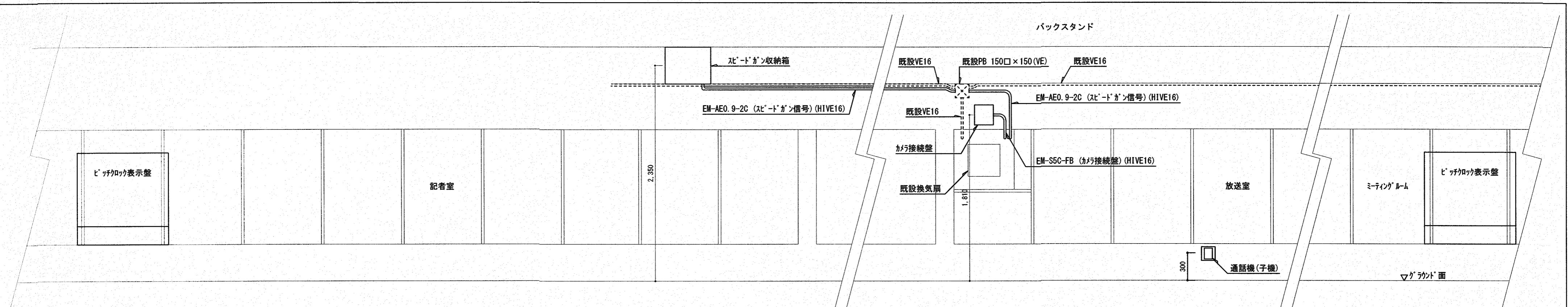
(注記)
・ビッパロク表示盤の設置場所は係員と協議の上、決定すること。

凡例

-----	天井コガシ配線 (詳細は配線リスト参照)
-----	地中埋設配管配線 (詳細は配線リスト参照)
-----	露出配管配線 (詳細は配線リスト参照)
-----	ケーブル配管配線 (詳細は配線リスト参照)
////	パイプ貫通 φ32-200L
-----	既設を示す。

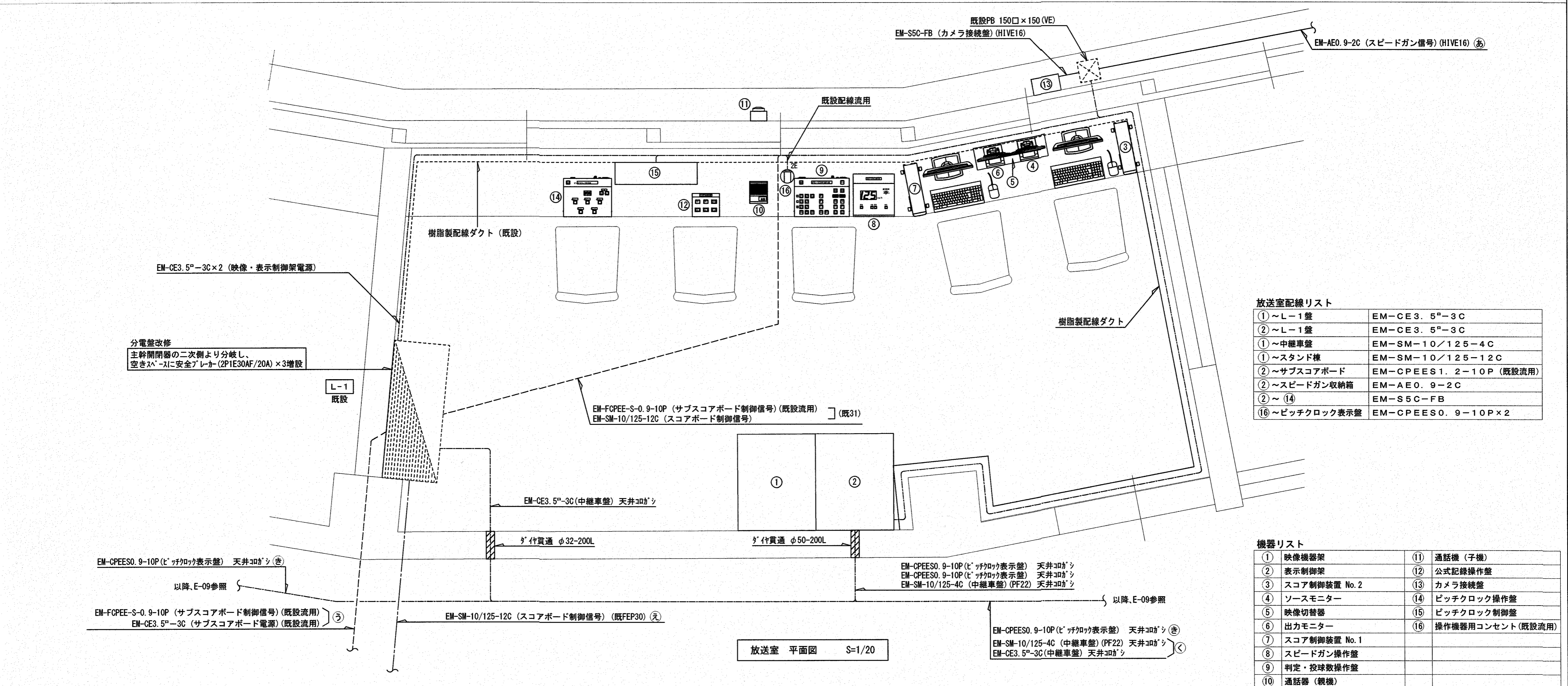


中継車盤 取付参考図 S=1/50
(注記)
・中継車盤の取付位置、取付高さは監督職員と協議の上、決定すること。



屋外立面図(参考) S=1/30

(注記)
・各機器の取付位置、取付高さは監督職員と協議の上、決定すること。



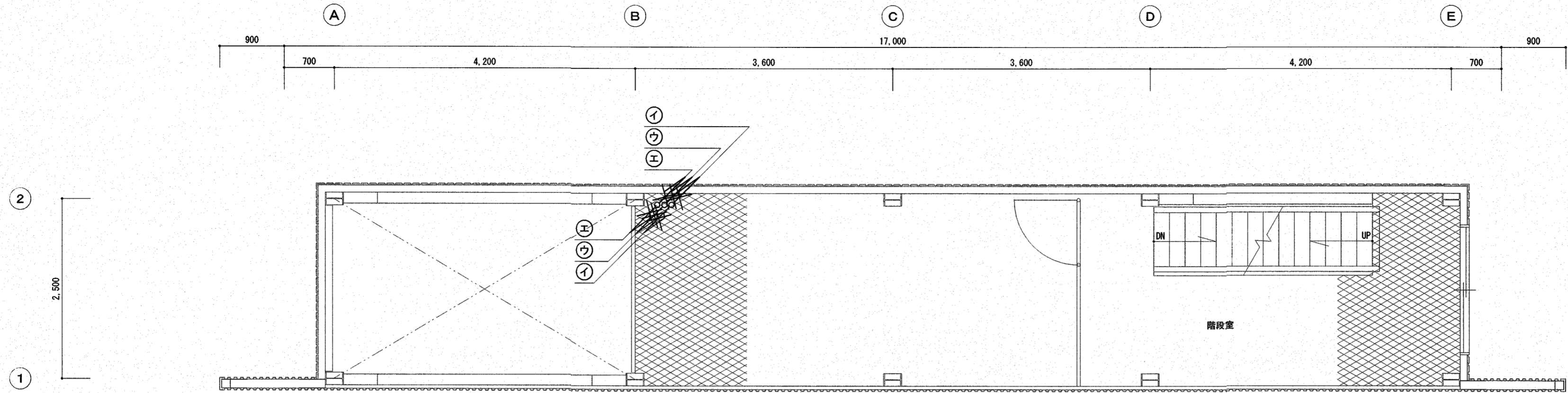
放送室 平面図 S=1/20

放送室配線リスト

① ~ L-1 盤	EM-CE3.5 ⁰ -3C
② ~ L-1 盤	EM-CE3.5 ⁰ -3C
① ~ 中継車盤	EM-SM-10/125-4C
① ~ スタンド棟	EM-SM-10/125-12C
② ~ サブスコアボード	EM-CPEES1.2-10P (既設流用)
② ~ スピードガン収納箱	EM-AE0.9-2C
② ~ ⑭	EM-S5C-FB
⑯ ~ ピッチロック表示盤	EM-CPEES0.9-10P×2

機器リスト

① 映像機器架	⑪ 通話機 (子機)
② 表示制御架	⑫ 公式記録操作盤
③ スコア制御装置 No.2	⑬ カメラ接続盤
④ ソースモニター	⑭ ピッチロック操作盤
⑤ 映像切替器	⑮ ピッチロック制御盤
⑥ 出力モニター	⑯ 操作機器用コンセント (既設流用)
⑦ スコア制御装置 No.1	
⑧ スピードガン操作盤	
⑨ 判定・投球数操作盤	
⑩ 通話器 (親機)	



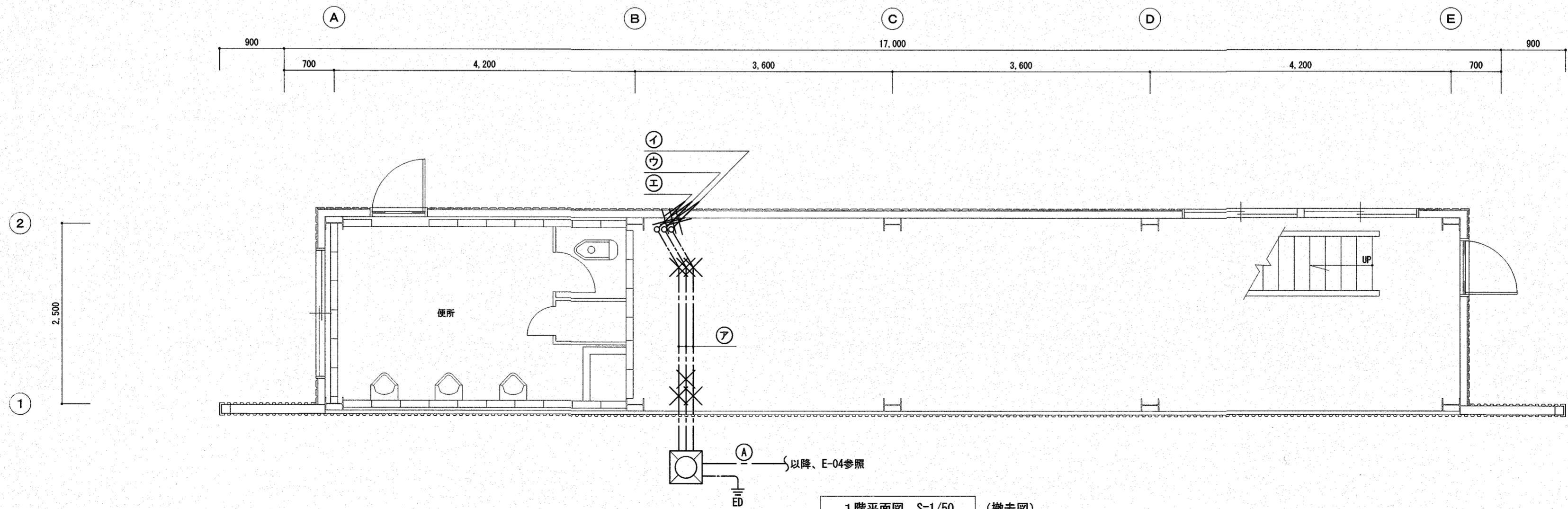
2階平面図 S=1/50 (撤去図)

配線リスト

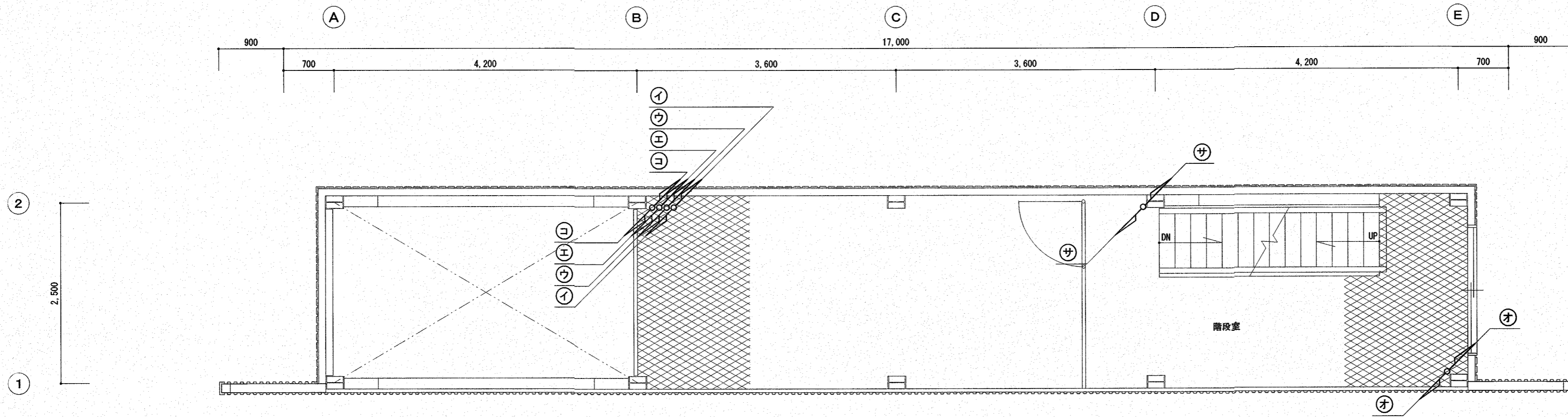
記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
⑦	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤~スコアボード「L-2」盤	配線撤去, 配管残置
	EM-CE14 ^φ -3C	(FEP30)	1φ3W	野球場主幹盤~スコアボード「L-2」盤	配線撤去, 配管残置
	EM-CPEES0.9-20P	(FEP30)	表示制御	放送室(コナカキウカス)~スコアボード表示制御盤	配線撤去, 配管残置
EM-IE5.5 ^φ	接地(ED)		スコアボード表示制御盤へ		
①	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W	野球場主幹盤~スコアボード「L-2」盤	配線撤去, 配管残置
②	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W	野球場主幹盤~スコアボード「L-2」盤	配線撤去, 配管残置
③	EM-CPEES0.9-20P	(HIVE28)	表示制御	放送室(コナカキウカス)~スコアボード表示制御盤	配線撤去, 配管残置
	EM-IE5.5 ^φ		接地(ED)	スコアボード表示制御盤へ	

凡例

---	地中埋設配管配線(詳細は配線リスト参照)
×	撤去を示す(詳細は配線リスト参照)



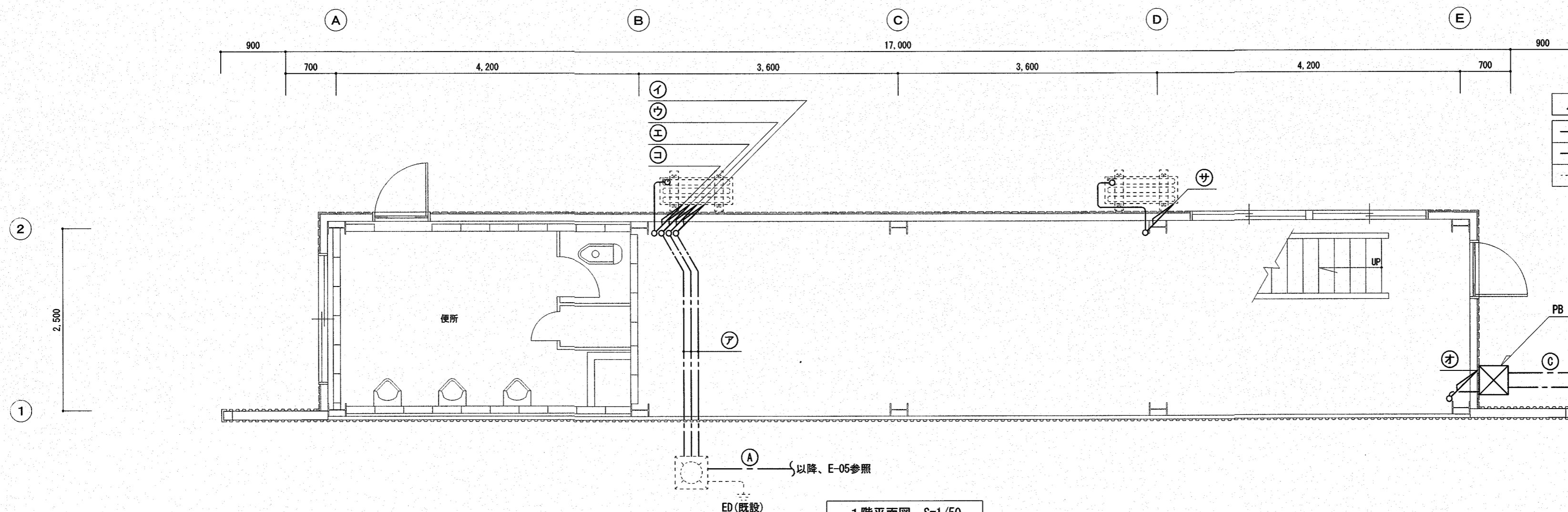
1階平面図 S=1/50 (撤去図)



2階平面図 S=1/50

配線リスト

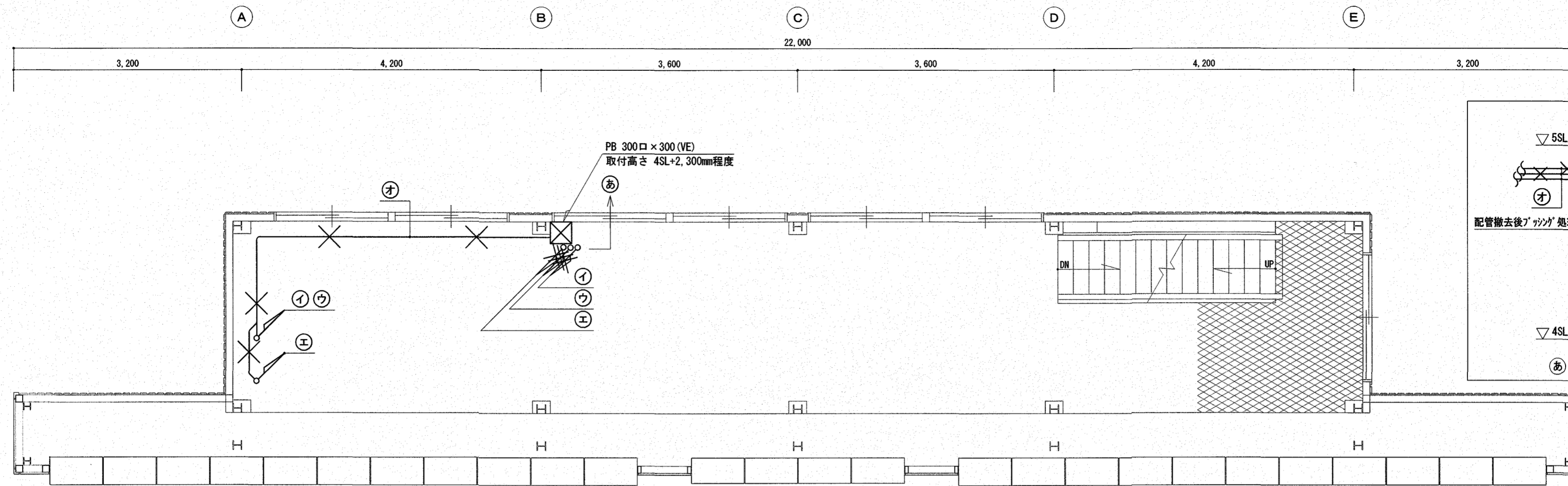
記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
ア	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤~スコアボード4階 PB	既設配管
イ	—	(既FEP30)	予備	野球場主幹盤~スコアボード4階 PB	既設配管
ウ	SM-10/125-12C	(既FEP30)	表示制御	放送室(光成端箱)~スコアボード受信制御盤	既設配管流用
エ	—	(既HIVE28)	予備	野球場主幹盤~スコアボード4階 PB	既設配管
オ	—	(既HIVE28)	予備	野球場主幹盤~スコアボード4階 PB	既設配管
カ	SM-10/125-12C	(既HIVE28)	表示制御	放送室(光成端箱)~スコアボード受信制御盤	既設配管流用
キ	EM-CET150 ⁺ , IE14 ⁺	(HIVE82)	3φ3W	増設低圧動力盤~スコアボード表示電源装置	新設
ク	EM-CE14 ⁺ -3C, IE3.5 ⁺	冷媒共巻	3φ3W	スコアボード表示電源装置~新設空調機	新設
ケ	EM-CE14 ⁺ -3C, IE3.5 ⁺	冷媒共巻	3φ3W	スコアボード表示電源装置~新設空調機	新設
コ	EM-IE14 ⁺	(HIVE22)	接地(ED)		新設



1階平面図 S=1/50

凡例

---	地中埋設配管配線(詳細は配線リスト参照)
---	露出配管配線(詳細は配線リスト参照)
---	既設を示す



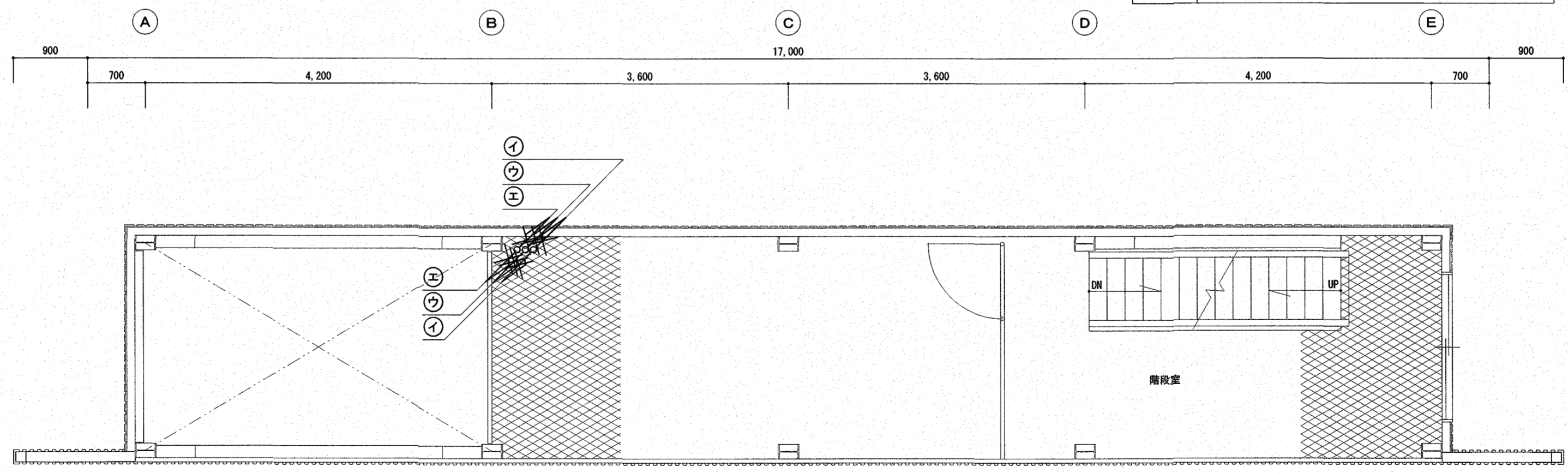
4階平面図 S=1/50 (撤去図)

配線リスト

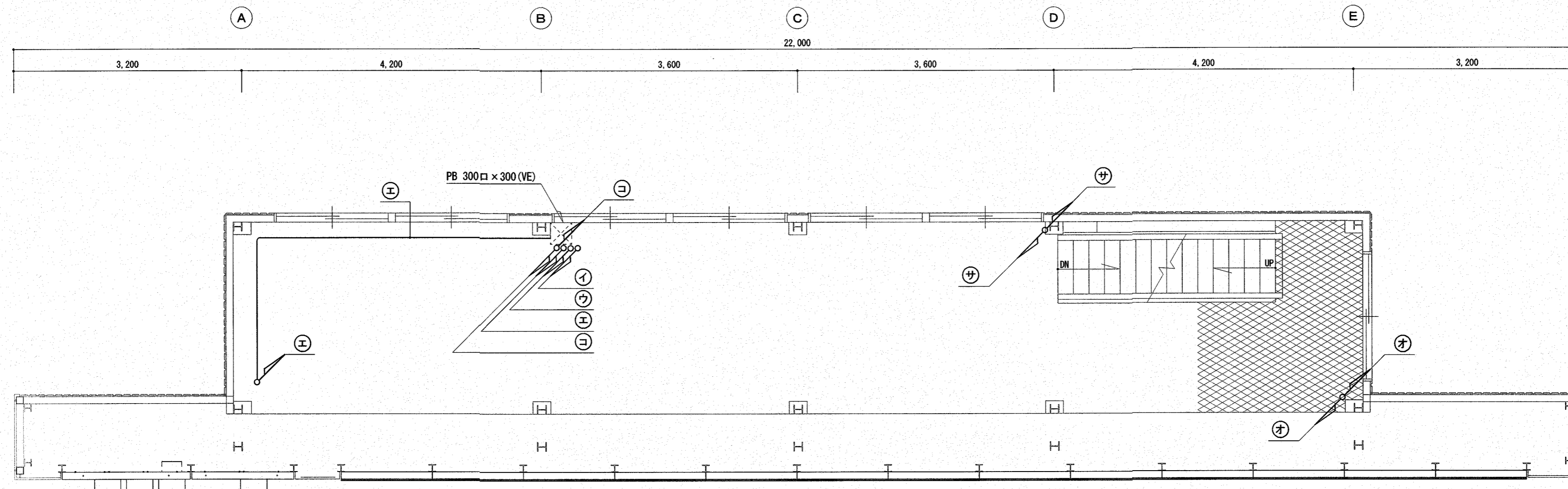
記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
①	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W 野球場主幹盤~スコアボード[L-2]盤		配線撤去、配管残置
②	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W 野球場主幹盤~スコアボード[L-2]盤		配線撤去、配管残置
③	EM-CPEES0.9-20P EM-IE5.5 ^φ	(HIVE28)	表示制御 放送室(コックピット)~スコアボード表示制御盤 接地(ED) スコアボード表示制御盤へ		配線撤去、配管残置
④	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W 野球場主幹盤~スコアボード[L-2]盤		配線・配管撤去、PB側「ツツ」処理
	EM-CE14 ^φ -3C	(HIVE28)	1φ3W 野球場主幹盤~スコアボード[L-2]盤		配線・配管撤去、PB側「ツツ」処理
	EM-CPEES0.9-20P EM-IE5.5 ^φ	(HIVE28)	表示制御 放送室(コックピット)~スコアボード表示制御盤 接地(ED) スコアボード表示制御盤へ		配線撤去、配管残置

凡例

—	露出配管配線(詳細は配線リスト参照)
×	撤去を示す(詳細は配線リスト参照)



3階平面図 S=1/50 (撤去図)



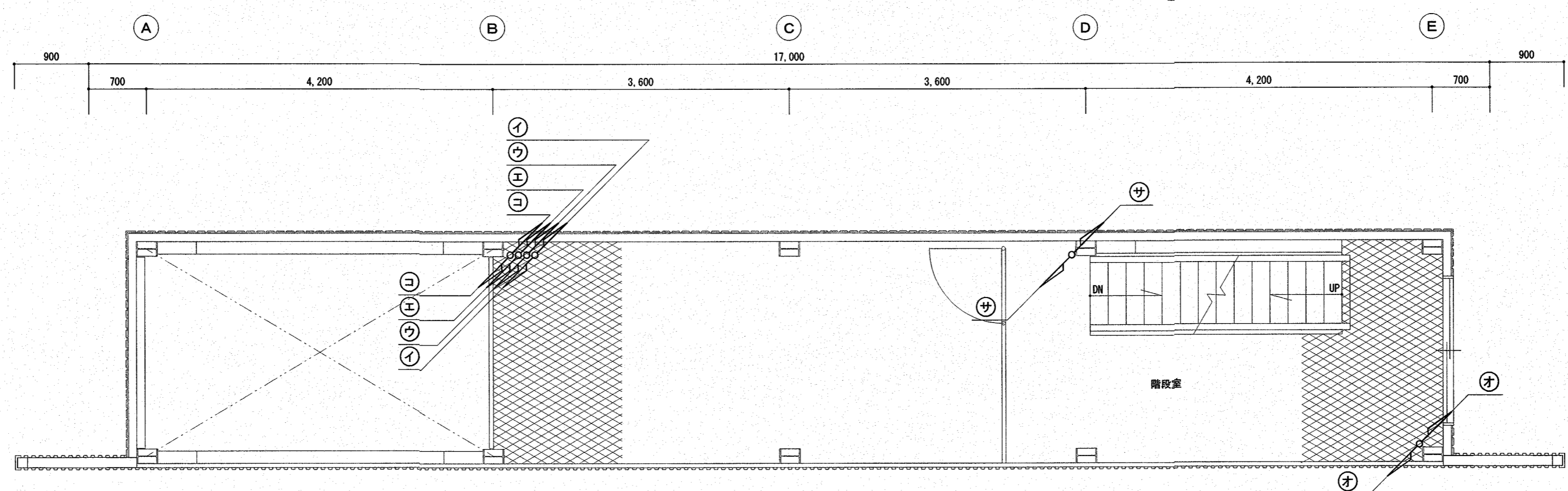
4階平面図 S=1/50

配線リスト

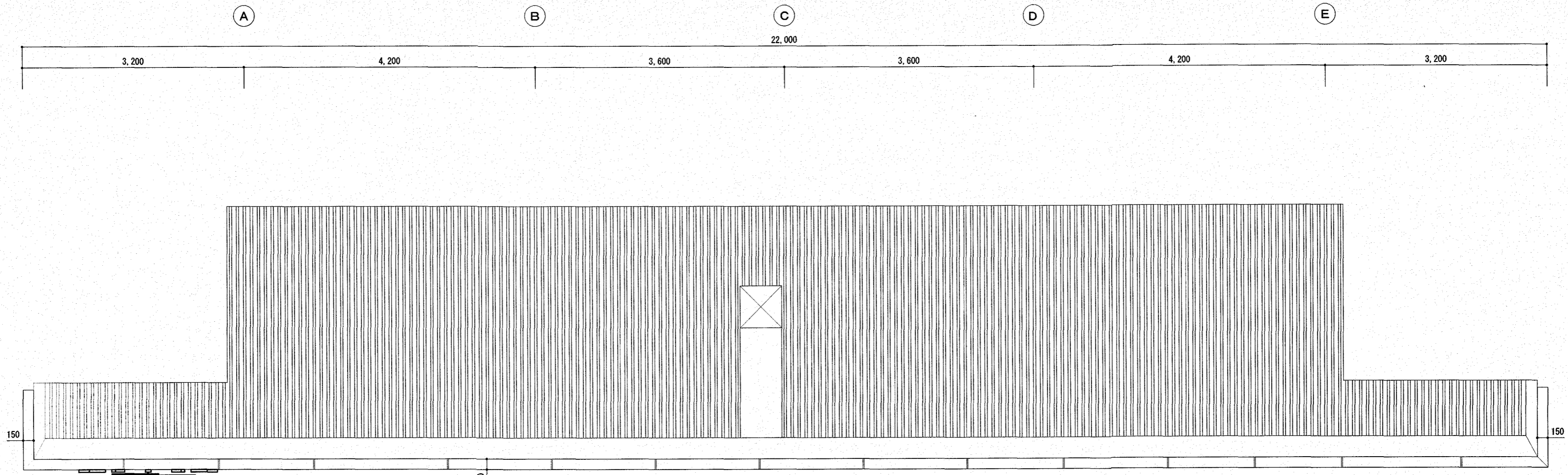
記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
①	—○—	(既HIVE28)	予備	野球場主幹盤~スコアボード4階 PB	既設配管
②	—○—	(既HIVE28)	予備	野球場主幹盤~スコアボード4階 PB	既設配管
③	SM-10/125-12C	(既HIVE28)	表示制御	放送室(光成端箱)~スコアボード受信制御盤	既設配管流用
④	EM-CE1150 ^φ , EM-IE14 ^φ	(HIVE82)	3φ3W	増設低圧動力盤~スコアボード表示電源装置	新設
⑤	EM-CE14 ^φ -3C, EM-IE3.5 ^φ	冷媒共巻	3φ3W	スコアボード表示電源装置~新設空調機	新設
⑥	EM-CE14 ^φ -3C, EM-IE3.5 ^φ	冷媒共巻	3φ3W	スコアボード表示電源装置~新設空調機	新設

凡例

—	露出配管配線(詳細は配線リスト参照)
----	既設を示す



3階平面図 S=1/50



塔時計撤去
(大型映像装置設備工事)

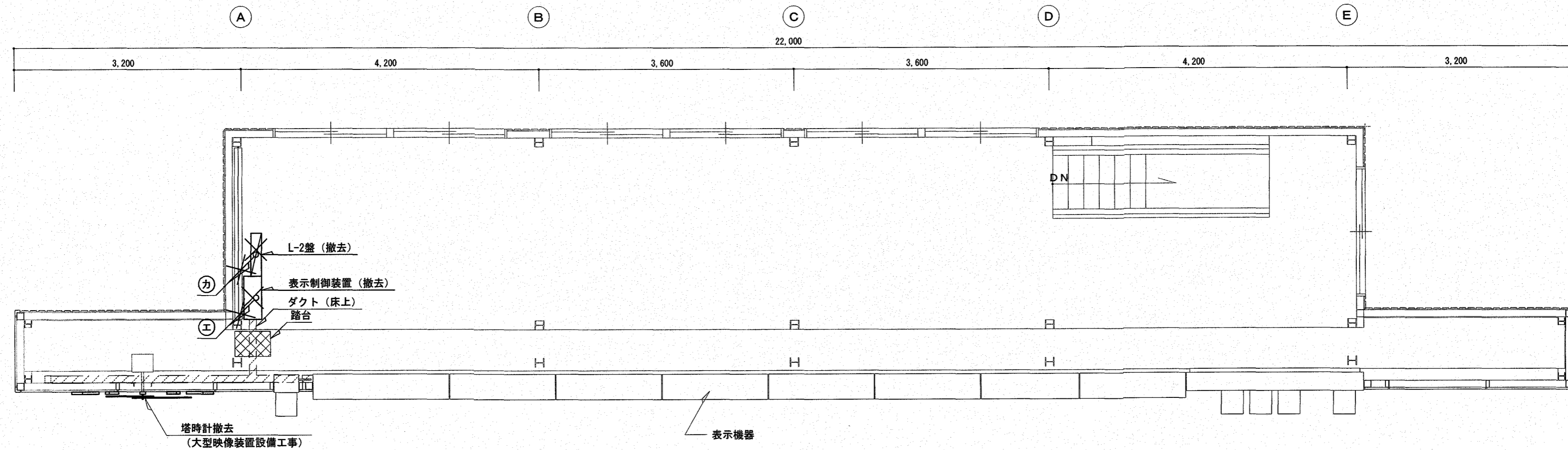
R階平面図 S=1/50

配線リスト

記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
①	EM-CPEES0.9-20P	(HIVE28)	表示制御 接地 (ED)	放送室(コネクト)カス)~スコアボード表示制御盤	配線撤去、配管残置
	EM-IE5.5"			スコアボード表示制御盤へ	
②	EM-CE14"-3C	(HIVE28)	1φ3W	野球場主幹盤~スコアボード[L-2]盤	配線・配管撤去
	EM-CE14"-3C			野球場主幹盤~スコアボード[L-2]盤	

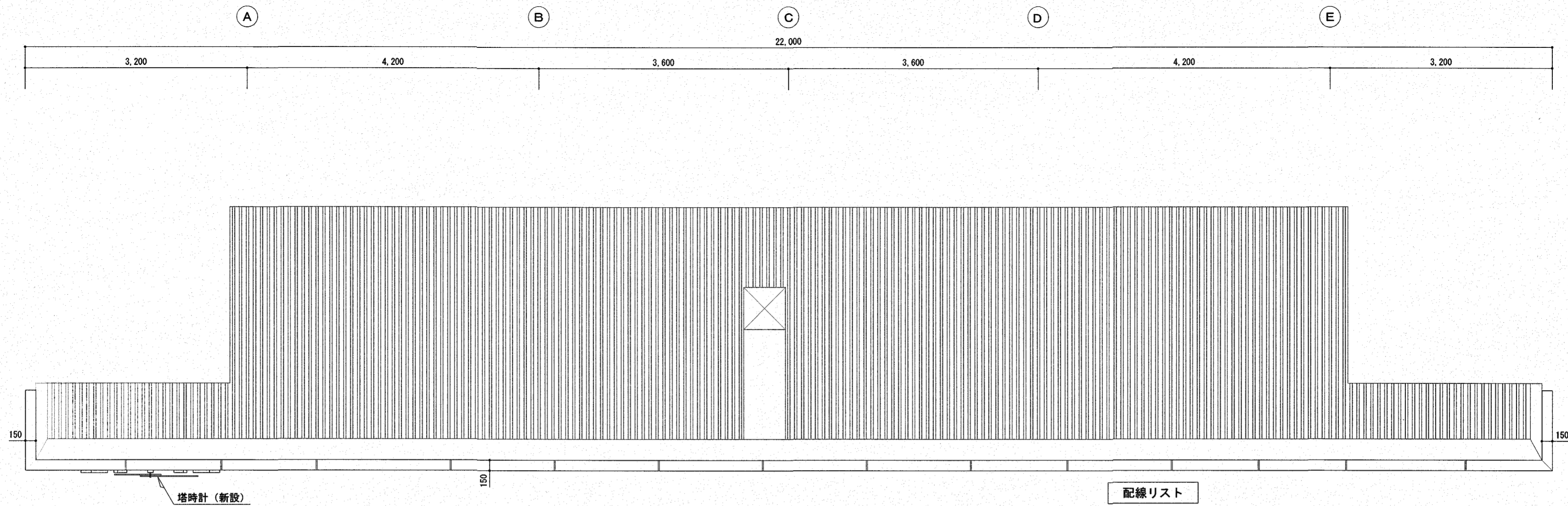
凡例

—	露出配管配線 (詳細は配線リスト参照)
×	撤去を示す (詳細は配線リスト参照)



塔時計撤去
(大型映像装置設備工事)

5階平面図 S=1/50 (撤去図)



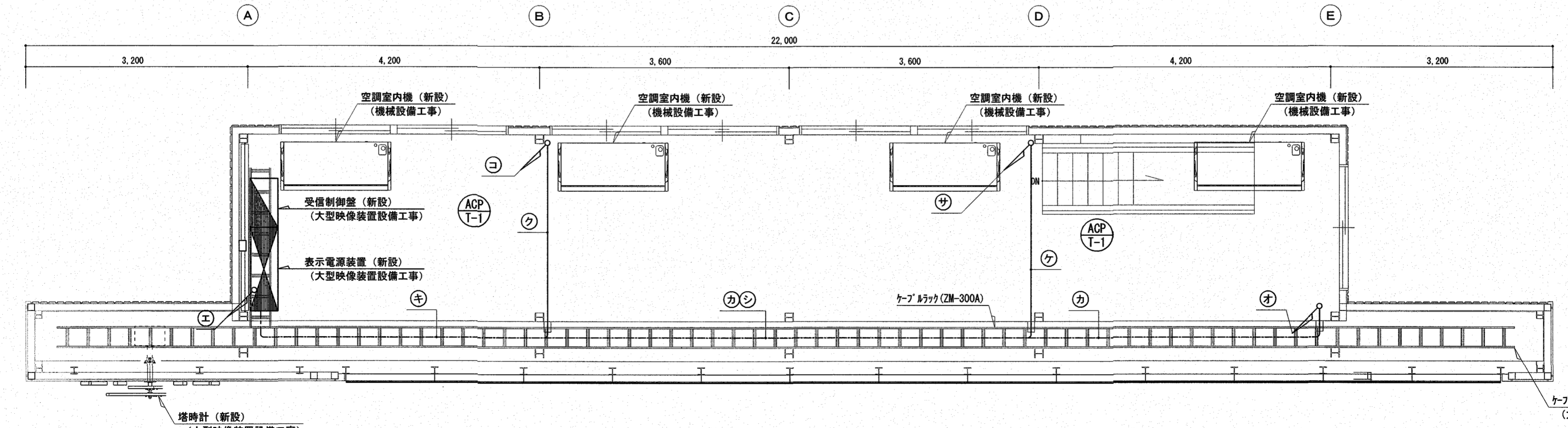
R階平面図 S=1/50

配線リスト

記号	ケーブルサイズ	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
㊦	SM-10/125-12C	(既HIVE28)	表示制御	放送室(光成端箱)~スラック-1'受信制御盤	既設配管流用
㊧	EM-CE1150 ⁰ , EM-IE14 ⁰	(HIVE82)	3φ3W	増設低圧動力盤~スラック-1'表示電源装置	新設
㊨	EM-CE1150 ⁰ , EM-IE14 ⁰	ケーブルラック	3φ3W	増設低圧動力盤~スラック-1'表示電源装置	新設
㊩	EM-CE1150 ⁰ , EM-IE14 ⁰	ケーブルラック	3φ3W	増設低圧動力盤~スラック-1'表示電源装置	新設
㊪	EM-CE14 ⁰ -3C, EM-IE3.5 ⁰	ケーブルラック	3φ3W	スラック-1'表示電源装置~新設空調機	新設
㊫	EM-CE14 ⁰ -3C, EM-IE3.5 ⁰	ケーブルラック	3φ3W	スラック-1'表示電源装置~新設空調機	新設
㊬	EM-CE14 ⁰ -3C, EM-IE3.5 ⁰	HIVE36	3φ3W	スラック-1'表示電源装置~新設空調機	新設
㊭	EM-CE14 ⁰ -3C, EM-IE3.5 ⁰	HIVE36	3φ3W	スラック-1'表示電源装置~新設空調機	新設
㊮	EM-CE14 ⁰ -3C, EM-IE3.5 ⁰	冷媒共巻	3φ3W	スラック-1'表示電源装置~新設空調機	新設
㊯	EM-CE14 ⁰ -3C, EM-IE3.5 ⁰	冷媒共巻	3φ3W	スラック-1'表示電源装置~新設空調機	新設
㊰	EM-CE14 ⁰ -3C, EM-IE3.5 ⁰	ケーブルラック	3φ3W	スラック-1'表示電源装置~新設空調機	新設

凡例

— 露出配管配線 (詳細は配線リスト参照)



5階平面図 S=1/50

第1章 一般事項

1. 適用

この仕様書は、「東部総合運動場野球場スコアボード更新工事」に適用するものとする。

2. 工事概要

現在、野球競技の運用において、得点・チーム名・選手名などを磁気反転式素子にて表示していたものを、既設躯体を流用して表示部を高精細なSMD型フルカラーLED素子にて更新することで、映像表示を可能とすると共に、スピードガンを設置することで球速表示も可能とする。また、これに伴う既設表示装置他の撤去、更新機器の搬入・据付および試験調整を行うものとする。

3. 工事区分

原則として、本工事に必要な工事は全て受注者により実施すること。

- (1) 仮設工事
- (2) 既設スコアボード機器の撤去（廃棄処分を含む）
- (3) 新設スコアボード機器の製作・搬入・据付
- (4) スコアボード用空調設備工事
- (5) 大型映像表示装置本体（筐体）の改修工事
 - ①側面、背面、天井、底面部の外壁については既設流用
 - ②前面パネルの表示部について撤去・新設
- (6) 電源設備の改修（撤去・新設）工事およびスコアボード内電源供給工事
- (7) 上記(1)～(6)に係る配管配線工事
 - ①既設不要配線は撤去を行う。（廃棄処分を含む）
 - ②既設配線・配管等利用可能な部分においては流用とする。
 - ③既設配線・配線ルート以外の必要部分については配線・配管を行う。
- (8) 施工後のオペレータ教育および開催立合（各1日）
- (9) 予備品の製作・搬入

4. 適用規格

- (1) 国土交通省および電気設備工事施工管理指針（最新版）
- (2) 日本産業規格（JIS）
- (3) 日本電気工業規格（JEM）
- (4) 日本電子機械工業規格（EIAJ）
- (5) 電気学会電気規格（JEC）
- (6) その他関連法令・規則等

5. 保証

納入機器に関し、引き渡し後1年以内に万一反設計または製造に起因する不具合が発生した場合は無償にて速やかに修復するものとする。

6. その他事項

- スコアボードの表示部については保守性・信頼性・長期維持を考慮し、以下の通りとする。
- (1) スコアボード表示部は、長期維持およびメンテナンスが可能なものとする。
 - (2) 納入後、保守サービス対応が可能であるものとする。

第2章 機器仕様

1. システム概要

このスコアボードシステムは、フルカラーLED素子によるフリーパターン表示部、判定表示用の表示信号灯およびアナログ式塔時計により構成され、野球競技のチーム名・得点・選手名・審判名および球速表示が行えるものとし、各種メッセージ・静止画・動画映像がカラーで表示可能なものとする。
このスコアボードは野球競技表示機能に加え、災害時には、映像・文字表示を行うことができ、各種のイベント対応等多目的な活用も可能なものとする。

2. 環境条件

次の環境条件において正常に動作するものとする。（結露はないものとする。）

- (1) 周囲温度
 - 屋外機器 -10℃～+45℃
 - 屋内機器 +5℃～+35℃
- (2) 相対湿度
 - 屋外機器 20%～95%RH以下
 - 屋内機器 40%～85%RH以下

3. 機器構成

- 3.1 スコアボード機器
 - (1) LED表示部 1式
 - (2) 判定表示盤(BSO) 1台
 - (3) 判定表示盤(HEFc) 1台
 - (4) サイレン 1式
 - (5) 塔時計 1式
 - (6) 塔時計制御盤 1台
 - (7) 空調設備 1式
 - (8) LED照明設備 1式
 - (9) 表示電源装置 1台
 - (10) 分岐盤 3台
 - (11) 受信制御盤 1台
- 3.2 サブスコアボード機器
 - (1) サブスコアボード 1式
- 3.3 操作室
 - (1) 表示制御架 1式
 - (2) 映像機器架 1式
 - (3) 出力確認モニター/ソース確認モニター 各1式
 - (4) スコア制御装置（得点操作/登録操作） 2式
 - (5) 判定・投球数操作盤 1台
 - (6) 無停電源装置 1台

- (7) 主審連絡通話器（親機・子機） 1式
- (8) 公式記録操作盤 1台

- 3.4 中継車盤
 - (1) 中継車盤 1式

- 3.5 球速表示機器
 - (1) スピードガン本体 1台
 - (2) スピードガン収納箱 1台
 - (3) スピードガン制御盤 1台
 - (4) スピードガン操作盤 1台

- 3.6 移動式カメラ
 - (1) カメラ接続盤 1式
 - (2) 移動式カメラ 1式
 - (3) 信号変換器（延長ケーブル付属） 1式

4. スコアボード機器仕様

- 4.1 LED表示部
 - (1) 構造 屋外型/分割・背面取付構造
 - (2) 材質・塗装 アルミ製・粉体塗装
 - (3) 表示面寸法 横16,640mm×縦5,760mm 以上
 - (4) 表示面積 95.84㎡ 以上
 - (5) 表示素子 フルカラーLED（SMD3in1）
 - (6) 絵素ピッチ 横縦共10mm 以下
 - (7) 絵素数 横1,664絵素×縦576絵素=958,464絵素
 - (8) 表示輝度 5,000cd/㎡以上（初期白色表示時）
 - (9) 表示階調 65,536階調
 - (10) 視認角度 水平方向±75°以上 垂直角度+50°、-70°以上
 - (11) 輝度調整 手動（9段階）およびセンサーによる自動調整
 - (12) 入力電源 1Φ2W AC200V 60Hz
 - (13) 防水 IPx5（表示部のみ）
 - (14) 保守 スコアボード背面（内部）より可能

4.2 判定表示盤(BSO)

- (1) 構造 屋外型/背面取付構造
- (2) 材質 鋼板製 t2.3以上
- (3) 塗装 ウレタン樹脂塗装
- (4) 塗装色 指定色
- (5) 表示灯 Φ310mm程度 LED式
- (6) 表示色 B（ボール） 青色 ×3灯
S（ストライク） 黄色 ×2灯
O（アウト） 赤色 ×2灯
- (7) 入力電源 1Φ2W AC100V 60Hz
- (8) 固定文字 白色シール文字/文字高さ：300mm
- (9) 概算重量 約160kg
- (10) 保守 スコアボード背面（内部）より可能
- (11) その他 サイレンおよびLED表示部用の照度センサーを実装

4.3 判定表示盤(HEFc)

- (1) 構造 屋外型/背面取付構造
- (2) 材質 鋼板製 t2.3以上
- (3) 塗装 ウレタン樹脂塗装
- (4) 塗装色 指定色
- (5) 表示灯 Φ310mm程度 LED式
- (6) 表示色 H（ヒット） 赤色 ×1灯
E（エラー） 赤色 ×1灯
Fc（フィールドフライ） 赤色 ×1灯
- (7) 入力電源 1Φ2W AC100V 60Hz
- (8) 固定文字 白色シール文字/文字高さ：300mm
- (9) 概算重量 約125kg
- (10) 保守 スコアボード背面（内部）より可能

4.4 サイレン

- (1) 音響周波数 700Hz
- (2) 回転数 7000rpm
- (3) 消費電力 330W（定格）
- (4) 入力電源 1Φ2W AC100V 60Hz
- (5) 取付 収納箱に取付

4.5 塔時計

- (1) 外形寸法 Φ2000程度 外形は別途図面参照
- (2) 設置型式 壁面取付型
- (3) 機能
 - a. 現在時間の表示
 - b. DC24V, 30秒有極信号による制御
- (4) 仕様
 - a. 指針：ステンレス 指定色塗装 半ツヤ
 - b. 文字：ステンレス 指定色塗装 半ツヤ
- (5) 総質量 約29kg

4.6 塔時計制御盤

- (1) 外形寸法 外形は別途図面参照
- (2) 設置型式 壁面取付型
- (3) 構成 塔時計調針器内蔵
- (4) 機能 GPSアンテナで受信した時刻データを受け、塔時計調針器により塔時計へ信号を送信する。

4.7 空調設備

- (1) 定格冷房標準能力 図面M-2参照
- (2) 電源 3Φ3W AC200V 60Hz
- (3) 機能 操作室から空調設備の運転および停止を切り替え可能とする。

4.8 LED照明設備

- (1) 公共施設型番 LSS1-4-48
- (2) 色温度 5,000K

4.9 表示電源装置

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 型式 屋内自立型
- (3) 材質 鋼板製 t2.3以上
- (4) 塗装 粉体塗装
- (5) 塗装色 マンセル 5Y7/1 半ツヤ仕上げ
- (6) 入力 3Φ3W AC200V 60Hz（容量：60kVA）
- (7) 出力 3Φ3W AC200V 60Hz（表示、空調）
1Φ2W AC100V 60Hz（判定表示、時計、制御）
1Φ2W AC200V 60Hz（照明）
- (8) 機能 屋外キュービクルより電源を受電し、スコアボード内機器に電源を供給する。

4.10 分岐盤

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 型式 屋内壁面取付型
- (3) 材質 鋼板製 t1.6以上
- (4) 塗装 粉体塗装
- (5) 塗装色 マンセル 5Y7/1 半ツヤ仕上げ
- (6) 入力 3Φ3W AC200V 60Hz
- (7) 出力 1Φ2W AC200V 60Hz
- (8) 機能 LED表示電源を分岐し、各表示ユニットに電源を供給する。

4.11 受信制御盤

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 型式 屋内自立型
- (3) 構造 鋼板製 t2.3以上
- (4) 塗装 粉体塗装
- (5) 塗装色 マンセル 5Y7/1 半ツヤ仕上げ
- (6) 電源 1Φ2W AC100V 60Hz
- (7) 構成
 - ①光成端箱
 - ②光伝送装置
 - ③光コンバーター（O/E）
 - ④外線接続パネル
 - ⑤電源制御部
- (8) 機能 操作室からの映像信号を光信号で受信し、電気信号に変換して各LED表示ユニットに送出する。各機器の制御信号を中継し、各機器に信号を伝達する。空調設備停止にて、換気扇運転に切り替え可能とする。

5. サブスコアボード機器仕様

5.1 サブスコアボード

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 材質 鋼板製 t2.3以上
- (3) 塗装/塗装色 ウレタン樹脂塗装/指定色
- (4) 信号灯表示
 - Φ260mm程度 LED式
 - B（ボール） 青色 ×3灯、S（ストライク） 黄色 ×2灯、赤（アウト） ×2灯
 - H（ヒット） 赤色 ×1灯、E（エラー） ×1灯、Fc（フィールドフライ） ×1灯
 - 文字高さ約480mm LED式
 - 表示内容 0～999
 - 表示色：白・赤・緑・青・黄・シアン・マゼンタより選定
- (5) 信号灯
 - 1Φ2W AC100V 60Hz 6kVA
 - (7) 固定文字 白色シール文字/文字高さ：250mm
 - (8) 概算重量 約480kg

6. 操作室機器

6.1 表示制御架

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 型式 屋内自立型
- (3) 塗装/塗装色 メーカー標準屋内塗装/標準色（パールホワイト/マンセル 10YR8.5/0.5）
- (4) 機器構成
 - ①光成端箱
 - ②光伝送装置（表示用）
 - ③光伝送装置（光コンバーター）
 - ④輝度操作パネル
 - ⑤電源操作パネル
 - ⑥表示信号灯制御部
 - ⑦LEDコントローラー（メイン/バックアップ）
 - ⑧SW-HUB
 - ⑨電源制御ユニット
 - ⑩ラック本体・架台
- (5) 電源 1Φ2W AC100V 60Hz 1kVA
特記仕様書2へ

特記仕様書1より

(6) 機能

- ①スコア操作装置、判定・投球数操作盤からの信号を受け、光信号変換器にて光信号に変換し、光成端箱にてメインスコアボードに表示信号の送信を行う。
- ②サブスコアボードへ判定表示信号を送信します。
- ③電源操作パネルにて、メインスコアボード・サブスコアボードの電源入/切操作が可能とする。
- ④電源操作パネルでスコアボード電源の状態監視「受電」「故障」を確認することが可能とする。
※主要ブレーカーの故障（トリップ）
- ⑤LEDコントローラは、運用実数を予備として実装し、二重化すること。
- ⑥メインスコアボードの表示映像を最終ラインモニターに表示できるものとし、最終ラインモニタは、操作カウンターに設置する。
- ⑦LED表示部の表示輝度を手動により切替操作が可能とする。

6.2 映像機器架

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 型式 屋内自立型
- (3) 塗装/塗装色 メーカー標準屋内塗装/標準色 (パールホワイト/マンセル 10YR8.5/0.5)
- (4) 機器構成
 - ①同期信号発生器
 - ②映像信号分配器
 - ③フレームシンクロナイザー
 - ④SDI切替器
 - ⑤マトリクススイッチャー(16×16)
 - ⑥映像切替器 (操作カウンターに設置)
 - ⑦画像合成装置
 - ⑧ブルーレイレコーダー
 - ⑨TVチューナー(地デジ・BS・110度CS)
 - ⑩SDI分配器
 - ⑪信号変換器
 - ⑫エンベデット/デエンベデット
 - ⑬モニタスピーカー(1Uラックマウント型)
 - ⑭外部入力パネル
 - ⑮描画装置
 - ⑯無停電源装置
 - ⑰ラック本体・架台

(5) 電源

- (6) 機能
 - ①スコアボードへ表示するビデオ映像およびスコア表示の切替操作が可能とすること。
 - ②スコアボードへ表示するビデオ映像およびスコア表示の表示位置・表示サイズの切替操作が可能とし、各映像機器の入力および出力が適正に接続され、スコアボードに表示が可能とすること。
 - ③各映像機器の映像を、モニター確認が可能とすること。

6.3 出確認モニター/ソース確認モニター

- (1) 形状 卓上型 (操作カウンターに設置)
- (2) 型式 液晶モニター 10型
- (3) 機能 メインスコアボード表示内容の確認が可能とすること。

6.4 スコア制御装置 (得点操作/登録操作)

- (1) 形状 屋内卓上型 (本体は表示制御架に実装)
- (2) 構成
 - ①本体 (デスクトップ型パソコン)、キーボード、マウス
 - ②18.9型液晶モニター
- (3) 本体仕様
 - ①OS Windows11 Professional
 - ②メインメモリ 8GB程度
 - ③HDD 500GB程度
- (4) 電源 1Φ2W AC100V 60Hz (無停電源より必要機器に供給)
- (5) 操作機能 (スコア)
 - ①チーム名、守備位置、選手名の登録・表示 ※登録数は300チーム以上、100名/1チーム
 - ②審判名の登録・表示 ※登録数は100名以上
 - ③個人成績(打数、安打数、ホームラン数)登録・表示
 - ④以下のデータを外部で入力・作成し、本装置に取り込むことが可能とすること。
「チーム名」・「選手名」・「背番号」・「個人成績」および「審判名」
 - ⑤攻撃側判別・打順・得点・ヒット数・エラー数表示操作
 - ⑥BSO・HEFc表示操作 ※判定・投球数操作盤のバックアップ
 - ⑦投球数の表示操作 ※判定・投球数操作盤のバックアップ
 - ⑧投球数は試合終了まで選手毎に記憶し、試合中再登板の際は自動でそれまでの投球数の続きからカウント表示とする。
 - ⑨試合経過時間表示操作 ※試合開始操作に自動連動し、表示途中でも時間修正が可能なこと。
 - ⑩交代時間表示操作 (投手交代/攻守交替時) ※カウントアップまたはダウン表示切替操作が可能なこと。
 - ⑪各スコア表示部の表示色設定
 - ⑫下記スコア表示内容を、試合前・試合中に関わらず設定が可能
 - a. 選手表示設定 9人制/10人制
※選手名表示間隔は9人/10人で自動変更(間をあける)
 - b. 審判表示設定 4人制/6人制
 - c. 試合中のヒット数・エラー数 表示/非表示
 - d. 打撃個人成績 表示/非表示
 - e. 球速表示 表示/非表示
 - f. 試合経過時間 表示/非表示
 - g. 交代時間 表示/非表示
 - h. 得点加算時効果表示 カット表示/点減表示
 - i. 選手交代時効果表示 回転表示/点減表示
 - j. スコア表示レイアウト 表示/任意/英字
※「任意」選択時は事前に表示レイアウトを作成・登録が可能
 - k. スコア表示文字選択 漢字表記/英字表記
※英字表示文字選択時は表示レイアウトは「英字」のみ

(メッセージ) ⑬デジタル静止画面の作成・登録・表示

- ※登録数は100ファイル以上
- ※外部作成静止画を記憶媒体によるデータ取り込み機能含む
- ⑭固定・流動メッセージの(文字表示)登録・表示
※登録数は100ファイル以上
- ※外部作成静止画を記憶媒体によるデータ取り込み機能含む
- ⑮作成・保存したデジタル静止画・メッセージを表示順にスケジュール登録し、手動および表示時間設定による自動表示操作が可能

- ⑯文字種類: JIS第一水準・第二水準漢字・平仮名・カタカナ・英数字・外字
- ⑰外字編集・登録 ※標準「外字エディタソフト」を使用
- (映像) ⑱スコア表示部へ表示するビデオ映像の切替操作
- ⑲ビデオ映像の表示位置・表示サイズの切替操作
- (その他) ⑳スコア操作装置は1台でも試合運用が行えることとする。また、2台間で登録および試合中の運用情報(データ)を共有することで、2台運用時でのバックアップ機能も兼ねることとする。
※判定・投球数操作盤の操作機能 ※判定・投球数操作盤のバックアップ機能
※操作機器の操作に関わらず、スコア表示部の表示をフリーズ(一時停止)操作が可能とすること。

6.5 判定・投球数操作盤

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 型式 屋内卓上型
- (3) 塗装/塗装色 メラミン樹脂焼付塗装/マンセル 2.5Y9/1 半ツヤ
- (4) 電源 1Φ2W AC100V 60Hz
- (5) 機能 下記操作機能を有するものとします。

- (判定操作) ①カウント(BSO)操作
- ②公式記録判定(HEFc)操作
- ③チェンジ(CH)クリア操作
- ④BS(BS)クリア操作
- ⑤ランナーアウト(RO)操作
- ⑥ジャッジリセット(JR)操作
- ⑦サイレン操作
- (投球数操作) ⑧投球数加算[+1] / 減算[-1]操作
- ⑨投球数クリア[クリア]操作
- ⑩投球数表示(0~999)
- ⑪先攻/後攻表示 ※現在の守備側(投球数表示側)を表示

6.6 無停電源装置(UPS)

- (1) 形式 ラック実装型 ※表示制御装置に実装
- (2) 機能 保護必要機器へ電源を供給する。
- (3) バックアップ時間 約4分以上(定格負荷出力時)
- (4) 定格出力容量 1100W以上(最大出力時)
- (5) 切替時間 10msec以内
- (6) 入力電源 1Φ2W AC100V 60Hz

6.7 主審連絡通話器

- (1) 設置 (親機)記録放送室内操作カウンター/卓上型
(子機)バックネット裏壁面/壁面取付型
- (2) 電源 1Φ2W AC100V (親機のみ)
- (3) 機能 ①主審(グラウンド内)と操作員(記録放送室内)との連絡通話が可能。
②通話状態(ON/OFF)操作は、親機にて可能とすること。

6.8 公式記録操作盤

- (1) 外形寸法 図面参照
- (2) 型式 屋内卓上型
- (3) 塗装/塗装色 メラミン樹脂焼付塗装/マンセル 2.5Y9/1 半ツヤ仕上げ
- (4) 電源 1Φ2W AC100V 60Hz
- (5) 機能 公式記録判定(HEFc)操作
「占有」、「訂正」機能付き

7. 中継車盤

- 7.1 中継車盤
 - (1) 外形寸法 図面参照
 - (2) 型式 屋内卓上型
 - (3) 塗装/塗装色 ウレタン樹脂/マンセル 2.5Y9/1 半ツヤ仕上げ
 - (4) 電源 1Φ2W AC100V 60Hz
 - (5) 機能 TV中継車と映像信号をコネクタ接続し、操作室との映送信号の中継を行う。

8. 球速表示機器

- 8.1 スピードガン本体
 - (1) 設置 スピードガン収納箱に専用金具にて取付
 - (2) 測定可能距離 約40m
 - (3) 測定可能速度 8~225km/h
 - (4) その他 調整用音叉を添付すること。

8.2 スピードガン収納箱

- (1) 設置方式 現地調査にて、係員と協議の上決定すること。
- (2) 材質 ケース: SUS製 t1.5以上、前面パネル: 計測電波を透過する材質を選定
- (3) 塗装/塗装色 ウレタン樹脂塗装/設置場所周辺の近似色
- (4) 機能 スピードガン本体からの信号を変換し、スピードガン制御盤へ送信
- (5) 入力電源 スピードガン制御盤より専用電源を入力
※内部制御基板およびスピードガン本体への供給

8.3 スピードガン制御盤

- (1) 型式 ラック組込型(表示制御架に実装)
- (2) 材質 鋼板製 t1.6以上
- (3) 塗装/塗装色 メラミン樹脂焼付塗装/マンセル 2.5Y9/1 半ツヤ仕上げ
- (4) 機能 ①スピードガンの計測データを変換し、スピードガン操作盤、メインスコア制御部、サブスコア表示盤および中継車中継盤へ、シリアル信号にて送出
②スピードガン本体およびスピードガン操作盤への電源供給
- (5) 入力電源 AC100V 約100VA

8.4 スピードガン操作盤

- (1) 型式 屋内卓上型
- (2) 材質 鋼板製 t1.6以上
- (3) 塗装/塗装色 メラミン樹脂焼付塗装/マンセル 2.5Y9/1 半ツヤ仕上げ

- (4) 機能 ①スピードガンの計測データされた最高速度をモニター
②スピードガン本体およびスピードガン制御の電源操作
③球速表示時間を5段階で設定可能
スピードガン制御盤より入力

9. 移動式カメラ

- 9.1 カメラ接続盤 (フィールド側に設置)
 - (1) 形状 図面参照
 - (2) 入力 BNCコネクタ×1
 - (3) 機能 HD-SDI信号をコネクタ接続し、操作室に映送信号の中継を行う。
 - (4) 質量 約5kg

9.2 移動式カメラ

- (1) 映像出力 ミニHDMI
- (2) ズーム 光学50倍/デジタル150倍
- (3) 総画素数 251万
- (4) 寸法 W53×H59×D121mm
- (5) 重量 約256g

9.3 信号変換器 (延長ケーブル付属)

- (1) 入力 入力: HDMI, 出力: HD-SDI
- (2) 機能 HDMIの映像および音声はHD-SDI信号に変換し、操作室に信号を送信する。

10. ピッチクロック表示システム

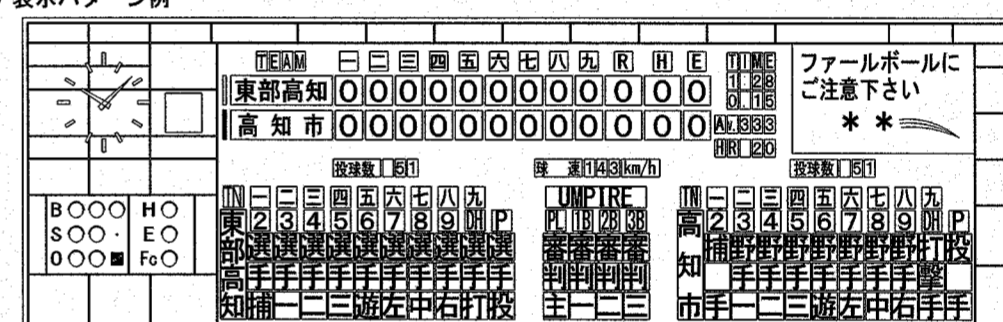
- (1) 機能 スコアボード内及びバックネット裏(室内)に投球間隔(秒)を示す置き型の表示を行う。また時間は設定にて変更が可能とする。
- (2) 構成・形式 表示盤 置き型
操作盤 卓上型
制御盤 壁付け
図面参照

11. 予備品

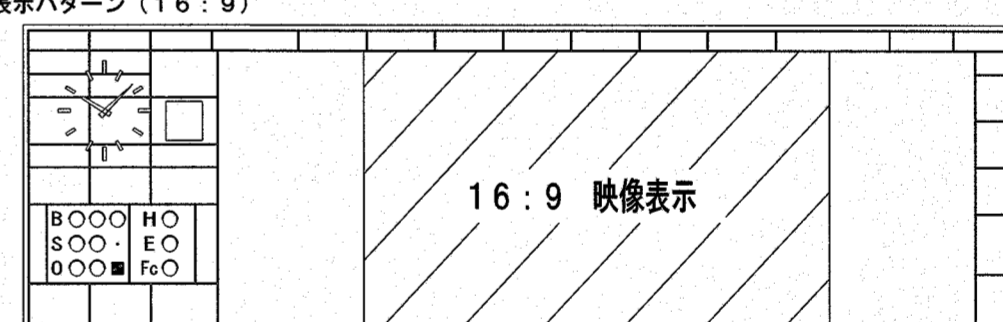
- (1) LEDモジュール 1%以上
- (2) 制御基板 各種 5枚以上
- (3) LED表示用電源 各種 5台以上
- (4) リレー 各種 1個以上
- (5) 予備品箱 1式

12. 表示機能

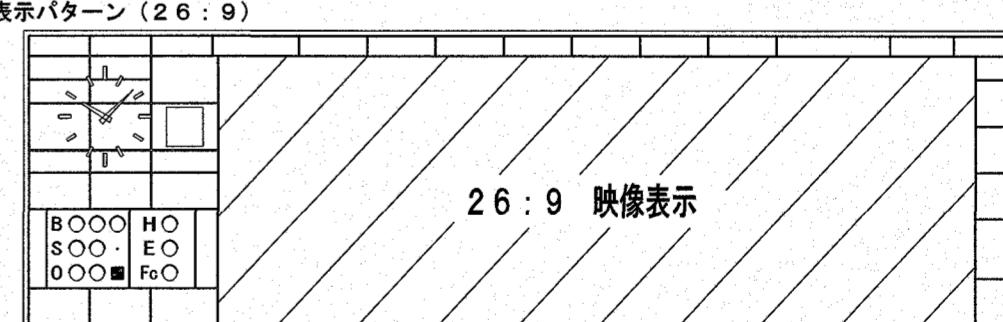
(1) スコア表示パターン例



(2) 映像表示パターン(16:9)

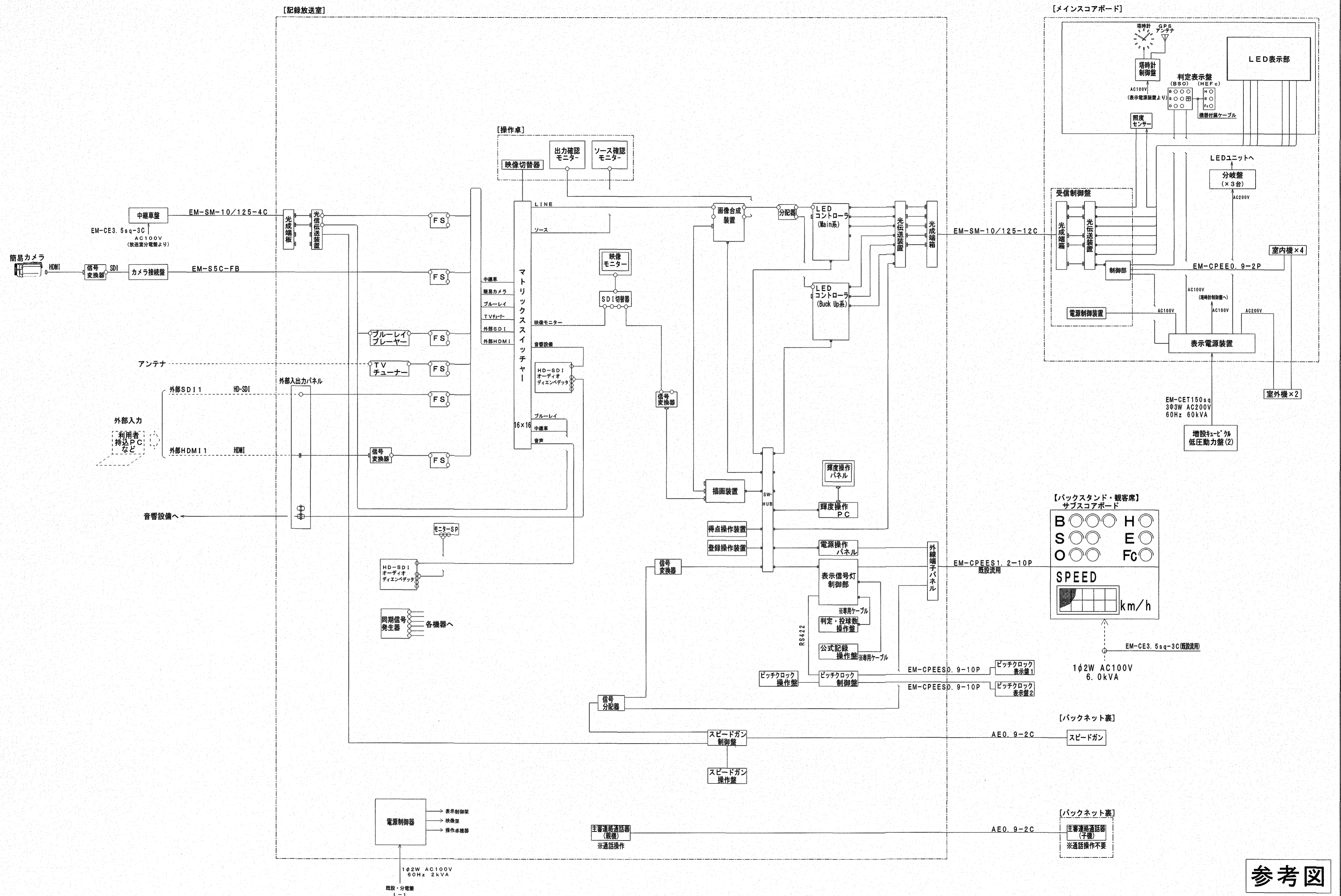


(3) 映像表示パターン(26:9)



13. 特記事項

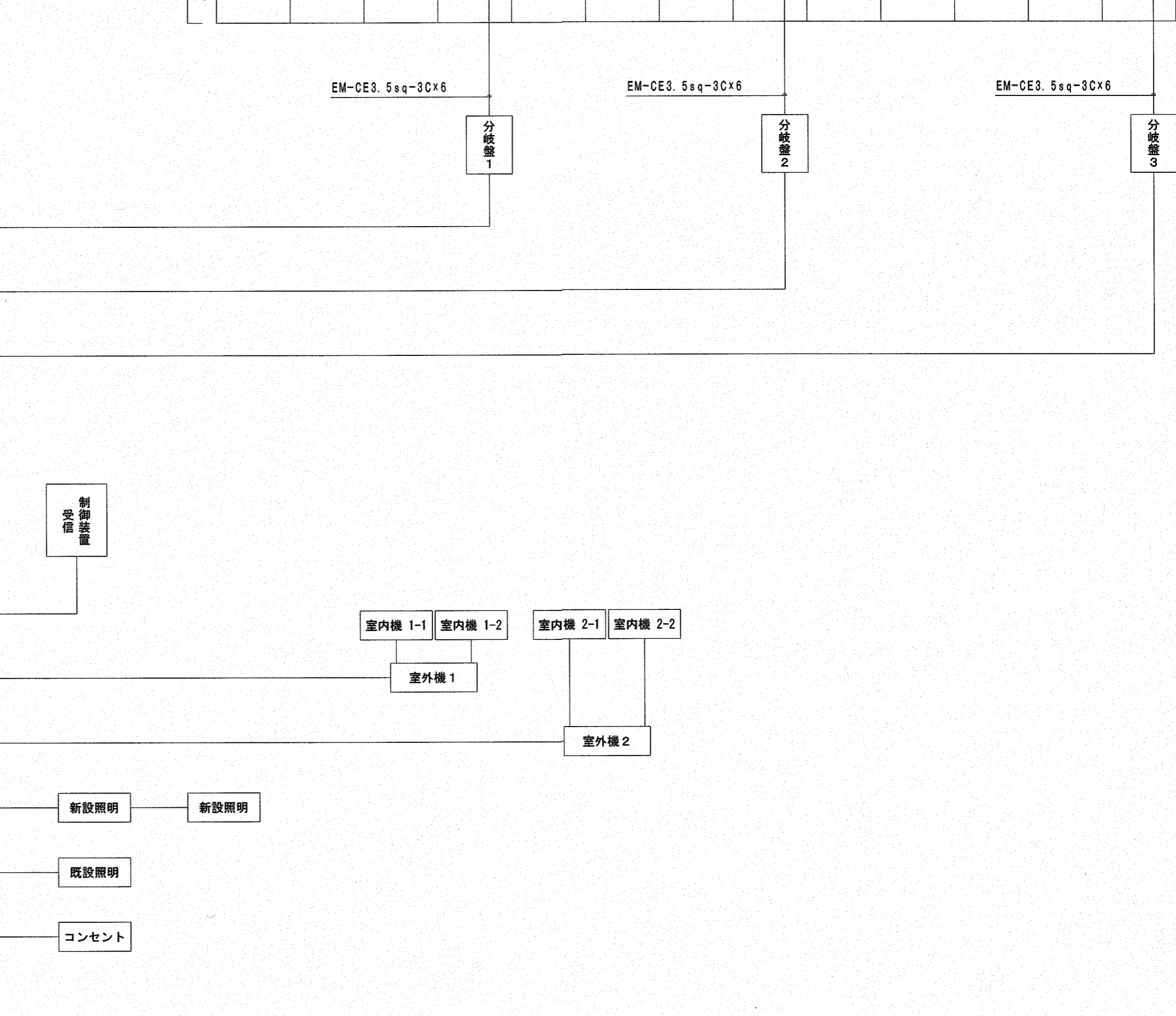
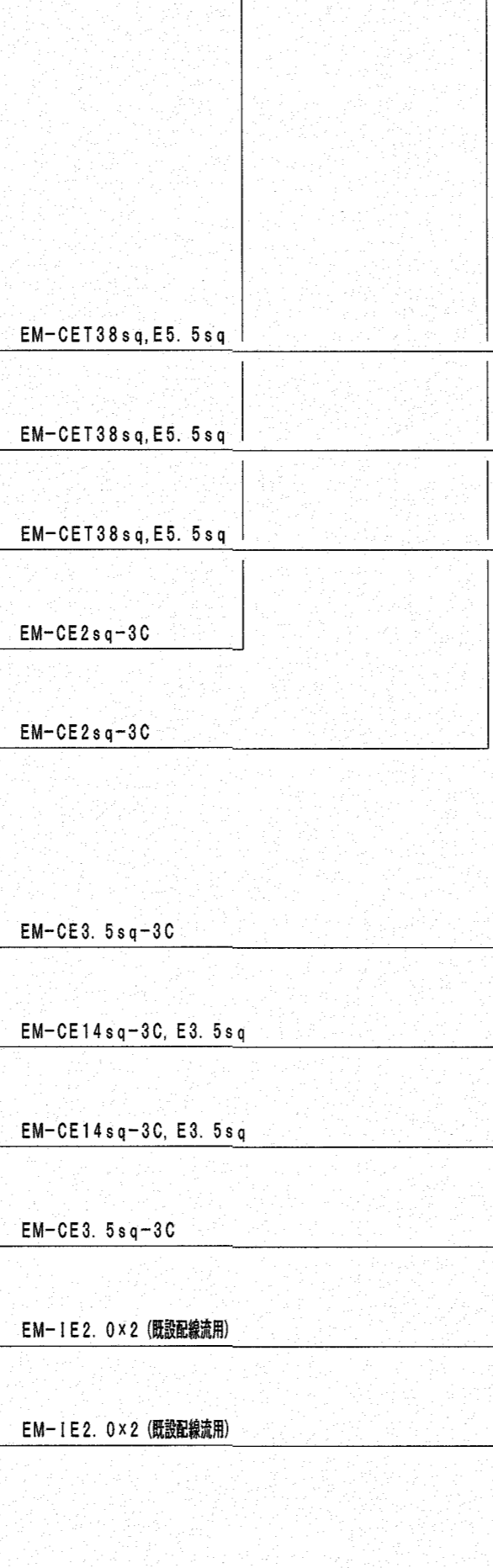
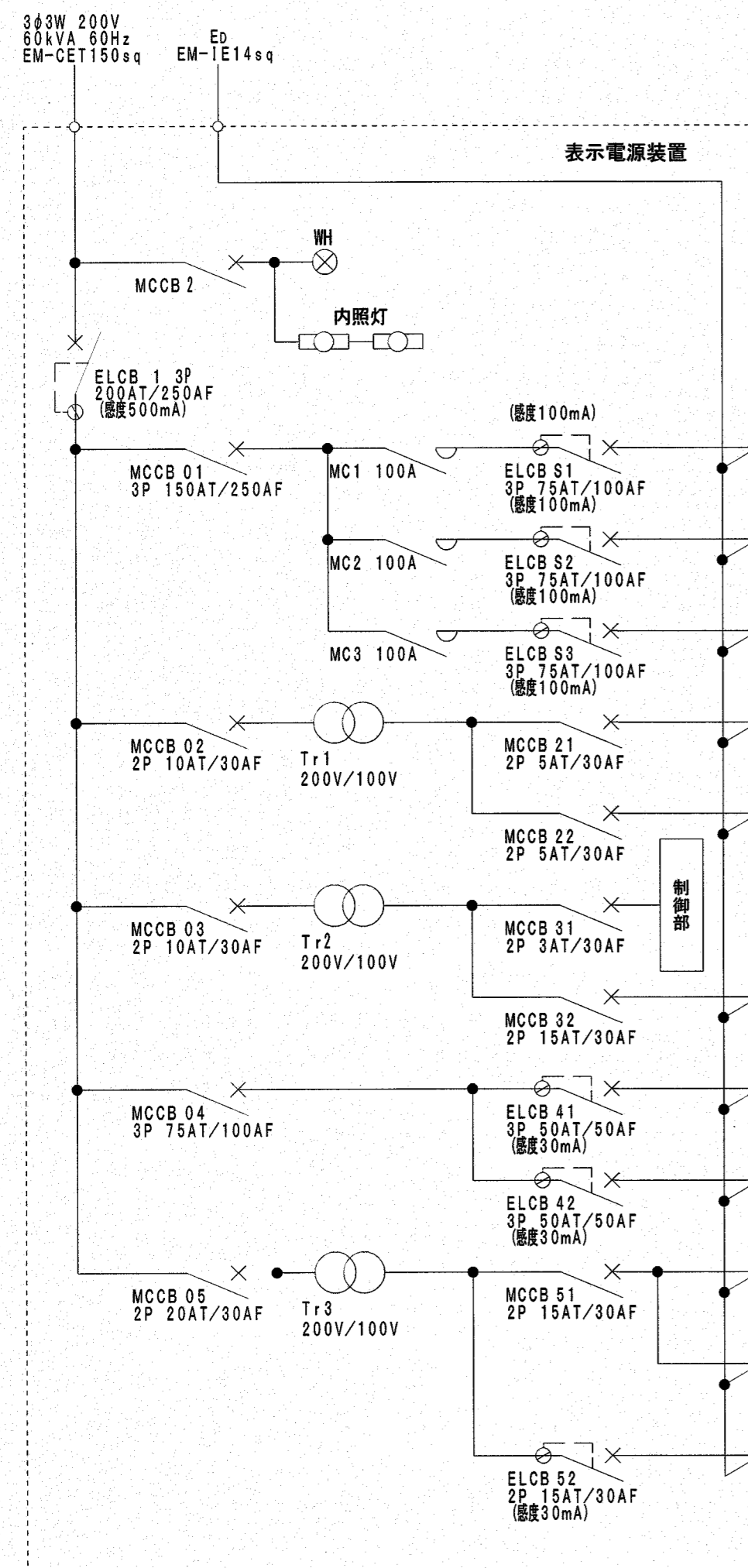
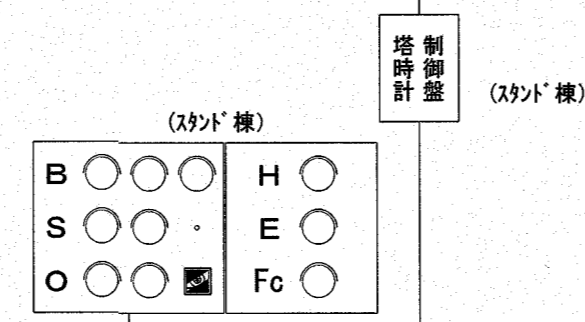
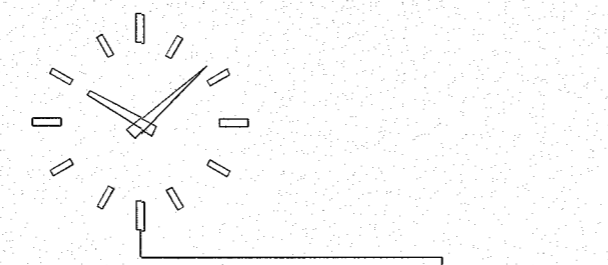
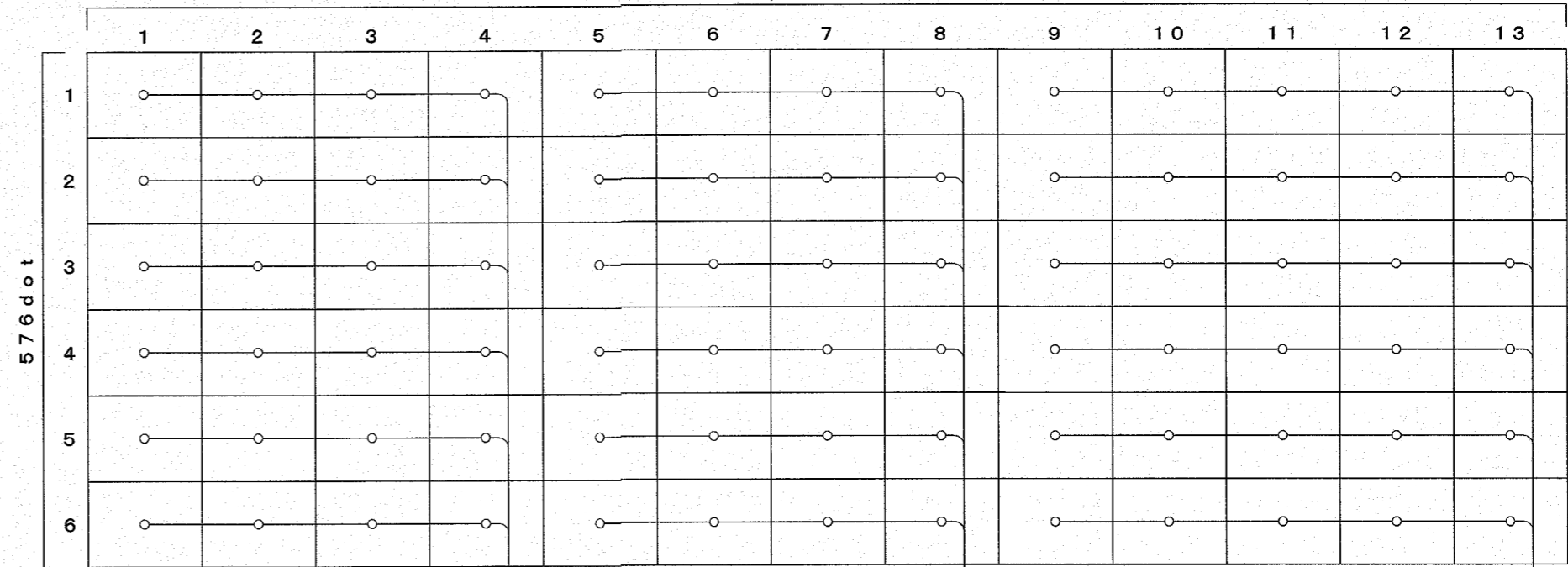
- (1) このスコアボード装置は、納入するメーカーの自社製品として品質保証が行えるLEDユニットを納入できること。その証明として自社製造銘板を有するものとすること。
- (2) このスコアボード装置を納入するメーカーは長期運用における品質維持管理可能とするため、国内メーカー(ISO9001取得)による製造品とし、品質保証を行える製品を納入するものとすること。
- (3) このスコアボード装置を納入するメーカーは、24時間対応の保守サービス体制を有し、実際に運用を行っていること。また、10年以上の当該サービスの実施実績を有するものであること。
- (4) このスコアボード装置を納入するメーカーは、LED式大型映像装置において、10年間を想定した期間の部品供給を確約できるものであること。
- (5) このスコアボード装置を納入するメーカーは、国内の競技場(ボートレース場、競輪場、競馬場、オートレース場、野球場、への納入実績(令和5年以降)を有するものであること。



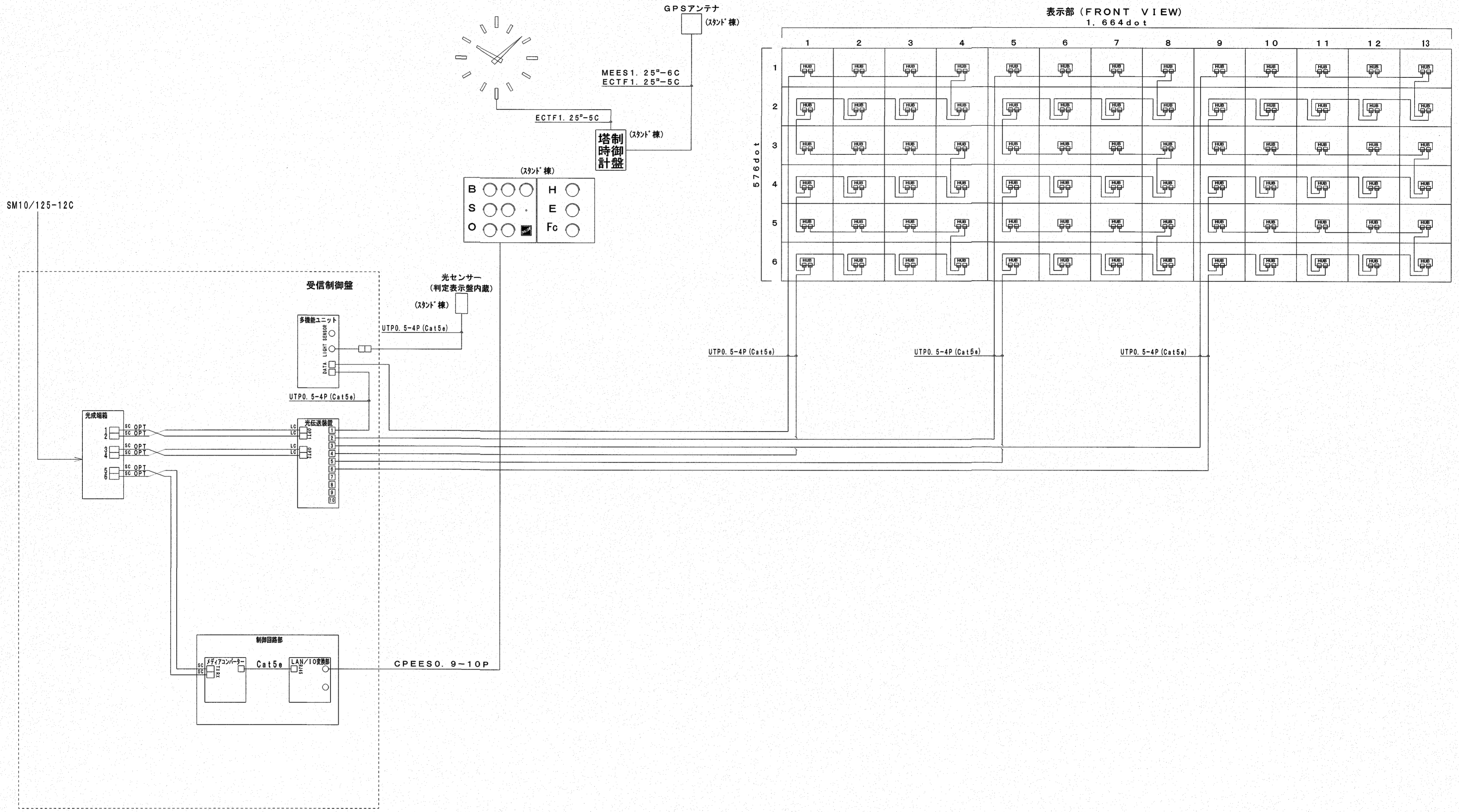
参考図

表示部 (FRONT VIEW)

1. 664 dot



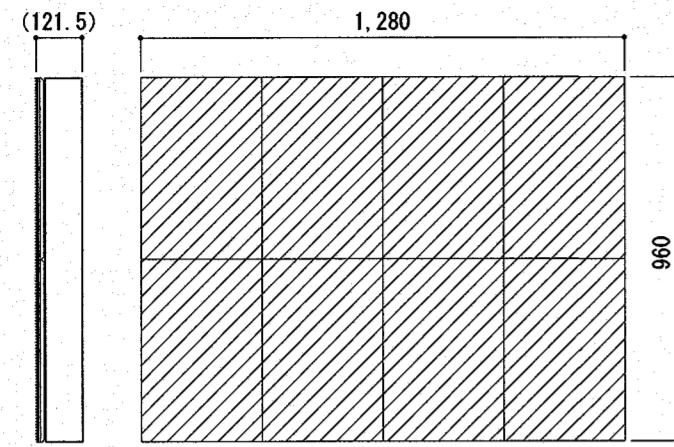
参考図



参考図

4. 1 LEDユニット (LED表示部)

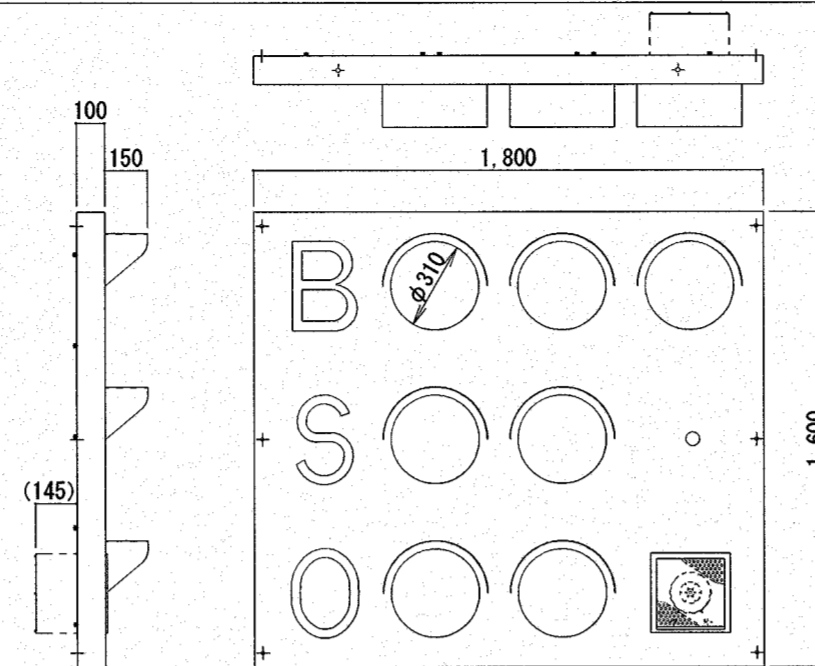
78台



ケース	アルミニウム t=2.0
塗装	粉体塗装(黒色)
質量	約35kg
最大消費電力	約530W
等級	前面IPx5

4. 2 判定表示盤 (BSO)

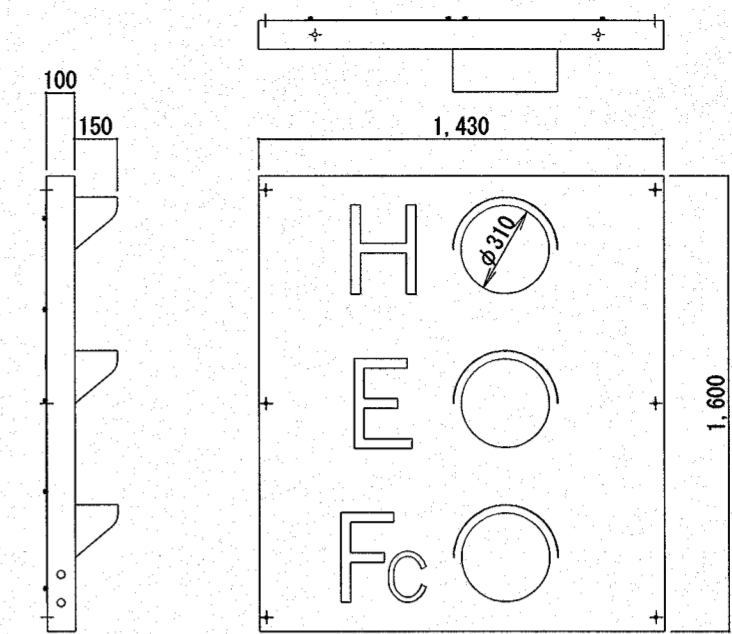
1台



材質	鋼板製 t2.3以上
塗装	ウレタン樹脂塗装
表示灯素子	青LED×3灯/黄LED×2灯/赤LED×2灯
表示灯レンズ	Φ310 ポリカーボネイド製
入力電源	AC100V
質量	約160kg

4. 3 判定表示盤 (HEFc)

1台

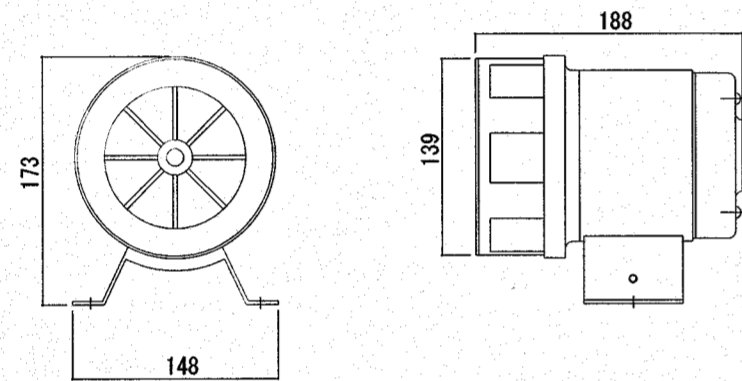


材質	鋼板製 t2.3以上
塗装	ウレタン樹脂塗装
表示灯素子	赤LED×3灯
表示灯レンズ	Φ310 ポリカーボネイド製
入力電源	判定表示盤 (BSO) より点灯用DC電源入力
質量	約125kg

4. 4 サイレン

1台

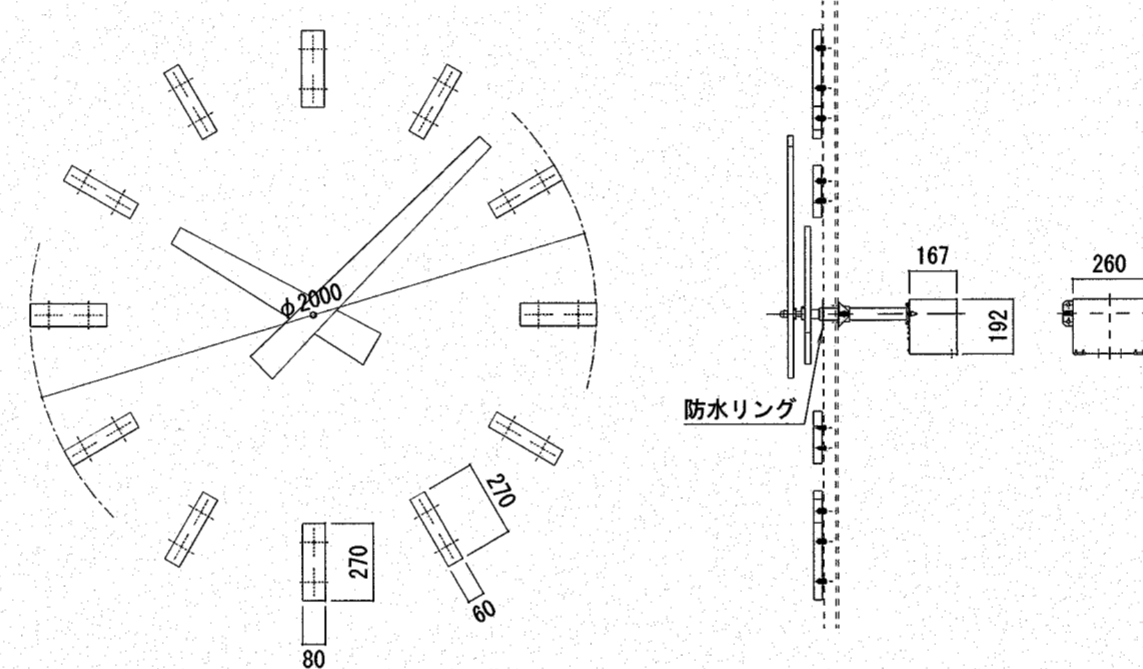
※判定表示盤 (BSO) 右端に設置



構造	据置型
音響周波数	700Hz
回転数	7,000rpm
音圧	123dB/m
入力電源	AC100V 約330W
質量	約4.4kg

4. 5 塔時計

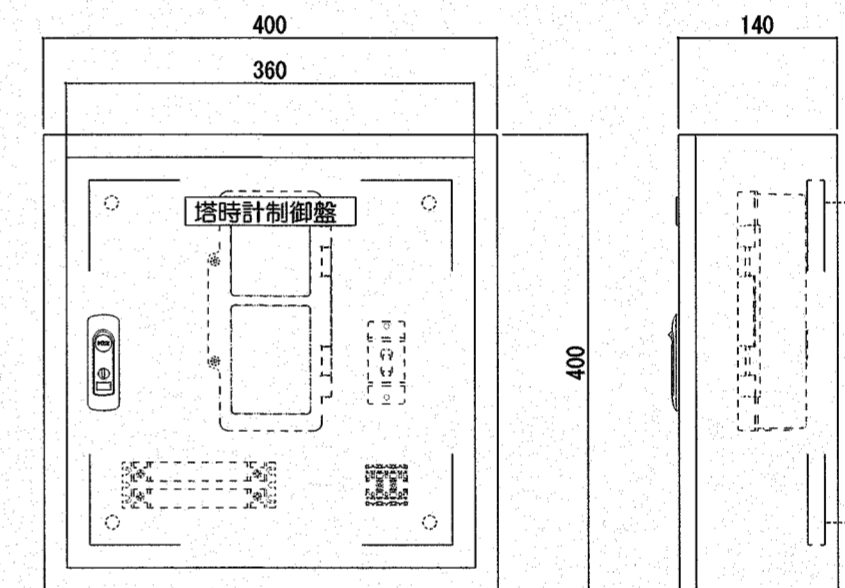
1台



文字	ステンレス 白色ツヤ5 ポリウレタン樹脂焼付塗装
指針	耐食アルミニウム 白色ツヤ5 ポリウレタン樹脂焼付塗装
入力電源	AC100V±10% 50/60Hz
信号	入力:DC24V 30秒有極信号 出力:モータ返り信号
質量	約15kg(機構部),約4kg(指針),約10kg(文字)

4. 6 塔時計制御盤

1台

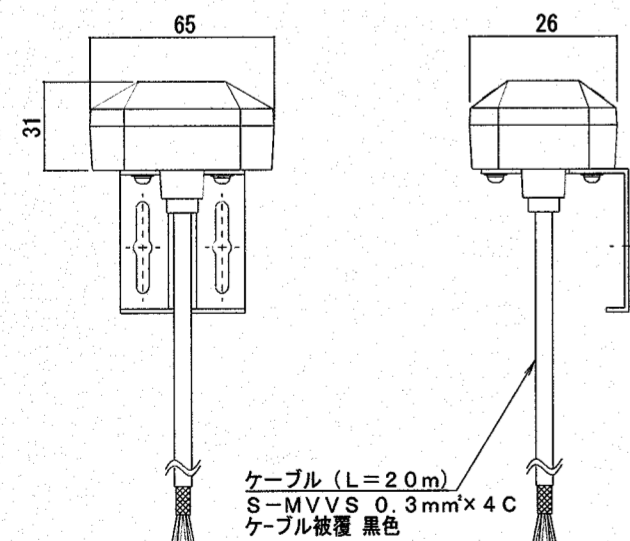


材質	鋼板 t1.6以上
塗装	クリーム色 (マンセル 2.5Y9/1)
入力電源	AC100V±10% 60Hz
機能	GPSアンテナから時刻データを受信し、塔時計に送信
質量	約15kg

4. 6 GPSアンテナ

1台

※スコアボード背面に設置



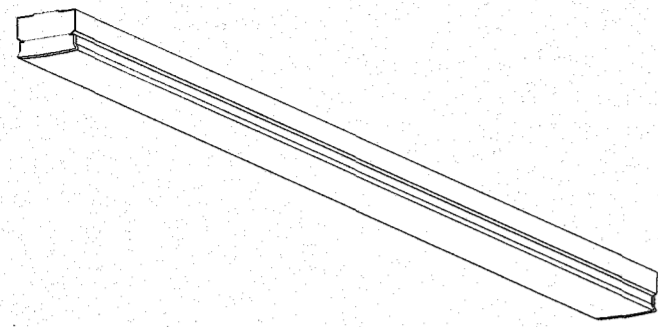
ケーブル (L=20m)
S-MVVS 0.3mm×4C
ケーブル被覆 黒色

材質	ポリカーボネイト樹脂製
ケース色	ライトグレー色 (マンセル NB) 成形色
質量	約380g (本体のみ)
受信周波数	1575.42MHz
受信感度	-145dBm (コールドスタート時)
消費電力	約0.5W
使用温度範囲	-20~60℃

参考図

4. 8 LED照明設備

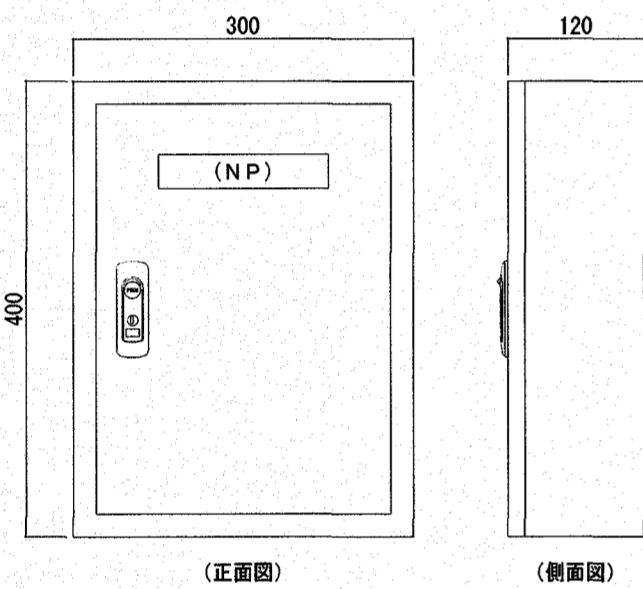
16台



LSS1-4-48 5000K

4. 10 分岐盤

3台

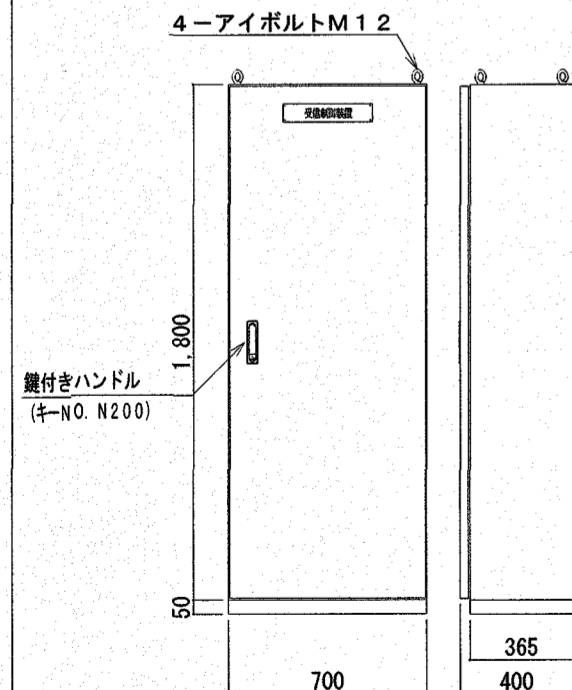


機器名	数量	備考
配線用遮断器	2	分岐盤1. 2 30A 分岐盤3 40A
端子台	1	
図面ケース	1	

入力電源	3Φ3W 200V
出力電源	1Φ2W 200V
材質	本体 鋼板 t1.6以上
質量	約10kg
機能	表示電源装置から各LEDユニットへ分岐供給

4. 11 受信制御盤

1台

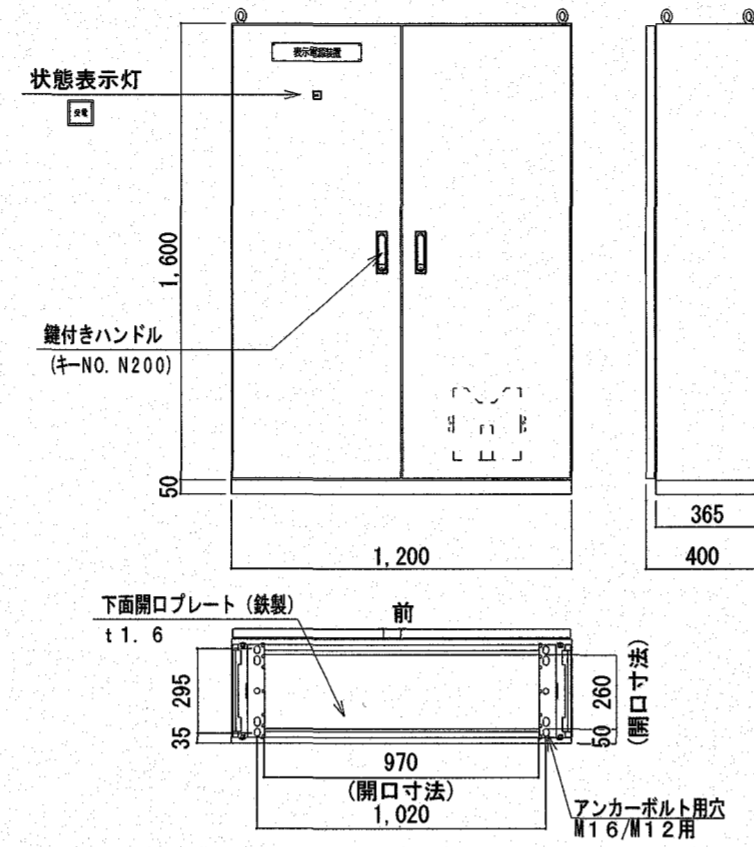


品番	機器名	数量	備考
1	光成端箱	1	
2	光伝送装置	2	
3	光コンバーター	1	
4	外線接続パネル	1	
5	電源制御装置	1	
6	本体	1	

入力電源	1Φ2W 100V 60Hz
塗装	粉体塗装 ライトベージュ色 半ツヤ仕上げ
材質	本体 鋼板 t2.3以上
質量	約150kg

4. 9 表示電源装置

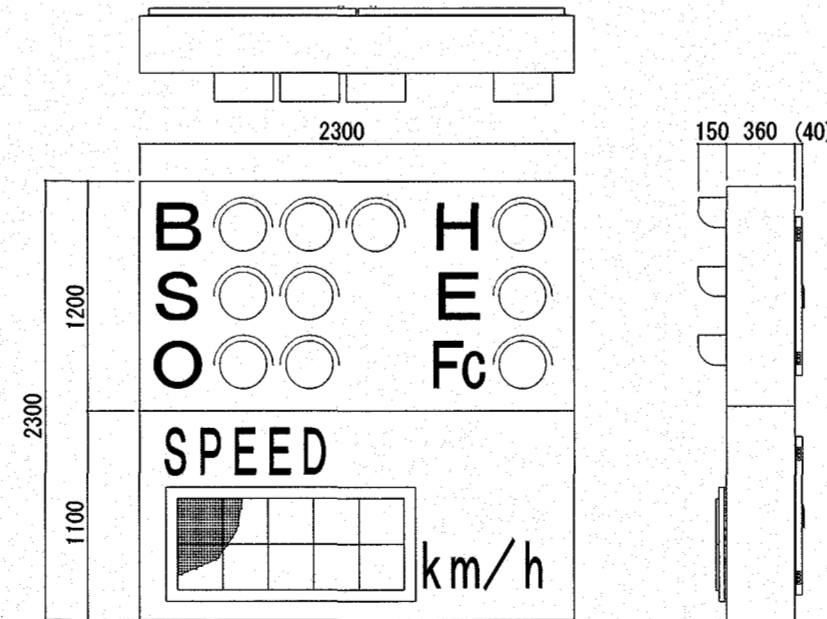
1台



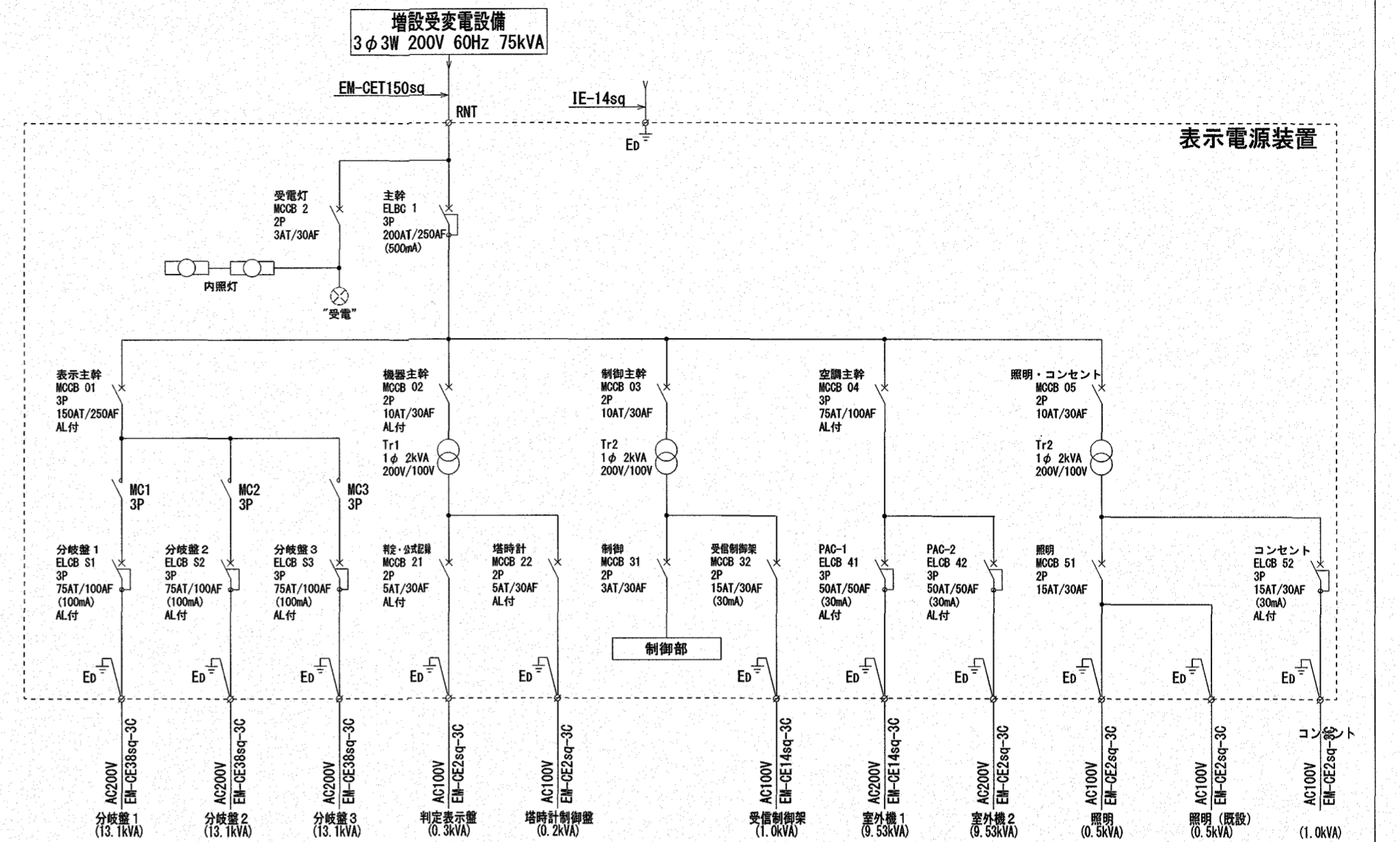
入力電源	3Φ3W 200V
出力電源	3Φ3W 200V, 1Φ2W 100V, 200V
塗装	粉体塗装 ライトベージュ色 半ツヤ仕上げ
材質	本体 鋼板 t2.3以上
質量	約350kg

5. 1 サブスコアボード

1台



材質	鋼板製 t2.3以上
塗装	ウレタン樹脂塗装 (マンセルN1.0 半ツヤ)
表示灯	青LED×3灯/黄LED×2灯/赤LED×5灯
レンズ	Φ260 ポリカーボネイド製
SEED用素子	青LED×3灯/黄LED×2灯/赤LED×5灯
入力電源	AC100V
質量	約480kg



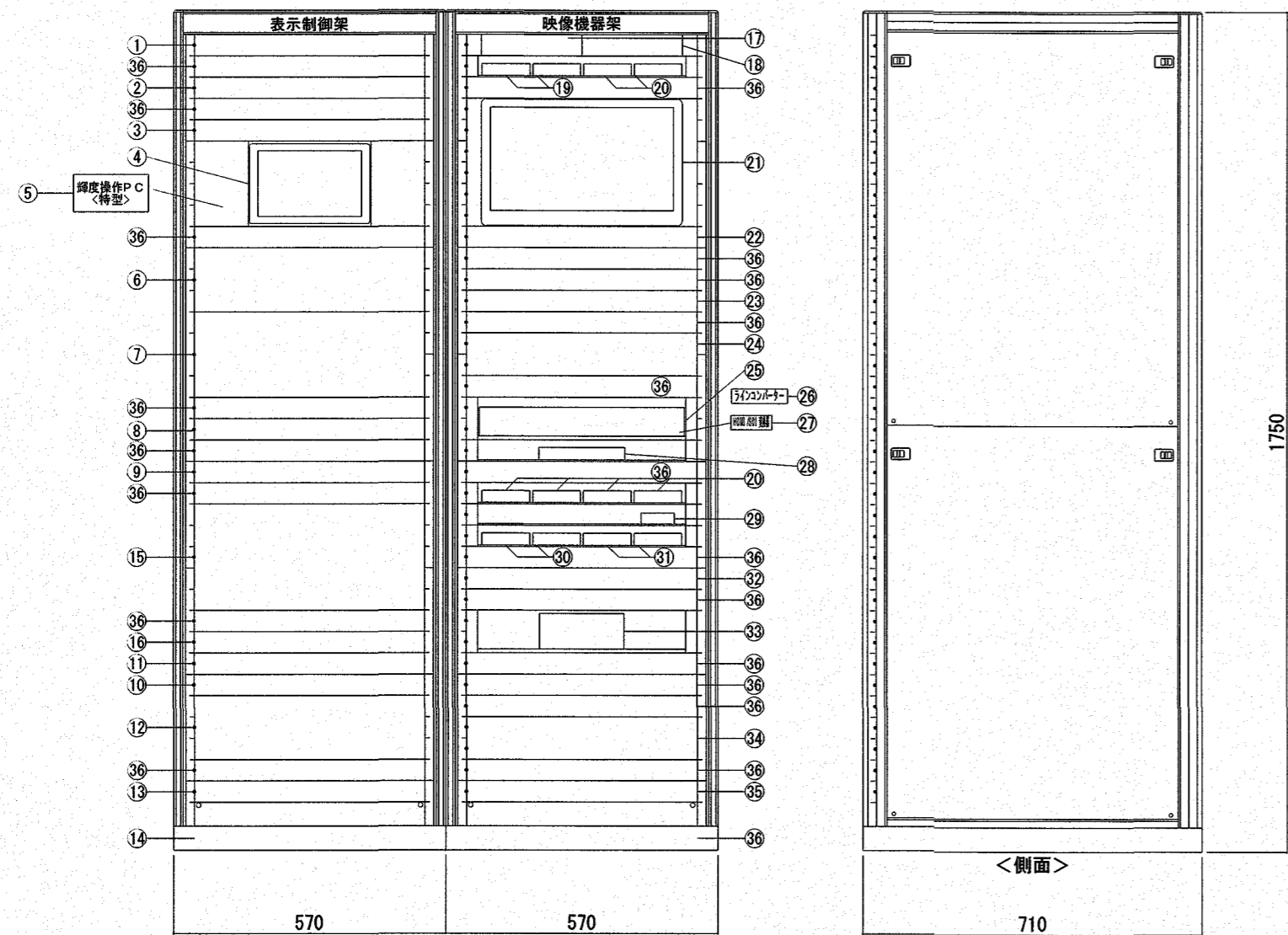
参考図

6. 1 表示制御架

1式

6. 2 映像機器架

1式



表示制御架

番号	名称	数量	備考
①	光成端箱	1	
②	光伝送装置	1	表示用
③	光コンバーター電源ユニット	1	
④	10.1型タッチパネルモニター	1	
⑤	輝度操作PC<特型>	1	モニター後ろに設置
⑥	電源操作パネル	1	
⑦	表示信号灯制御部	1	
⑧	LEDコントローラ (メイン)	1	
⑨	LEDコントローラ (バックアップ)	1	
⑩	通線スペース (ブラシパネル)	2	
⑪	スイッチングハブ	1	
⑫	外線端子パネル	1	
⑬	電源制御ユニット (1)	1	
⑭	ラック本体・架台	1	
⑮	電源制御ユニット (1)	1	
⑯	ラック本体・架台	1	

映像機器架

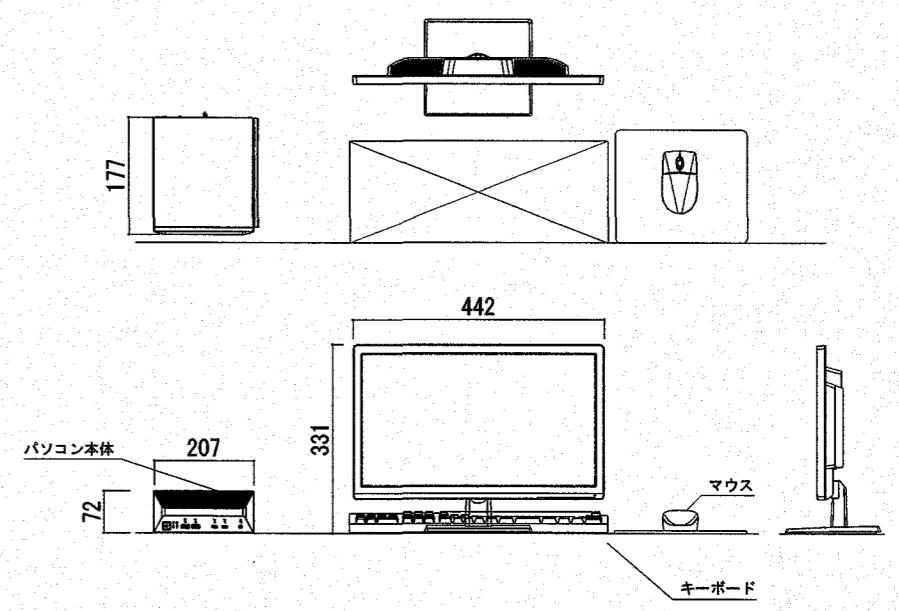
番号	名称	数量	備考
⑰	同期信号発生機	1	
⑱	SDI切替器	1	
⑲	同期信号分配器	2	
⑳	フレームシンクロナイザー (FS)	6	
㉑	17.3型液晶モニター	1	映像モニター用
㉒	モニタースピーカー	1	
㉓	マトリクススイッチャー	1	
㉔	画像合成装置	1	
㉕	ブルーレイディスク (BD) レコーダー	1	
㉖	ラインコンバータ	1	BDレコーダ後ろに設置
㉗	HDMI/SDI変換器	2	BDレコーダ後ろに設置
㉘	TVチューナー	1	
㉙	SDI分配器	1	
㉚	信号変換器	2	
㉛	エンデベット/ディエンデベット	2	
㉜	外部入力パネル	1	
㉝	描画装置	1	
㉞	無停電電源装置	1	
㉟	電源制御ユニット (2)	1	
㊱	ラック本体・架台	1	

共通

番号	名称	数量	備考
㊲	ブラックパネル	25	

6. 4 スコア制御装置

2台

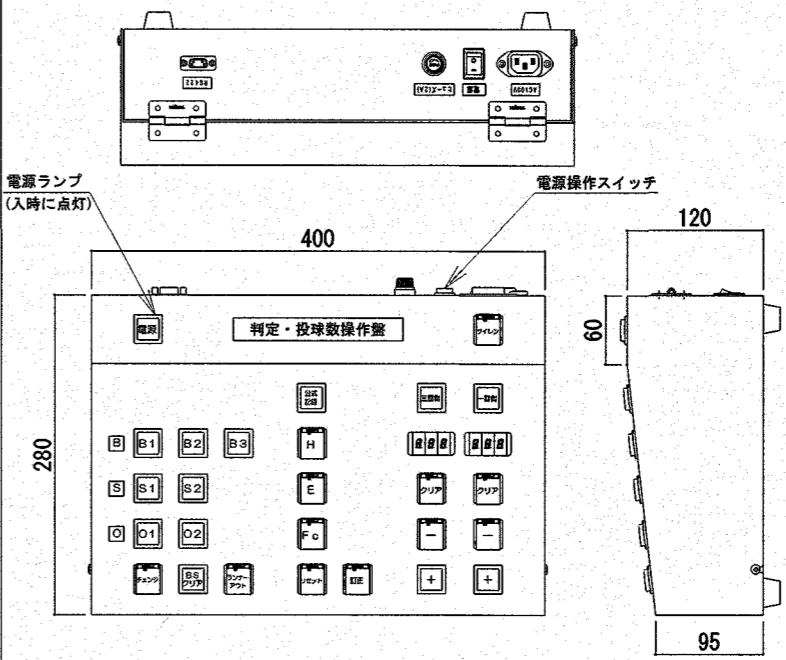


装置仕様

OS	Windows 11 Pro
CPU	インテル Core i5 プロセッサ
メモリ	8 GB
モニター仕様	液晶18.5型ワイドモニター
入力電源	AC100V 60Hz
機能	野球運用データ入力および出力制御を行う。

6. 5 判定・投球数操作盤

1台



ボタン名	機能	判定表示との連動	スコア表示との連動
電源	電源のON/OFF	—	—
サイレン	選手室内サイレンを鳴動	—	—
B1~B3	ボールカウント入力	Bランプが点灯	—
S1~S2	ストライクカウント入力	Sランプが点灯	—
O1~O2	アウトカウント入力	Oランプが点灯	—
チェンジ	攻守チェンジ	BS0ランプが点灯	—
BSクリア	ボール・ストライクカウントクリア	BS0ランプのみ点灯	—
RO	ランナーアウト入力	Oランプが点灯	—
公式記録ランプ	操作可能時に点灯	—	—
H	ヒット判定時入力	Hランプが点灯	スコアH数に1加算
E	エラー判定時入力	Eランプが点灯	スコアE数に1加算
Fo	フィルダーストライク判定時入力	Foランプが点灯	スコアE数に1加算
リセット	HEFcランプを手动消灯	HEFcランプが点灯	—
訂正	スコア表示H・Eの訂正	—	スコア桁数の修正
三塁ランランプ	三塁ランゲーム投球時点灯	—	—
一塁ランランプ	一塁ランゲーム投球時点灯	—	—
予分投球 (S8)	投球数のモニター	—	スコア桁に投球数表示
が7 (E1~E2)	投球数のクリア	—	投球数のリセット
-(マイナス)	投球数を減算	—	投球数を減算
+ (プラス)	投球数を加算	—	投球数を加算

構造

構造	屋内卓上式
塗装	メラミン樹脂焼付塗装
塗色	マンセル2.5Y9/1 半ツヤ仕上げ
材質	本体 鋼板 t1.6以上
入力電源	1φ2W 100V 60Hz
機能	カウント、公式記録、サイレン、投球数 各操作

構造

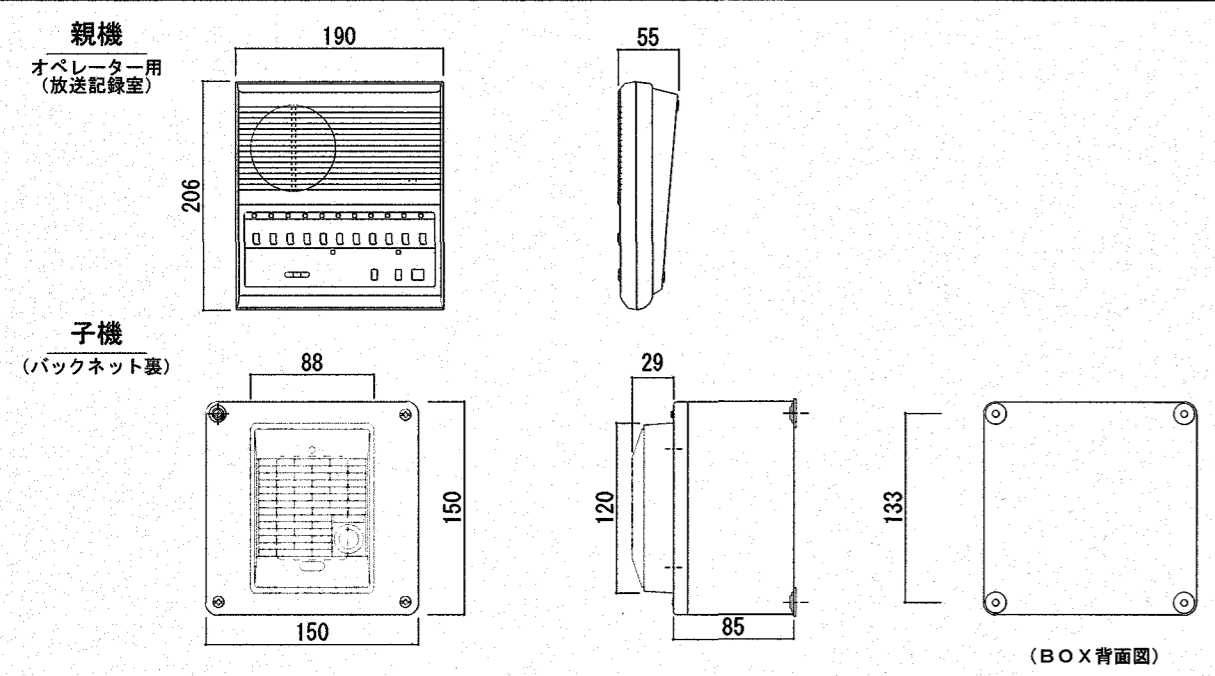
構造	屋内自立型 (EIAラック)
入力電源	1φ2W 100V 60Hz ×2系統
塗装色	メーカー標準色 (黒)
質量	約25kg/台 (本体のみ)

6. 7 主審連絡通話器 (親機・子機)

1式

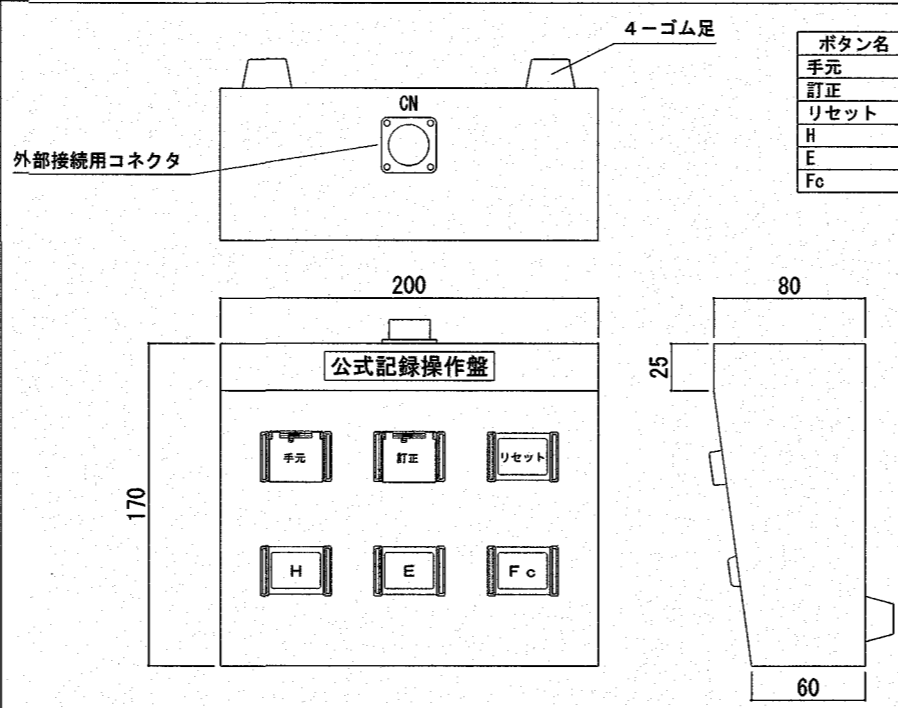
6. 8 公式記録操作盤

1台



構造

構造	親機：屋内型、子機：屋外型
設置場所	親機：操作室 (オペレーター用) 子機：バックネット裏 (主審用)
入力電源	AC100V (親機のみ)
機能	選手交代などの主審とオペレーターの通話用



構造

構造	屋内卓上式
塗装	メラミン樹脂焼付塗装
塗色	マンセル2.5Y9/1 半ツヤ仕上げ
材質	本体 鋼板 t1.6以上
機能	「H」「E」「Fo」操作、操作占有操作

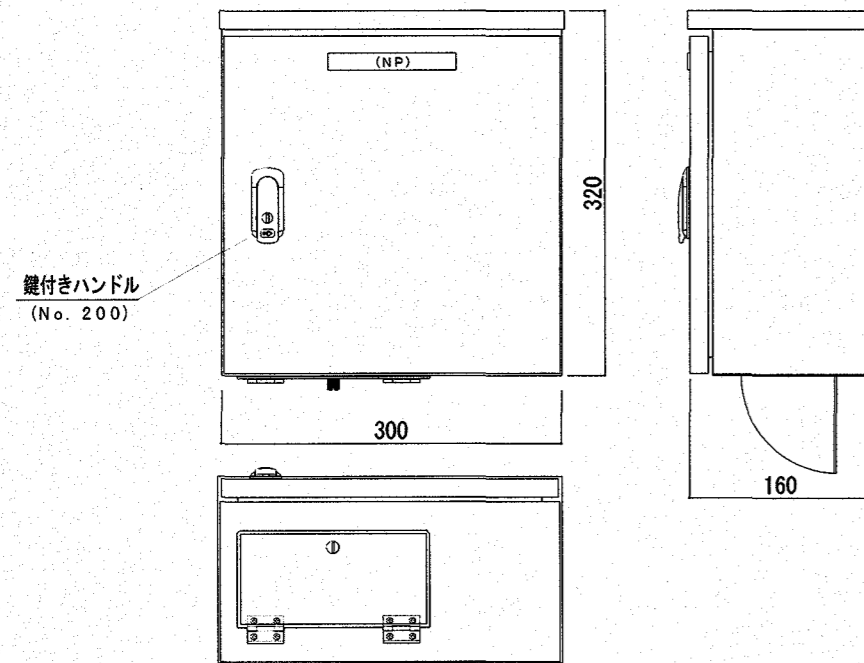
ボタン名

ボタン名	機能	判定表示との連動	スコア表示との連動
手元	公式記録操作盤を使用時にON	—	—
訂正	スコア表示H・Eの訂正	—	スコア桁数の修正
リセット	HEFcランプを手动消灯	HEFcランプが点灯	—
H	ヒット判定時入力	Hランプが点灯	スコアH数に1加算
E	エラー判定時入力	Eランプが点灯	スコアE数に1加算
Fo	フィルダーストライク判定時入力	Foランプが点灯	—

参考図

7 中継車盤

1台

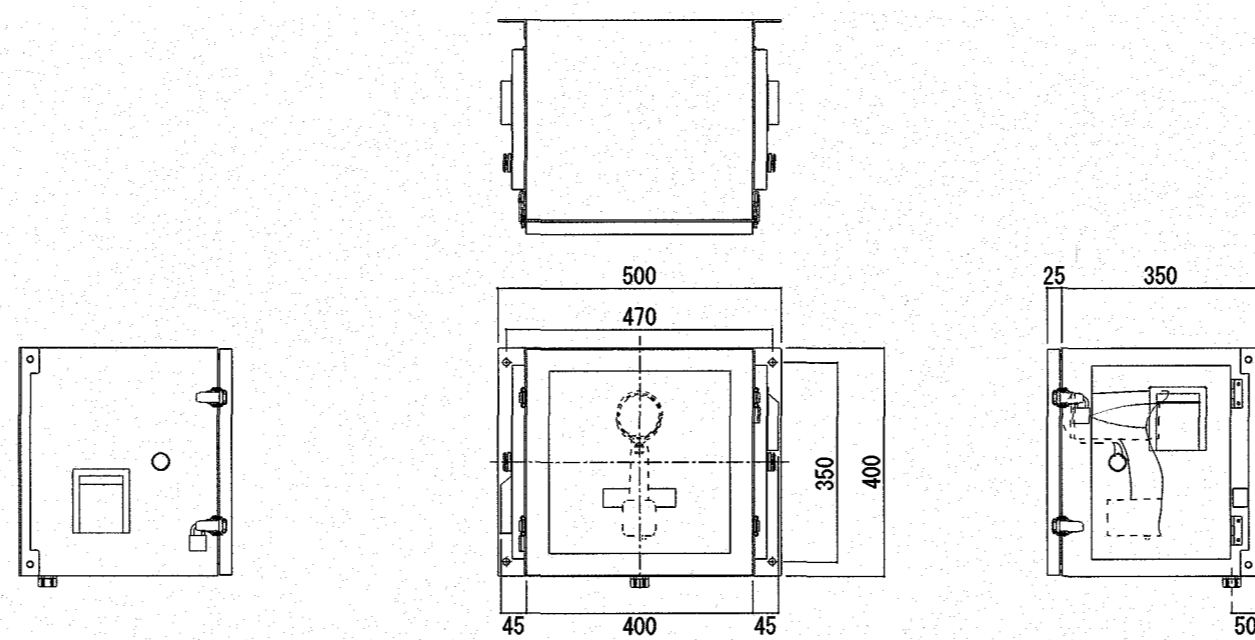


構造	屋外壁掛型
材質	SUS t1.0以上
塗装/塗色	ウレタン樹脂塗装/指定色
機能	中継車~放送室間映像入出力、球速データ 各1系統
入力電源	AC100V
質量	約50kg

8.1 スピードガン

8.2 スピードガン収納箱

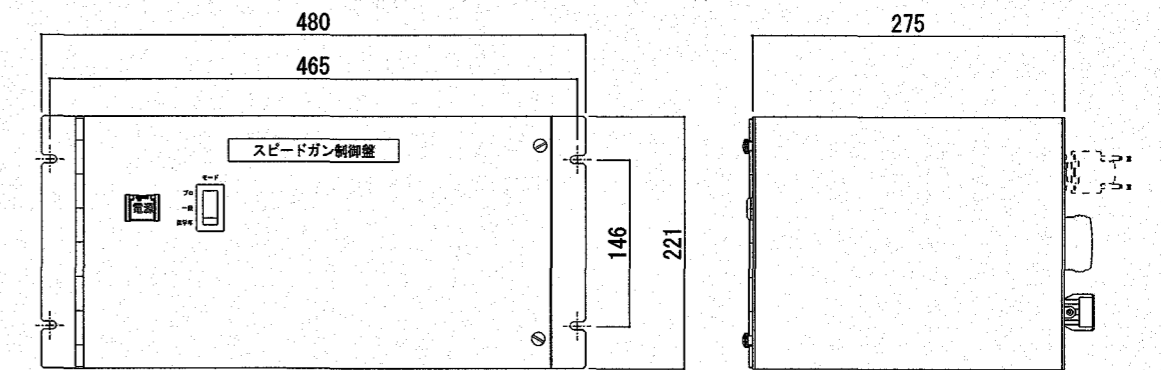
1式



ケース	材質:ステンレス製 t1.5以上
	塗装/塗色:ウレタン樹脂塗装/指定色
計測可能距離	約45m (前面にガラス等の遮蔽物無き事)
入力電源	DC24V (スピードガン制御盤より供給)
質量	約20kg

8.3 スピードガン制御盤

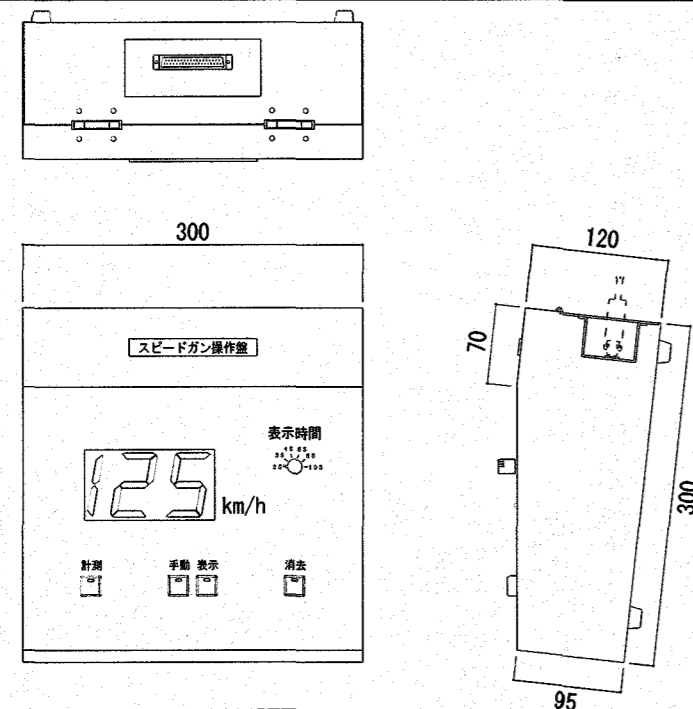
1台



構造	ラック組込型
塗装/塗色	メラミン樹脂焼付塗装/指定色
材質	本体 鋼板 t1.6以上
入力信号	RS422
出力信号	シリアル信号、パラレル信号、球速表示要信号
入力電源	1φ2W AC100V 約100VA
質量	約20kg

8.4 スピードガン操作盤

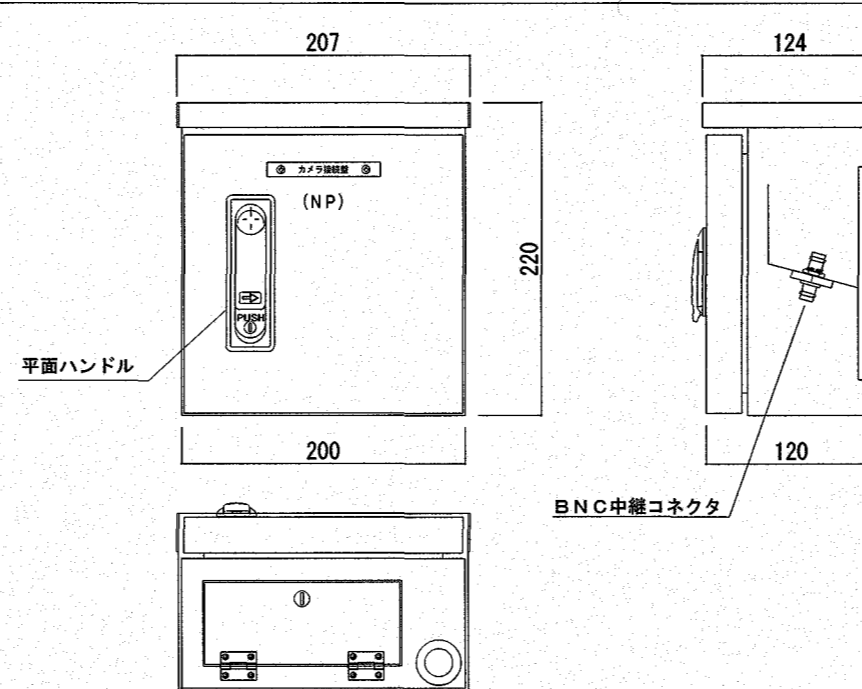
1台



材質	鋼板製 t1.6以上
塗装/塗色	マンセル2.5Y9/1 半ツヤ メラミン樹脂焼付塗装仕上
表示モニター	7セグメント発光ダイオード
入力電源	DC5V (スピードガン制御盤より供給)
質量	約6kg

9.1 カメラ接続盤

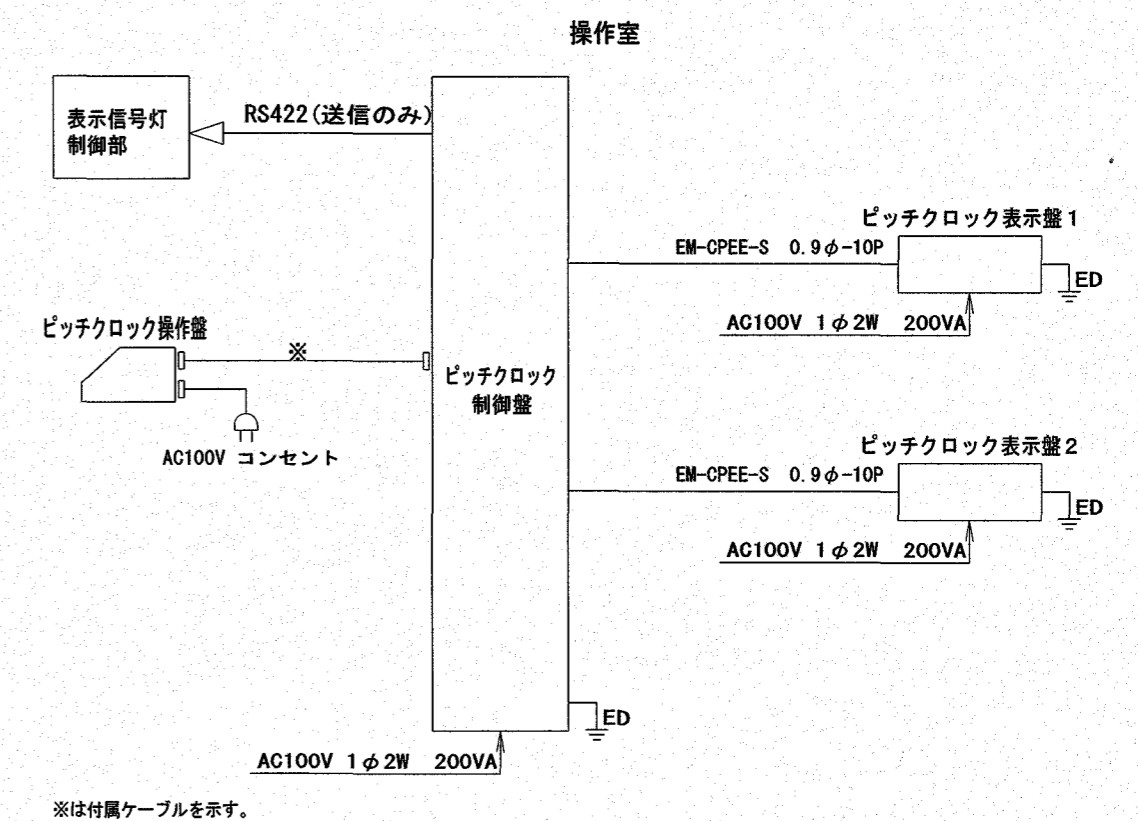
1台



構造	屋外壁掛型
材質	SUS t1.0以上
塗装/塗色	ウレタン樹脂塗装/指定色
質量	約5kg
機能	HD-SDI信号をコネクタ接続し、操作室に中継を行う。

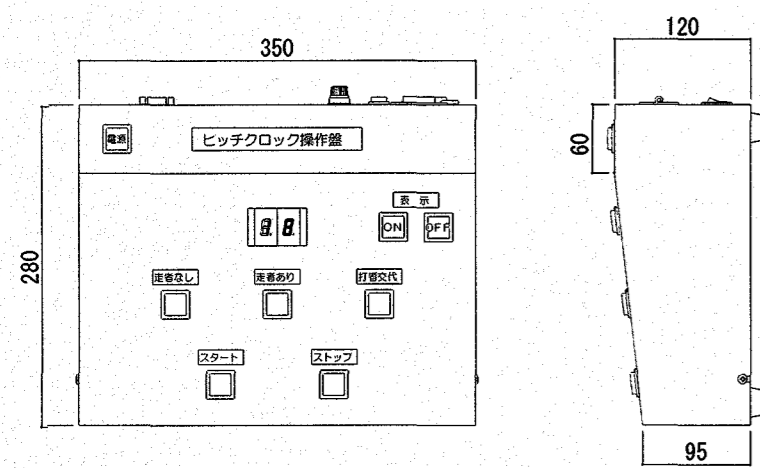
ピッチロック系統図

1台



ピッチロック操作盤

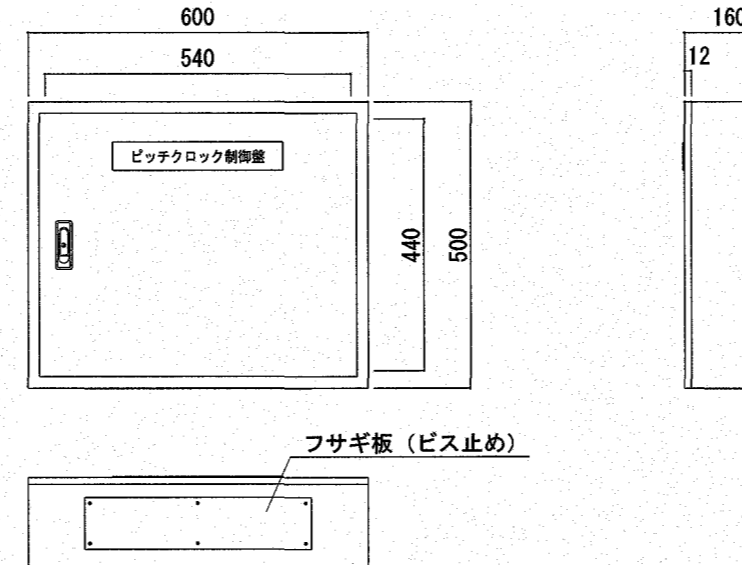
1台



構造	卓上型
塗装	メラミン樹脂焼付塗装
塗色	マンセル2.5Y9/1 半ツヤ仕上げ
材質	本体 鋼板 t1.6以上
機能	表示設定操作 ON (表示) / OFF (非表示) 場面設定操作 走者なし/走者あり/打者交代 カウント操作 スタート/ストップ
入力電源	AC100V 100VA

ピッチロック制御盤

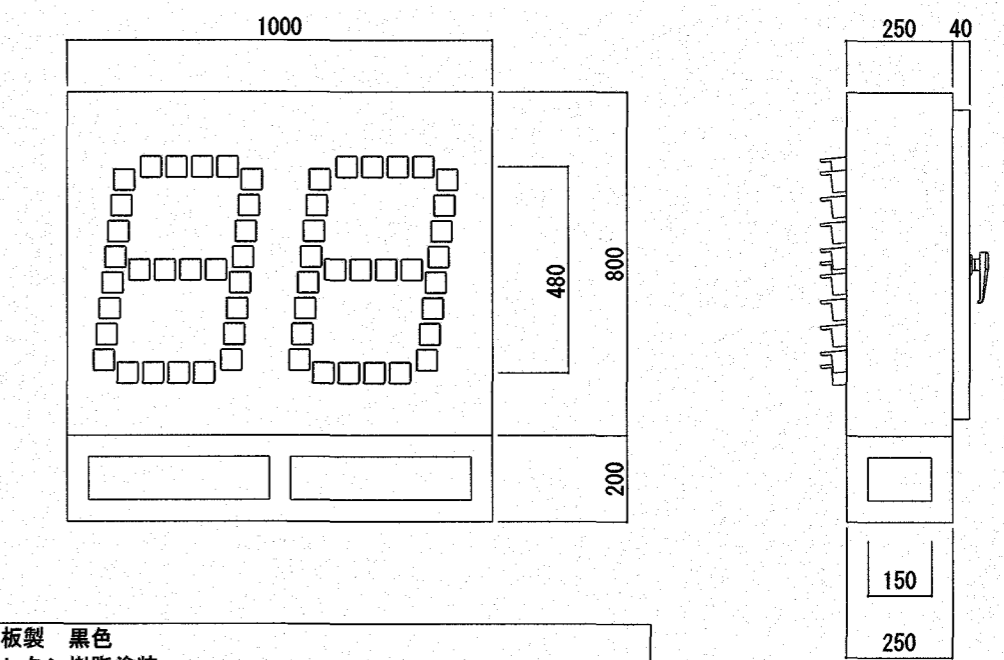
1台



ケース	鋼板製 t1.6 クリーム色 (2.5Y9/1) ツヤ5
	ポリエステル樹脂粉末塗装
フサギ板	鋼板製 t1.6 クリーム色 (2.5Y9/1) ツヤ5
	メラミン樹脂焼付塗装仕上
入出力信号	外部機器用シリアル信号 (RS422送信のみ) ピッチロック操作盤用信号 (専用シリアル信号、電源リモート) ピッチロック表示盤用信号 (パラレル信号、調光信号、電源リモート)
入力電源	AC100V 1φ2W 約200VA
質量	約25kg

ピッチロック表示盤

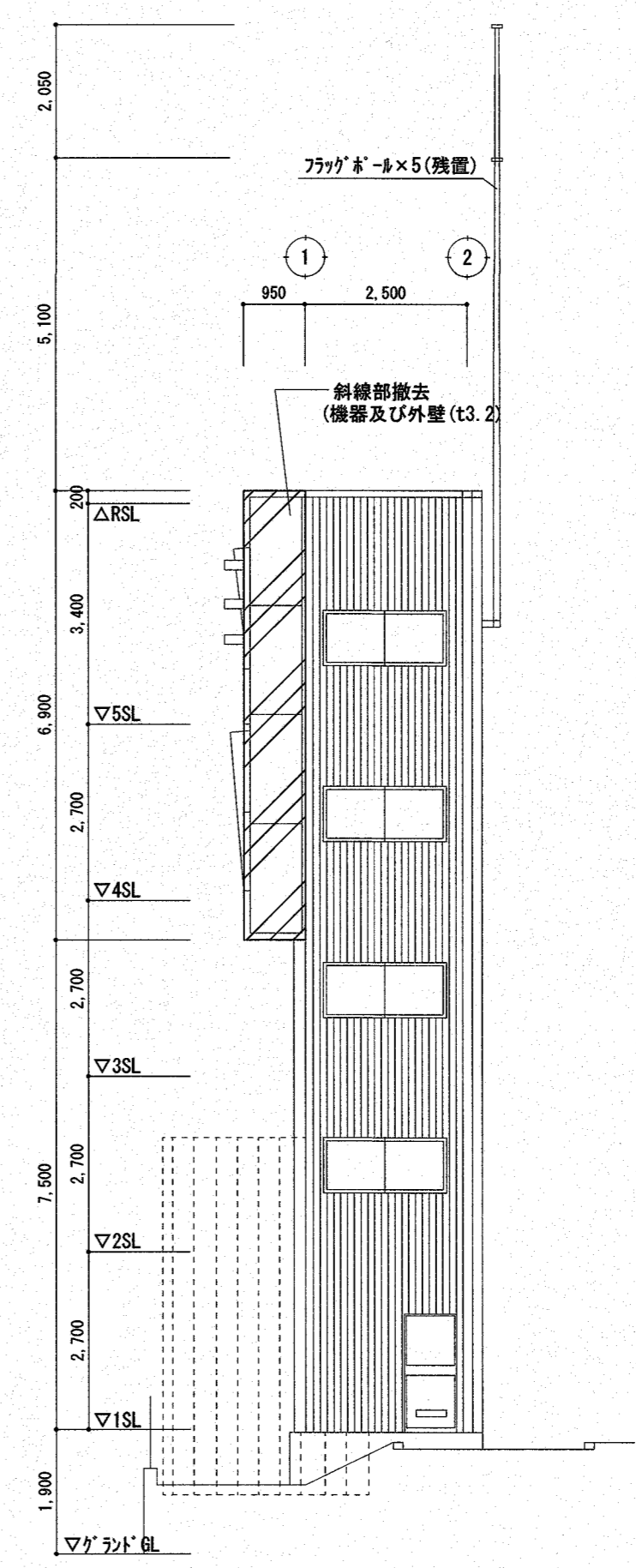
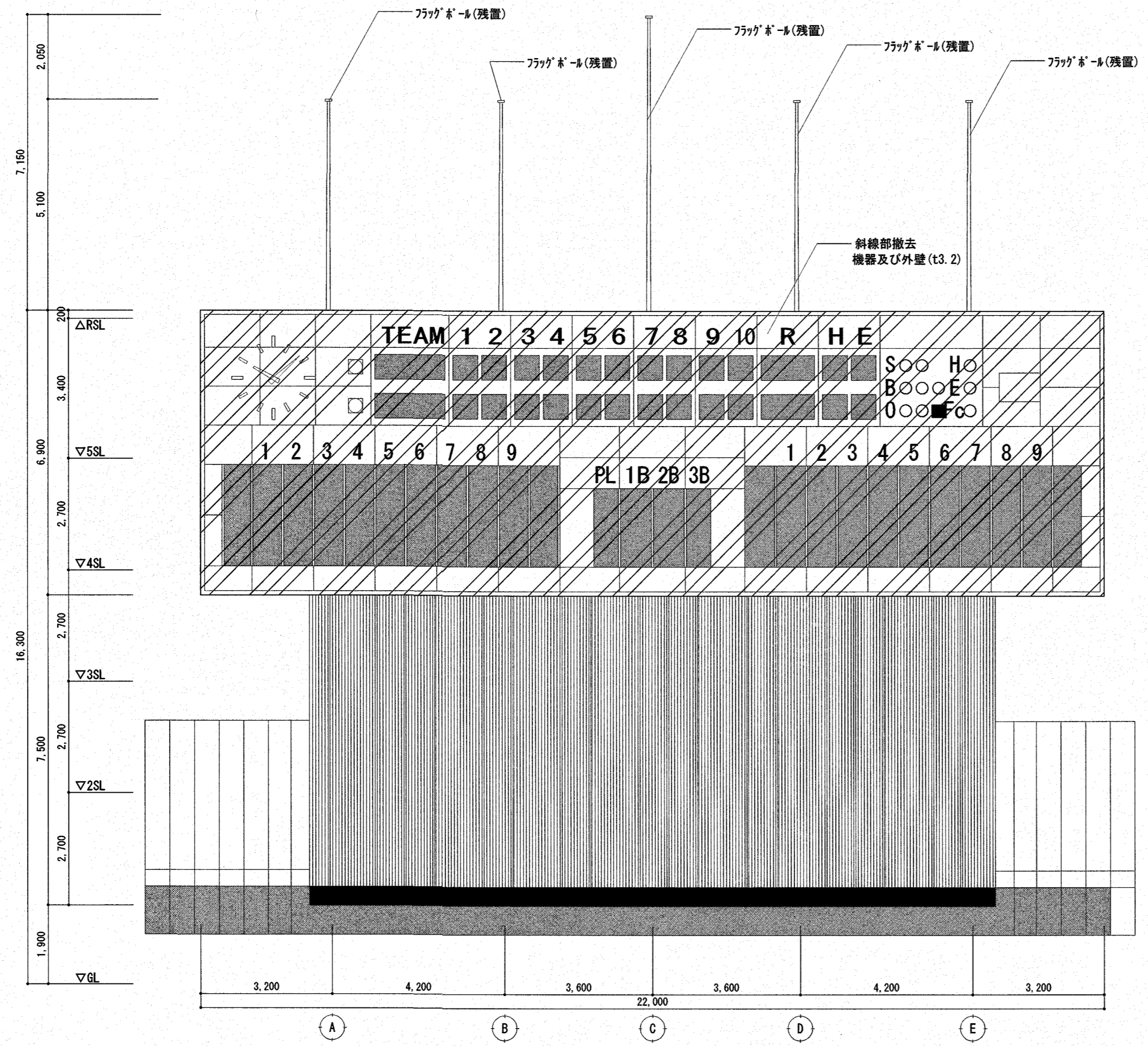
2台



ケース	鋼板製 黒色
	ウレタン樹脂塗装
入力信号	パラレル信号、調光、電源リモート
表示素子	LED 赤・緑混色 口50mm
数字表示範囲	0~99、ブラック
入力信号	パラレル信号、調光、電源リモート
入力電源	AC100V±10% 50/60Hz 約200VA
質量	約90kg

注) 取付高さ・取付位置は監督職員と協議のうえ、決定すること

参考図



既設スコアボード撤去図 S=1/100

参考図

株式会社 みやび設計
MIYABI DESIGNERS OFFICE
高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
高知県知事登録 1037
管理建築士/一級建築士登録 355523
祖父江 司

東部球場スコアボード改修工事

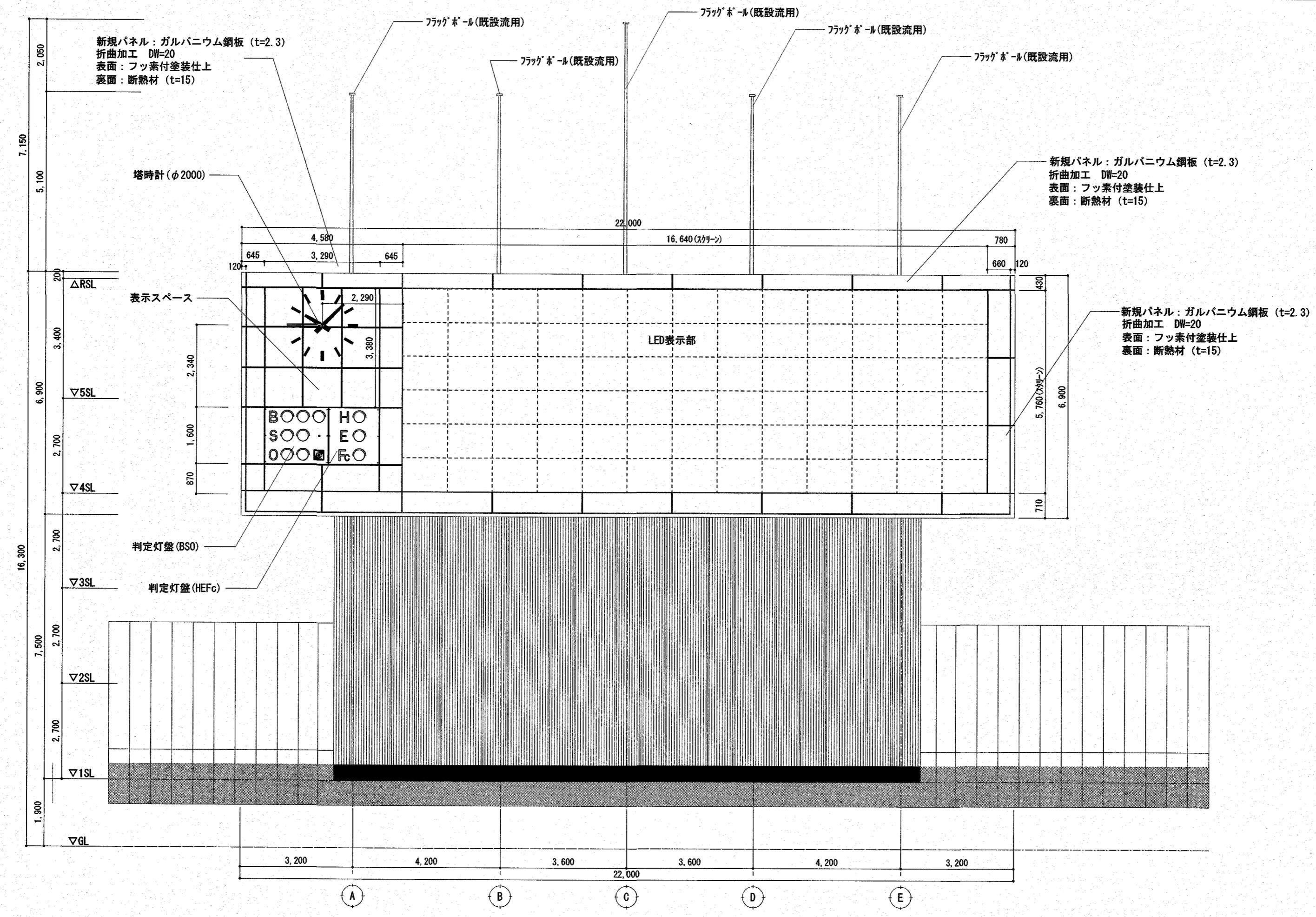
project no _____ date _____ drawn by _____ checked by _____

大型映像装置設備 スコアボード外形図
(改修前)
scale 1/100

高知市
都市建設部
公共建築課

係	係長	課長補佐	課長	電気
				S-10

凡例
— 目地部シリング (MS-2) を示す



新設スコアボード外形図 S=1/100

参考図

株式会社 **みやび設計**
MIYABI DESIGNERS OFFICE
高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
高知県知事登録 1037
管理建築士/一級建築士登録 355523
祖父江 司

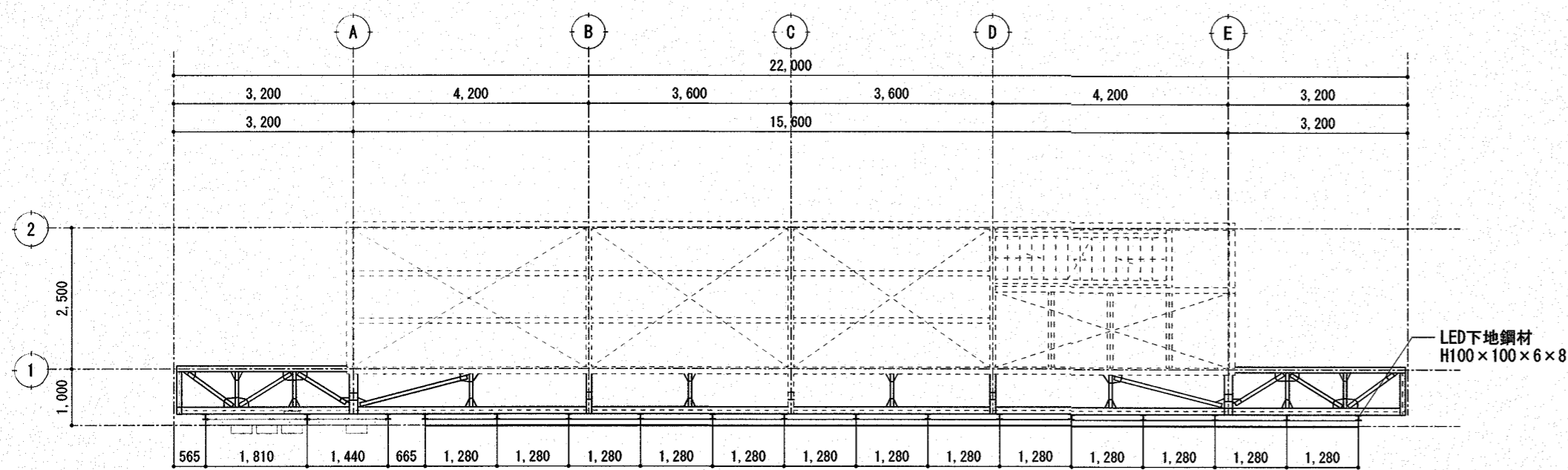
東部球場スコアボード改修工事

project no	date	drawn by	checked by
------------	------	----------	------------

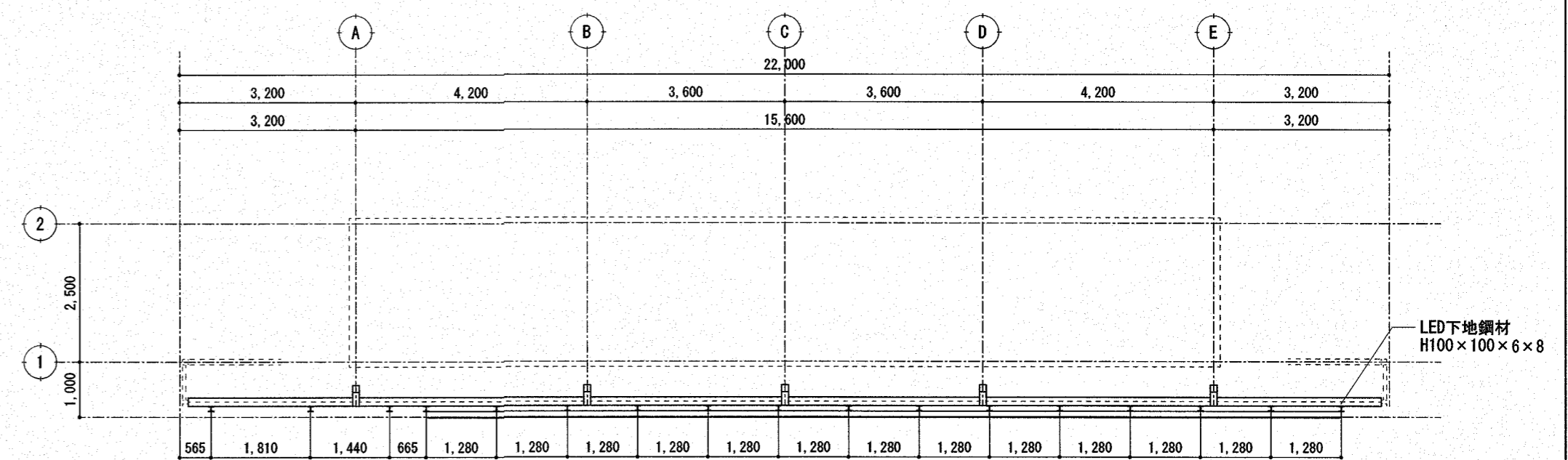
大型映像装置設備 スコアボード外形図 (改修後)
scale 1/100

高知市
都市建設部
公共建築課

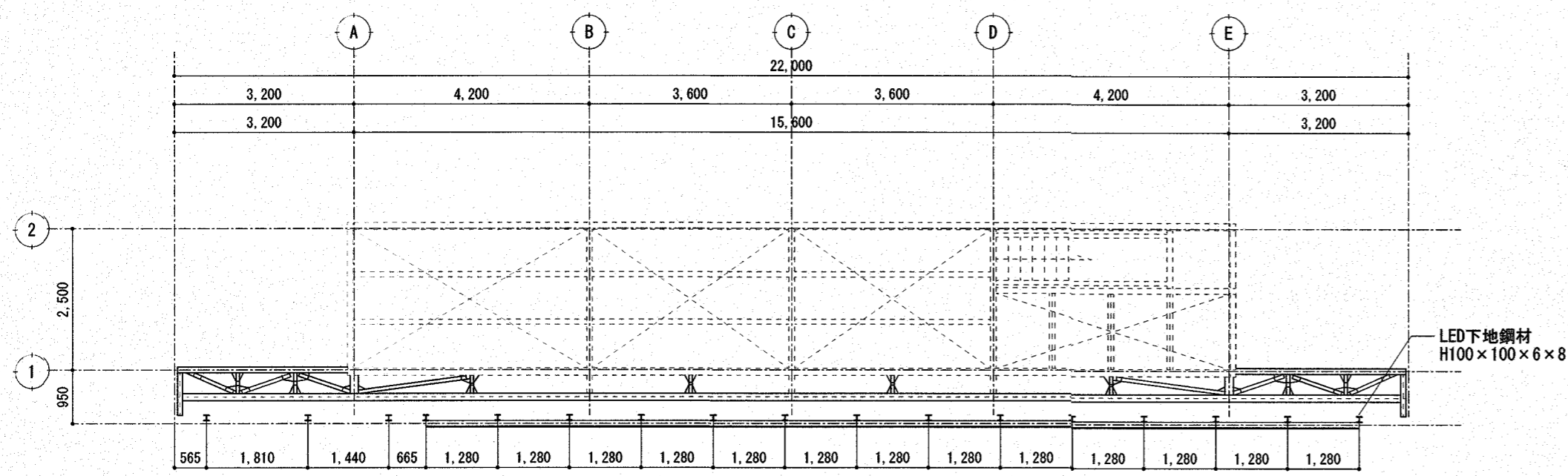
係	係長	課長補佐	課長	電気
				S-11



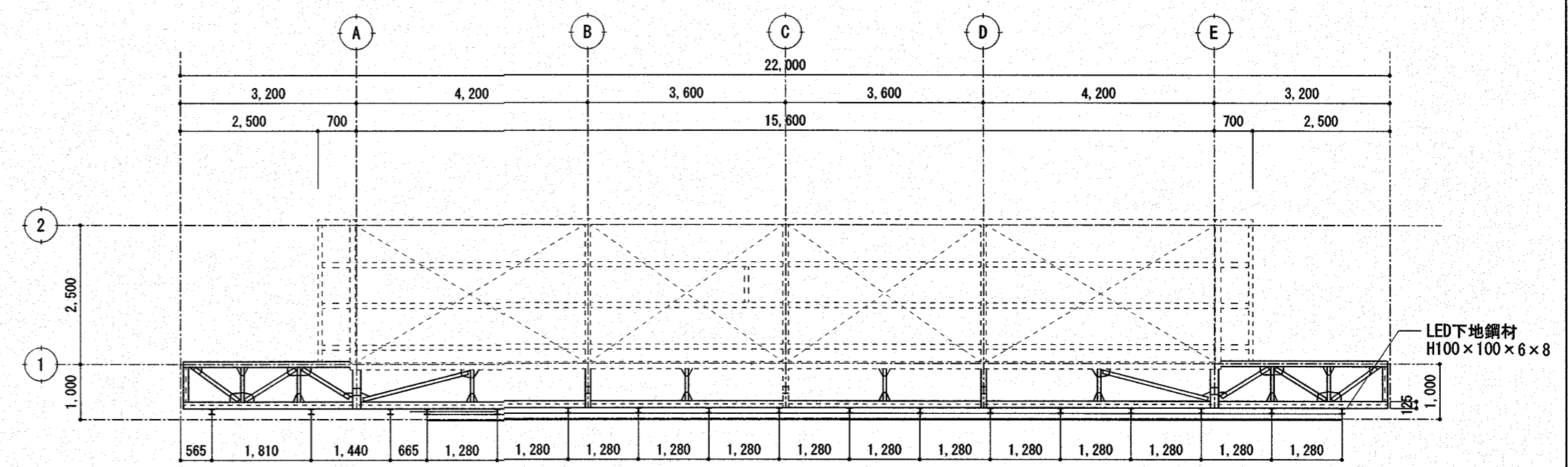
4階 梁伏図 S=1/100



5階+670 梁伏図 S=1/100



5階 梁伏図 S=1/100



R階 梁伏図 S=1/100

参考図

株式会社 みやび設計
MIYABI DESIGNERS OFFICE
高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
高知県知事登録 1037
管理建築士/一級建築士登録 355523
祖父江 司

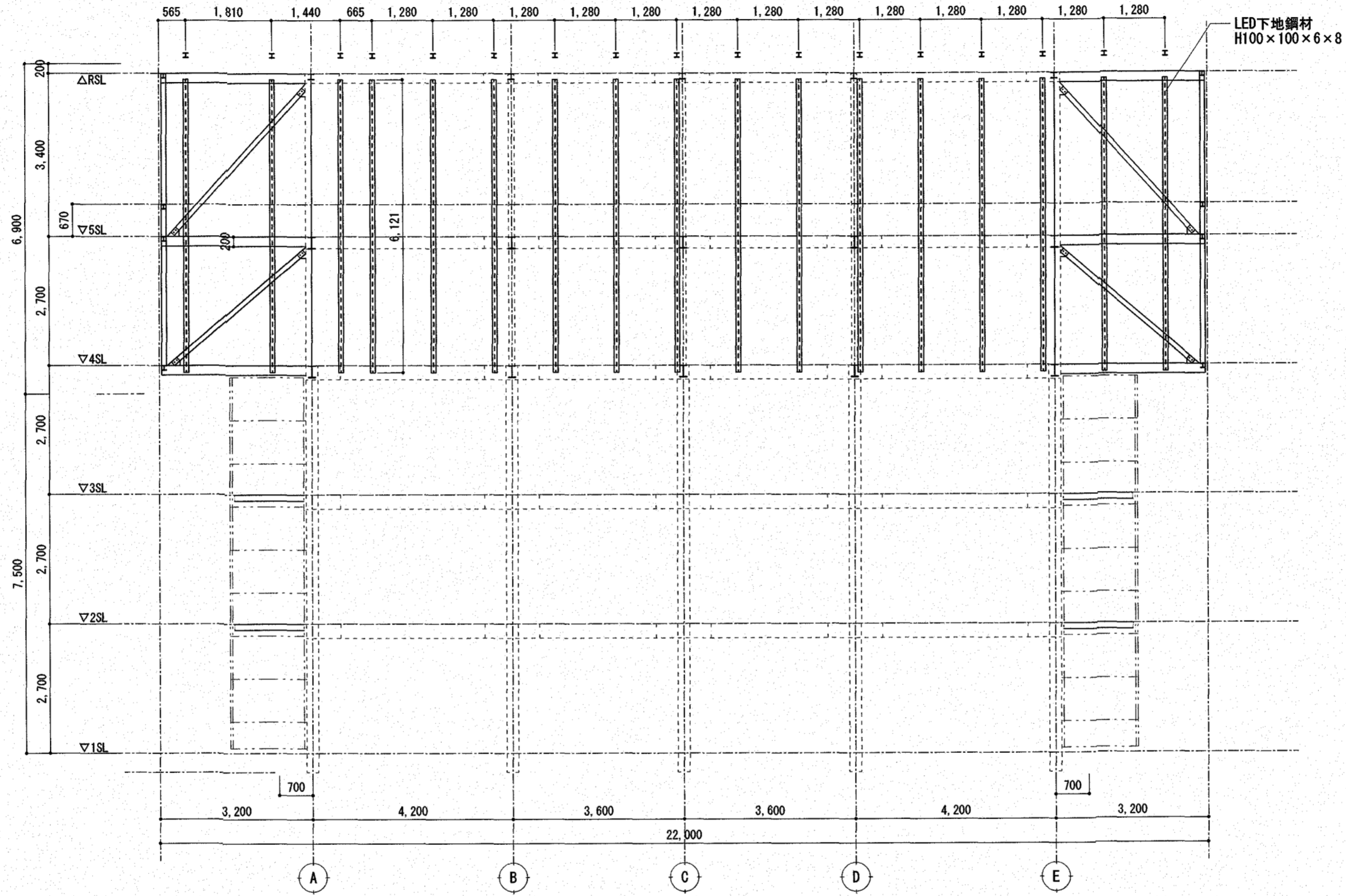
東部球場スコアボード改修工事

project no _____ date _____ drawn by _____ checked by _____

大型映像装置設備
スコアボード新設鋼材取付梁伏図
scale 1/100

高知市
都市建設部
公共建築課

係	係長	課長補佐	課長	電気
				S-12



新設鋼材取付立面図 S=1/100

参考図

株式会社 **みやび設計**
MIYABI DESIGNERS OFFICE
高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
高知県知事登録 1037
管理建築士/一級建築士登録 355523
祖父江 司

東部球場スコアボード改修工事

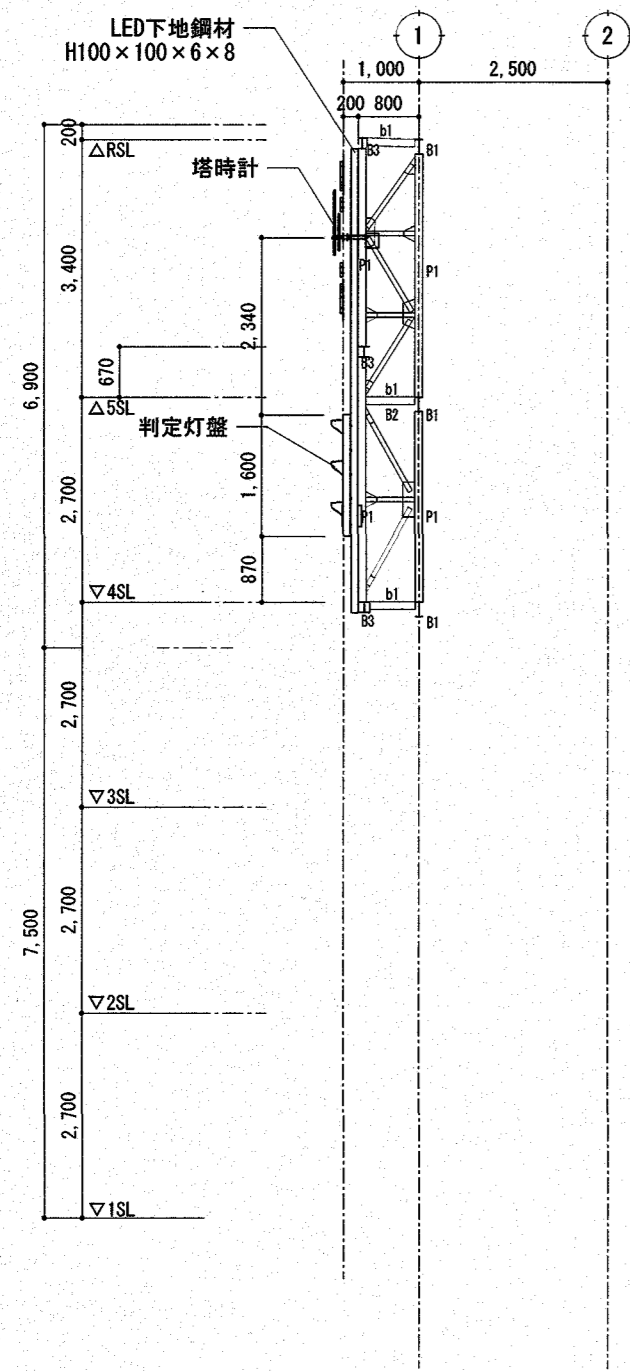
project no date drawn by checked by

大型映像装置設備
スコアボード新設鋼材取付立面図

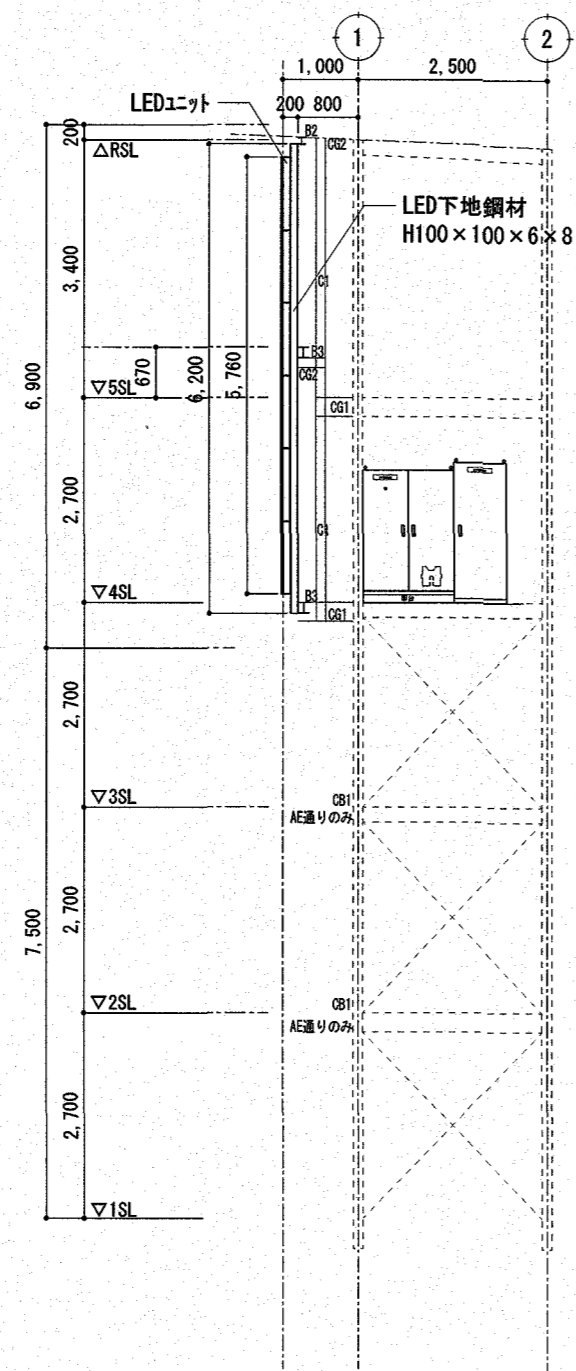
scale 1/100

高知市
都市建設部
公共建築課

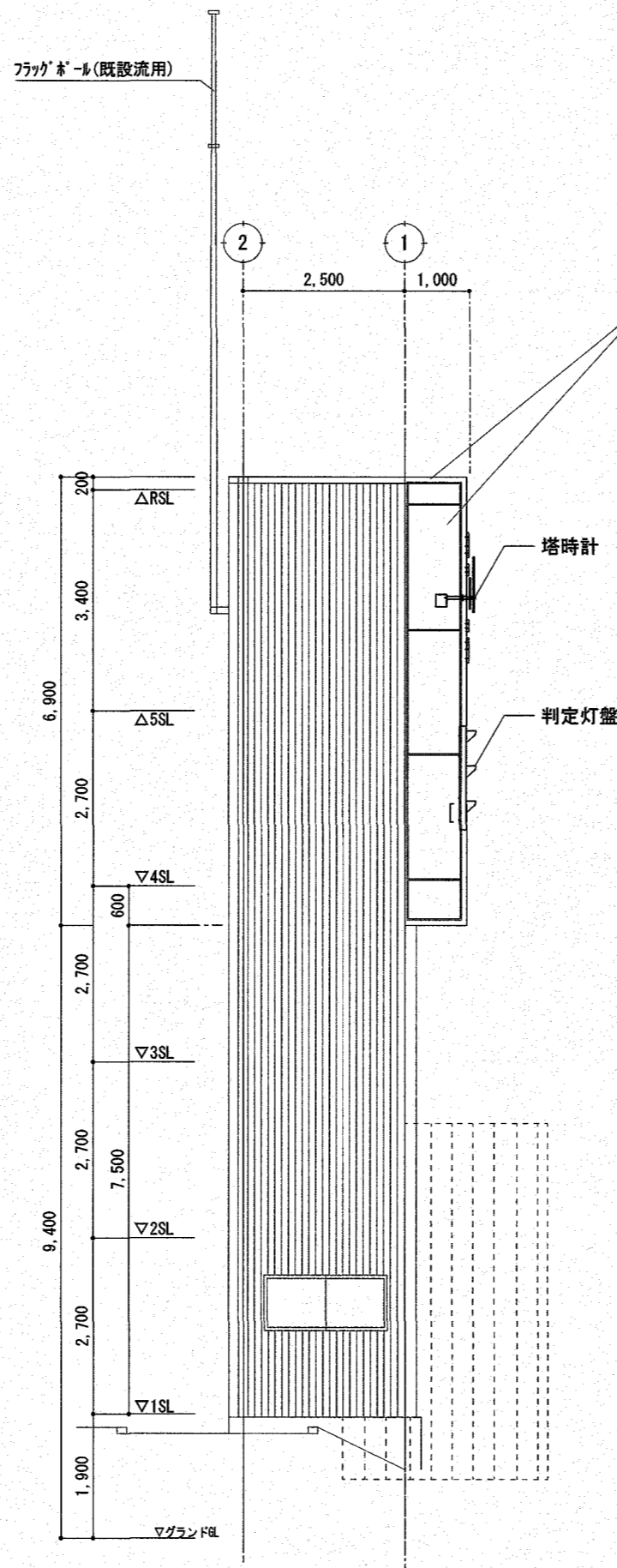
係	係長	課長補佐	課長	電気
				S-13



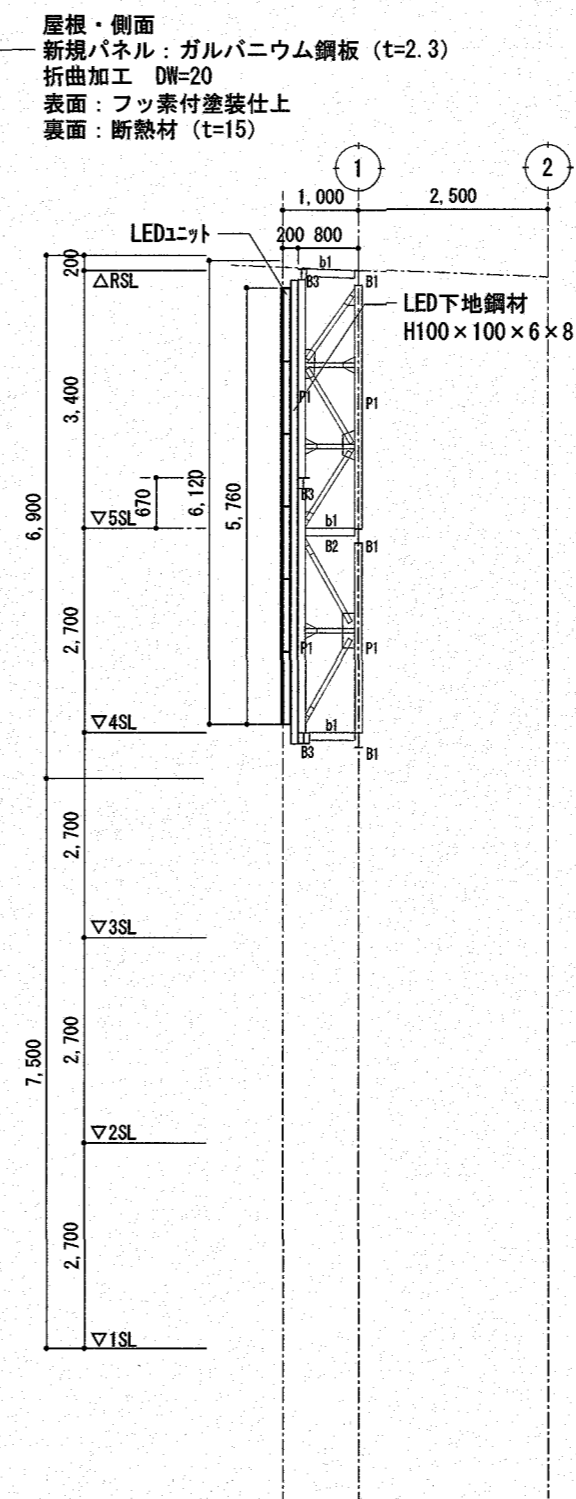
Ⓐ +3200 通り軸組図 S=1/100



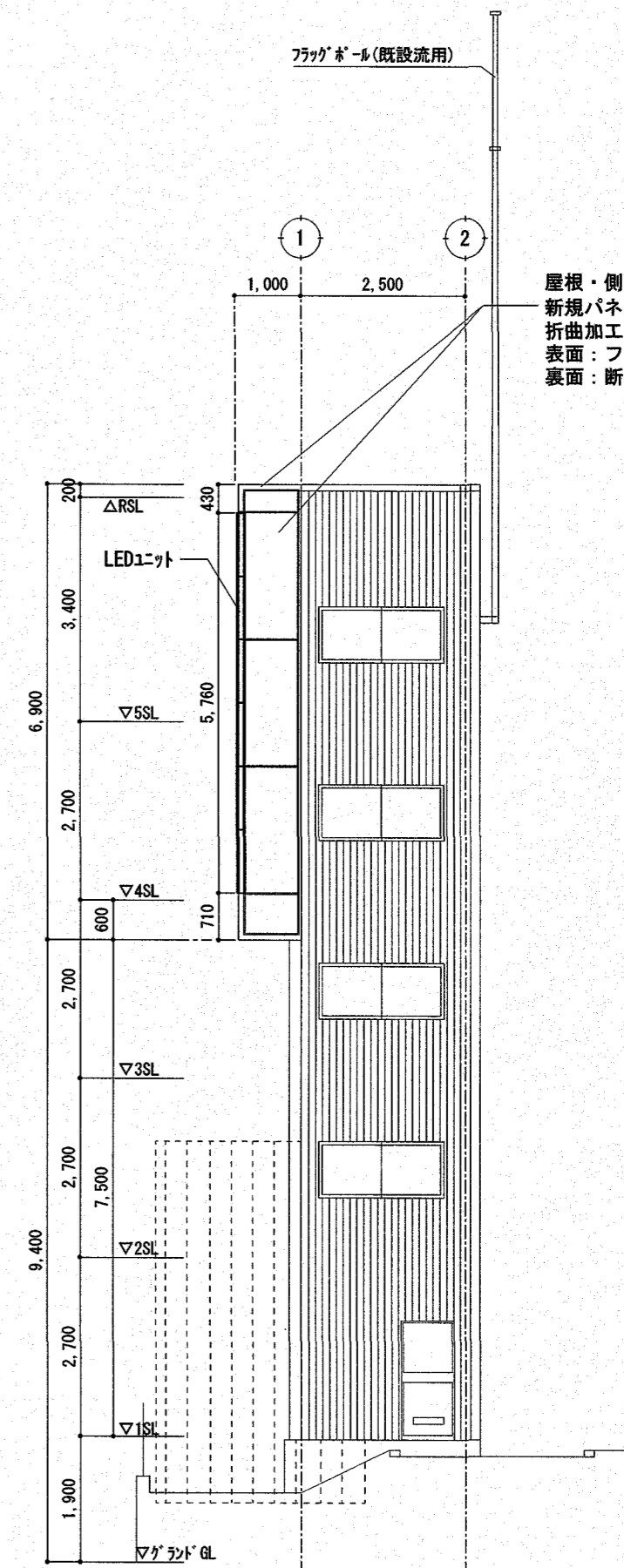
Ⓐ 通り軸組図 S=1/100



Ⓐ 通り側面立面図 S=1/100



Ⓔ +3200 通り軸組図 S=1/100



Ⓔ 通り側面立面 S=1/100

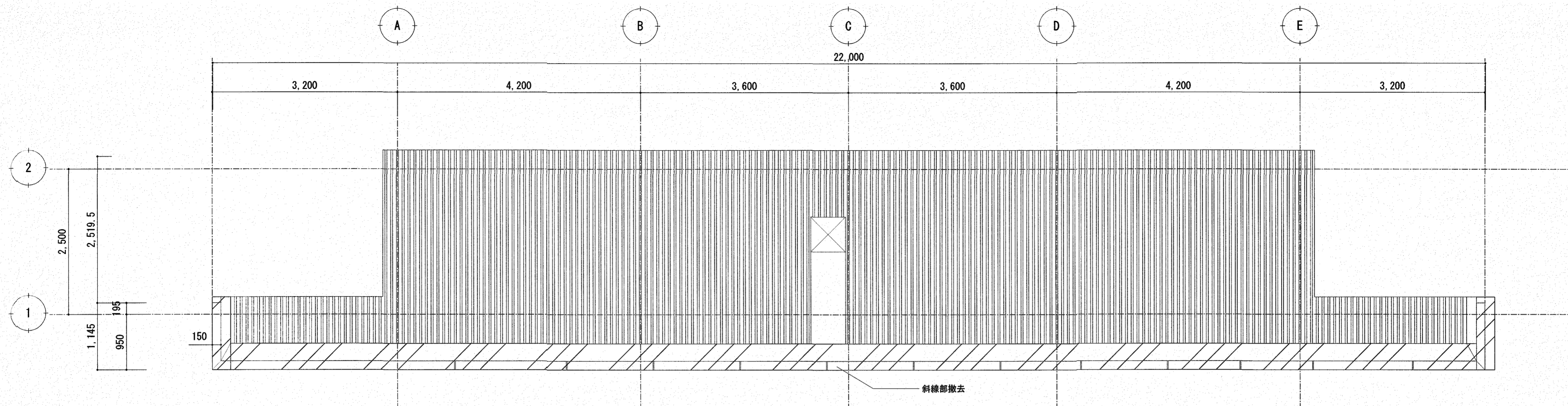
屋根・側面
新規パネル：ガルバニウム鋼板 (t=2.3)
折曲加工 DW=20
表面：フッ素付塗装仕上
裏面：断熱材 (t=15)

屋根・側面
新規パネル：ガルバニウム鋼板 (t=2.3)
折曲加工 DW=20
表面：フッ素付塗装仕上
裏面：断熱材 (t=15)

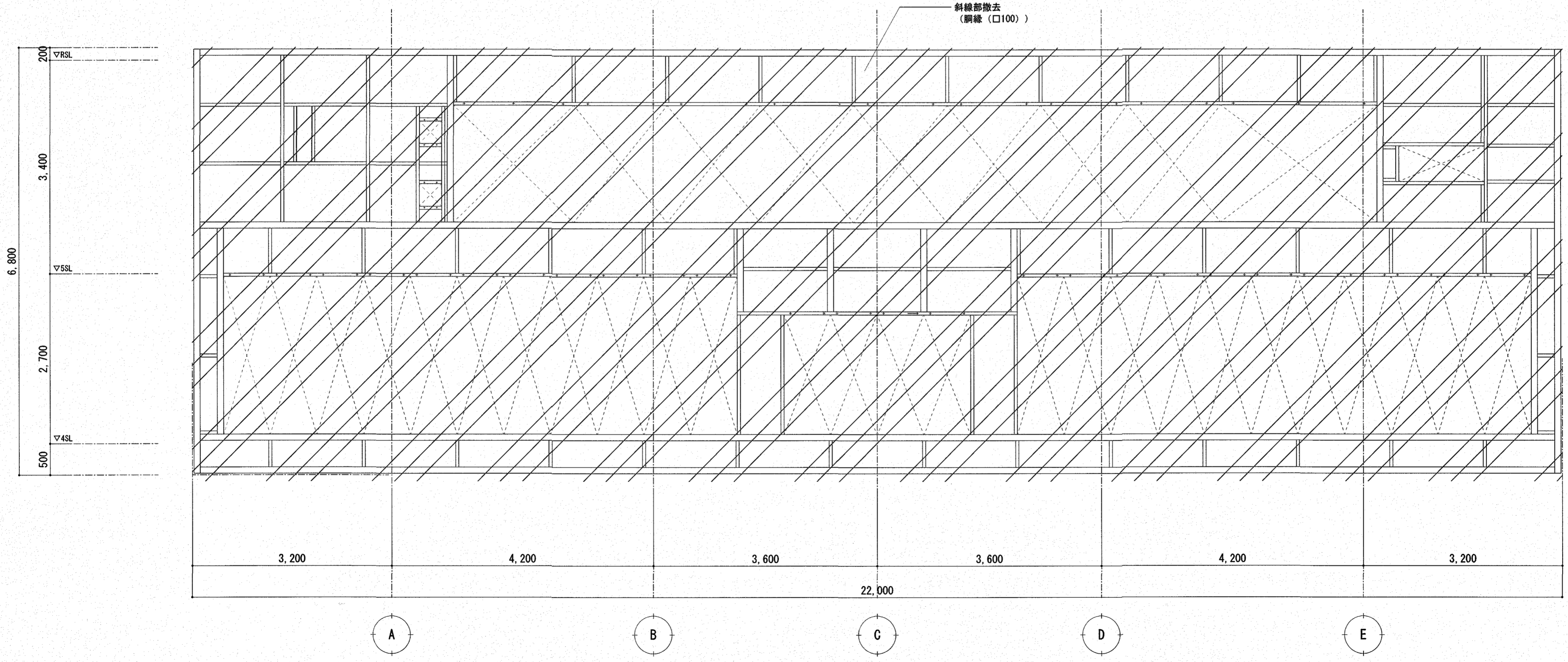
凡例

— 目地部シリング (MS-2) を示す

参考図



屋根ハチ撤去図 S=1/50



胴縁(口100)撤去図 S=1/50

参考図

株式会社 みやび設計
MIYABI DESIGNERS OFFICE
高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
高知県知事登録 1037
管理建築士/一級建築士登録 355523
祖父江 司

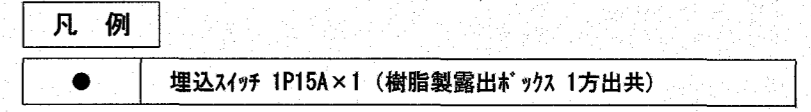
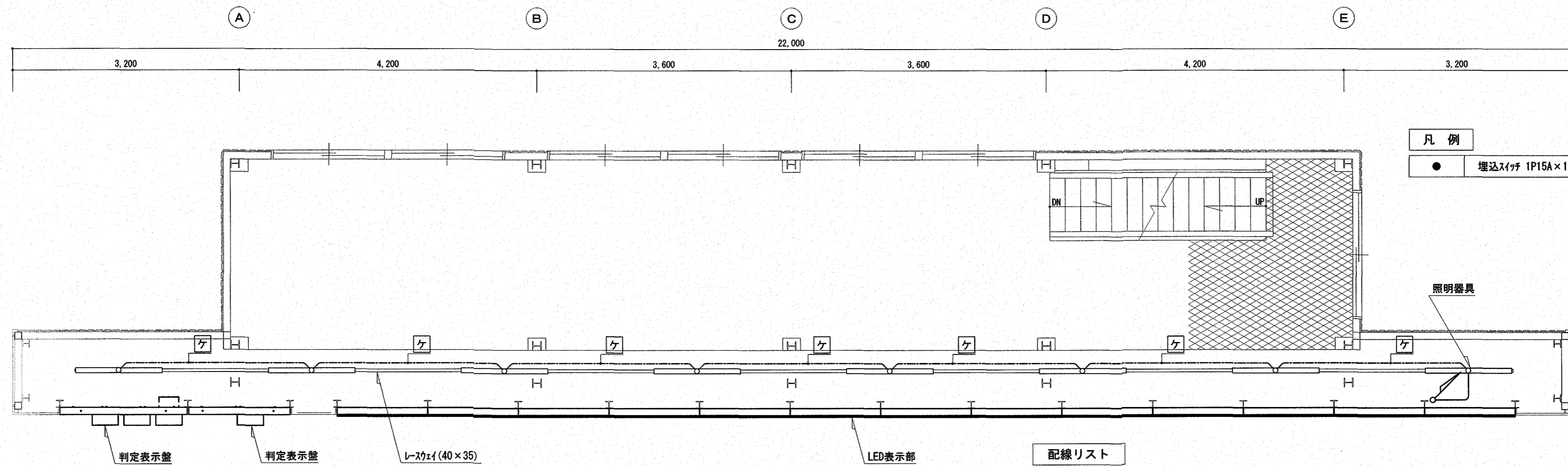
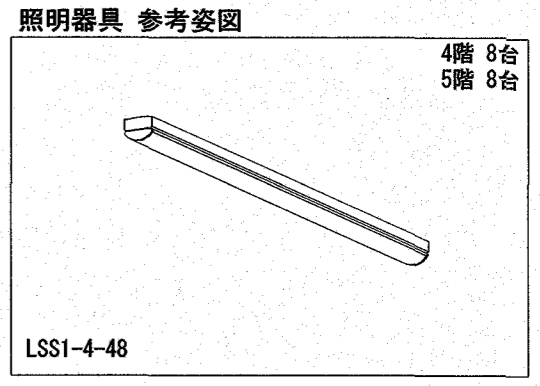
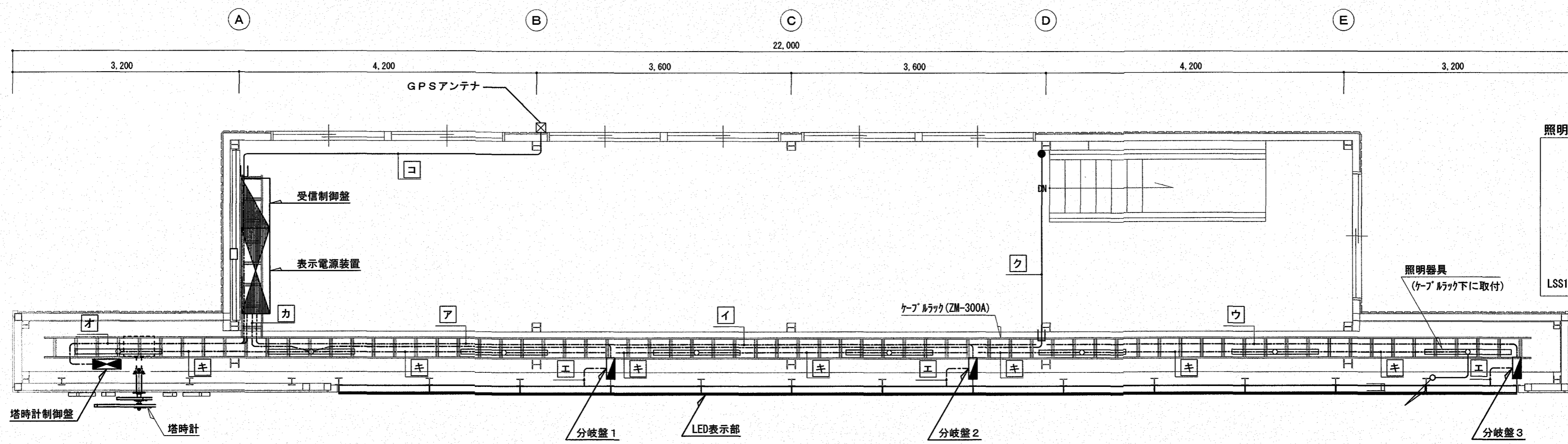
東部球場スコアボード改修工事

project no _____ date _____ drawn by _____ checked by _____

大型映像装置設備 既設胴縁・屋根撤去図
scale 1/50

高知市
都市建設部
公共建築課

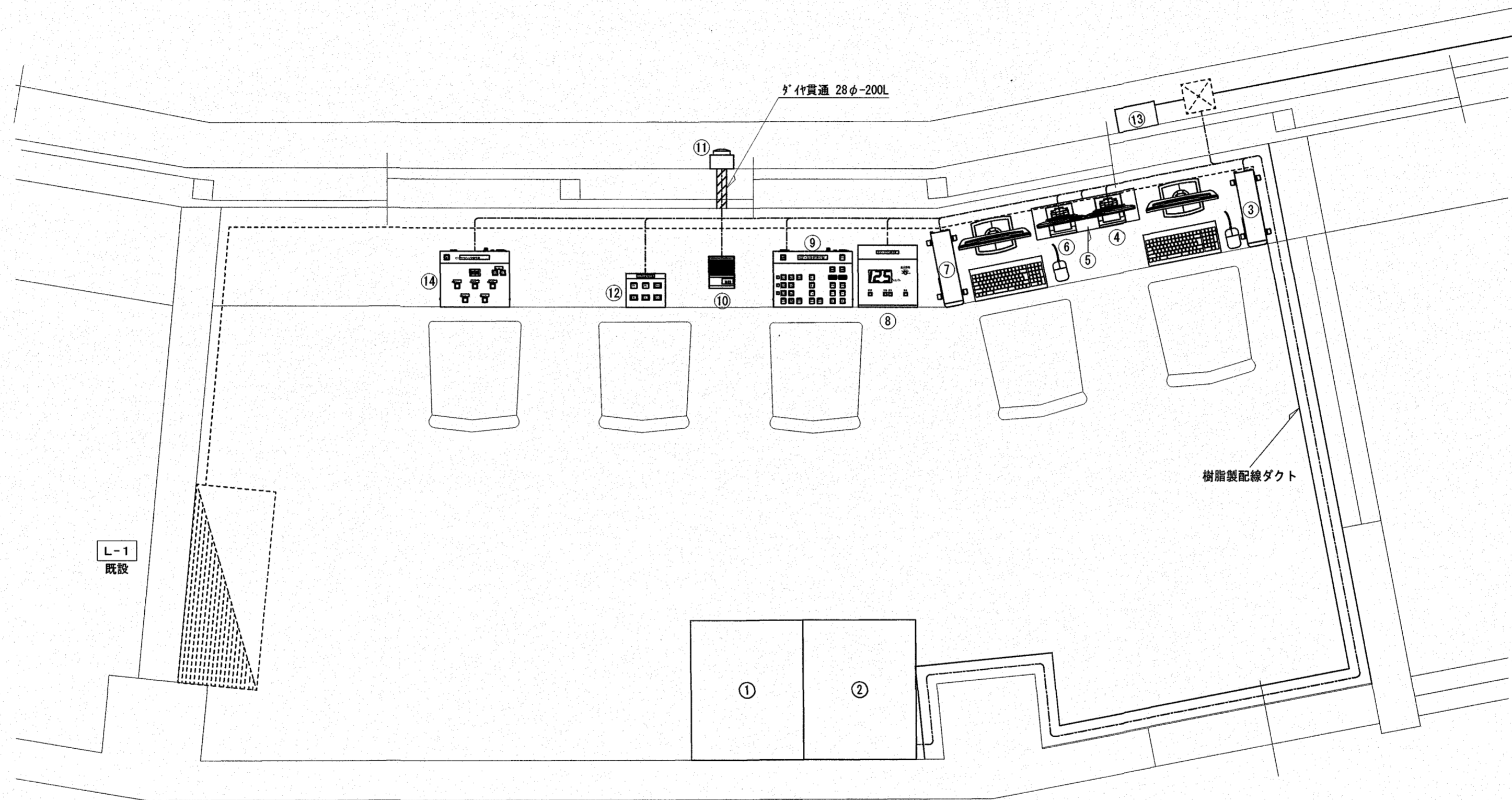
係	係長	課長補佐	課長	電気
				S-15



配線リスト

記号	ケーブル仕様	配管種別	用途	自 ~ 至	備考
ア	CET38 ⁺ , IE5.5 ⁺	ケーブルラック	3φ3W	表示電源装置~分岐盤1	
	CET38 ⁺ , IE5.5 ⁺	ケーブルラック	3φ3W	表示電源装置~分岐盤2	
	CET38 ⁺ , IE5.5 ⁺	ケーブルラック	3φ3W	表示電源装置~分岐盤3	
イ	CET38 ⁺ , IE5.5 ⁺	ケーブルラック	3φ3W	表示電源装置~分岐盤2	
	CET38 ⁺ , IE5.5 ⁺	ケーブルラック	3φ3W	表示電源装置~分岐盤3	
ウ	CET38 ⁺ , IE5.5 ⁺	ケーブルラック	3φ3W	表示電源装置~分岐盤3	
エ	CE3.5 ⁺ -3C×6	ケーブルラック	1φ2W	分岐盤~LED表示部	
オ	CE2 ⁺ -3C	ケーブルラック	1φ2W	表示電源装置~塔時計制御盤	
	MEES0.75 ⁺ -4C	ケーブルラック	制御	GPS7 ⁺ ~塔時計制御盤	
カ	CE3.5 ⁺ -3C	ケーブルラック	1φ2W	表示電源装置~新設照明器具	
キ	CE2 ⁺ -3C	ケーブルラック	1φ2W	新設照明器具間渡り	
ク	CE2 ⁺ -2C	HIVE16	1φ2W	新設照明器具~新設スイッチ	4・5階 一括点灯
ケ	CE2 ⁺ -3C	ケーブルラック	1φ2W	新設照明器具間渡り	
コ	MEES1.25 ⁺ -6C	HIVE16	信号	GPS7 ⁺ ~塔時計制御盤	
	ECTF1.25 ⁺ -5C	HIVE16	信号	GPS7 ⁺ ~塔時計制御盤	

参考図



機器間配線リスト

①② ~ ④	EM-S5C-2V
①② ~ ⑥	EM-S5C-2V
①② ~ ③	EM-UTP0.5-4P Cat5e
①② ~ ⑤	EM-UTP0.5-4P Cat5e
①② ~ ⑦	EM-UTP0.5-4P Cat5e
①② ~ ⑨	付属ケーブル
①② ~ ⑫	付属ケーブル
①② ~ ⑧	付属ケーブル
①② ~ ⑭	付属ケーブル
⑩ ~ ⑪	EM-AE0.9-2C

機器リスト

①	映像機器架	⑪	通話機 (子機)
②	表示制御架	⑫	公式記録操作盤
③	スコア制御装置 No.2	⑬	カメラ接続盤
④	ソースモニター	⑭	ピッチクロック操作盤
⑤	映像切替器		
⑥	出力モニター		
⑦	スコア制御装置 No.1		
⑧	スピードガン操作盤		
⑨	判定・投球数操作盤		
⑩	通話機 (親機)		

放送室 機器配置図 S=1/20

参考図

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																												
機械設備特記事項																																																																																																																																	
① 標識その他	<p>※ 配管表記 (1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠]</p> <p>a) 機械室・ピット・PS内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則としてJIS Z 9102によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。 ※ 機器表記 (該当する主要機器は事前に確認する。)</p> <p>a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記 (管理番号・室名・設置年月等) を行う。 b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板 (製造社名・製造年月・型番・性能等) を盤付近にも設ける。</p> <p>※ 弁には、開閉等を記入したアクリル札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するが、表示方法を協議する。 ※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、GL-150mm程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。</p>	11 メカニカル継手	<p>※ メカニカル継手は伸縮可とう・難燃防止性能を有し、内外面エポキシ粉末塗装を施したものとす。 ※ 改修工事等で鋼管 (ライニング鋼管) を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、JAWWA K 135規格適合品にて処置する。</p>	24 柵	<p>b) 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は、直前に水質検査 (BOD・SS・PH・大腸菌・塩素イオン) を行い、そのコピーを管理業者、施設管理者、監督職員に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見えやすい場所に、型式・施工者名・設置年月・処理能力・放流水質を記入した銘板を設置する。</p>																																																																																																																												
② 総合調整	<p>本工事に該当する工事項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。</p> <p>a) 風量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温湿度の測定 d) 騒音の測定 e) 室内気流及びびんあいの測定 f) 飲料水の品質の測定</p> <p>なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。</p> <p>(2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]</p>	13 埋設管の保護	<p>※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。 (2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠]</p> <table border="1"> <caption>横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th colspan="10">呼び径</th> </tr> <tr> <th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">吊り金物による吊り</td> <td colspan="10">鋼管等</td> <td colspan="4">2.0m</td> <td colspan="4">3.0m</td> </tr> <tr> <td colspan="10">ビニル管等</td> <td colspan="4">1.0m</td> <td colspan="4">2.0m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">形鋼振れ止め支持</td> <td colspan="10">鋼管等</td> <td colspan="4">—</td> <td colspan="4">8.0m</td> <td colspan="4">12m</td> </tr> <tr> <td colspan="10">ビニル管等</td> <td colspan="4">—</td> <td colspan="4">6.0m</td> <td colspan="4">8.0m</td> </tr> </tbody> </table> <p>立て管の固定及び振れ止め箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">固定</th> <th colspan="2">鋼管等</th> <th colspan="2">最下階の床又は最上階の床</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形鋼振れ止め支持</td> <td>鋼管等</td> <td>鋼管等</td> <td>各階1箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ビニル管等</td> <td>ビニル管等</td> <td>各階1箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 国土交通省仕様どおり吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、プラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。</p>	分類	呼び径										15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	吊り金物による吊り	鋼管等										2.0m				3.0m				ビニル管等										1.0m				2.0m				形鋼振れ止め支持	鋼管等										—				8.0m				12m				ビニル管等										—				6.0m				8.0m				固定	鋼管等		最下階の床又は最上階の床		形鋼振れ止め支持	鋼管等	鋼管等	各階1箇所			ビニル管等	ビニル管等	各階1箇所		14 埋設深さ	<p>※ 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 ※ 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消火管は簡易保温管で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]</p>	25 防振施工	<p>※ コンクリート製の柵 (工場製品) には、仕上がり5cm程度に砂利又は砂等で基礎を施す。 ※ プラスチック製の柵には、コンクリート製または既製の複合材製による基礎を施す。 ※ 舗装面に設置されない柵の蓋は、周囲をモルタル等 (厚さ10cm程度) により保護する。 [下水道排水設備指針と解説準拠]</p>
分類	呼び径																																																																																																																																
	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																																																																			
吊り金物による吊り	鋼管等										2.0m				3.0m																																																																																																																		
	ビニル管等										1.0m				2.0m																																																																																																																		
形鋼振れ止め支持	鋼管等										—				8.0m				12m																																																																																																														
	ビニル管等										—				6.0m				8.0m																																																																																																														
固定	鋼管等		最下階の床又は最上階の床																																																																																																																														
	形鋼振れ止め支持	鋼管等	鋼管等	各階1箇所																																																																																																																													
	ビニル管等	ビニル管等	各階1箇所																																																																																																																														
③ 配管材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">配管の種類</th> </tr> <tr> <th>場所</th> <th>屋内露出</th> <th>天井PS内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> <th>屋外埋設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>(3)</td> <td>(3)</td> <td>(4)</td> <td>(3)</td> <td>(16)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水・通気</td> <td>(22)</td> <td>(13)</td> <td>(15)</td> <td>(22)</td> <td>(15)</td> <td>(15):125A以上はVU</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>(9)</td> <td>(9)</td> <td>(9)</td> <td>(9)</td> <td>(17)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(6)</td> <td>(19)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(21)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷媒</td> <td>(10)</td> <td>(10)</td> <td>(10)</td> <td>(10)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器ドレン</td> <td>(23)</td> <td>(23)</td> <td>(23)</td> <td>(23)</td> <td>(15)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>(21)</td> <td>(21)</td> <td>(21)</td> <td>(21)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>(21)</td> <td>(21)</td> <td>(21)</td> <td>(21)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 配管用炭素鋼管 (SGP黒管:JIS G 3452) (2) 配管用炭素鋼管 (SGP白管:JIS G 3452) (3) 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VB:JWWA K 116) (4) 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VD:JWWA K 116) (5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 (SGP-HVA:JWWA K 140) (6) 消火用硬質塩化ビニル管 (SGP-VS:WSP 041) (7) 排水用硬質塩化ビニル管 (D-VA:WSP 042) (8) 配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TP-A:JIS G 3459) (9) 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TPD:JIS G 3448) (10) 断熱材被覆鋼管 (JCDA 0009) (11) 水道用架橋用リフレックス管 (JIS K 6787) (12) 水道用リフレックス二層管 (JIS K 6762)</p> <p>(13) 耐火二層管 (内管VP) (14) 硬質塩化ビニル管 (VP:JIS K 6742) (15) 硬質塩化ビニル管 (VP-VU:JIS K 6741) (16) 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP:JIS K 6742) (17) 耐熱性硬質塩化ビニル管 (HT:JIS K 6776) (18) 水道配水用リフレックス管 (JWWA K 144) ・建築設備用高密度リフレックス管 (19) 消火用リフレックス管 (20) ガス用硬質塩化ビニル管被覆鋼管 (21) ガス用リフレックス管 (JIS K 6774) (22) 硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) (23) 保温材付空調用ドレン管 (JIS G 8430準拠-JIS K 6741)</p> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	配管の種類							場所	屋内露出	天井PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	(3)	(3)	(4)	(3)	(16)		排水・通気	(22)	(13)	(15)	(22)	(15)	(15):125A以上はVU	給湯	(9)	(9)	(9)	(9)	(17)		消火	(6)	(6)	(6)	(6)	(19)		ガス	(20)	(20)	(20)	(20)	(21)		冷媒	(10)	(10)	(10)	(10)	-		機器ドレン	(23)	(23)	(23)	(23)	(15)		冷温水	(21)	(21)	(21)	(21)	-		冷却水	(21)	(21)	(21)	(21)	-		15 防食措置	<p>※ 鋼管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠] ※ 地中に埋設する鋼鉄管・鋼鉄形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。 (給水装置工事施工要領)</p>	26 転倒・落下・傾き防止	<p>※ 機器の振動が建物に影響を及ぼすおそれのあるものは、適切な防振措置を施す。 ※ 電動機等により振動を生じる機器及び配管の固定部にはダブルナットやストッパーボルト等により緩み・脱落防止措置を施す。ナットは、アイマークにより締付けが確認できるようにし、ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 [公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 準拠]</p> <p>※ 床又は壁に設置の機器で重量が大きく重心位置が比較的高い機器については転倒防止措置を施す。 ※ 天吊り機器には振れ止め用形鋼架台や斜材を用いる等して落下・傾き防止措置を適切に施す。 ※ 天吊り機器と吊り金物との接続箇所毎に防振装置を設ける。 [建築設備検査資格者講習テキスト準拠]</p>																																															
配管の種類																																																																																																																																	
場所	屋内露出	天井PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																																																											
給水	(3)	(3)	(4)	(3)	(16)																																																																																																																												
排水・通気	(22)	(13)	(15)	(22)	(15)	(15):125A以上はVU																																																																																																																											
給湯	(9)	(9)	(9)	(9)	(17)																																																																																																																												
消火	(6)	(6)	(6)	(6)	(19)																																																																																																																												
ガス	(20)	(20)	(20)	(20)	(21)																																																																																																																												
冷媒	(10)	(10)	(10)	(10)	-																																																																																																																												
機器ドレン	(23)	(23)	(23)	(23)	(15)																																																																																																																												
冷温水	(21)	(21)	(21)	(21)	-																																																																																																																												
冷却水	(21)	(21)	(21)	(21)	-																																																																																																																												
④ 配管付属品	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">弁の使用区分</th> </tr> <tr> <th>系統名</th> <th>弁名称</th> <th>寸法区分</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">給水</td> <td>ボール弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>ライニング</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">給湯</td> <td>ボール弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>SUS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷温水</td> <td>玉形弁</td> <td>50A以下</td> <td>青銅・管端防食</td> </tr> <tr> <td>バタフライ弁</td> <td>65A以上</td> <td>ライニング</td> </tr> </tbody> </table> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.2.1準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	弁の使用区分				系統名	弁名称	寸法区分	規格	給水	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	バタフライ弁	65A以上	ライニング	給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食	バタフライ弁	65A以上	SUS	冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管端防食	バタフライ弁	65A以上	ライニング	16 保温工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">保温の種類</th> </tr> <tr> <th>場所</th> <th>屋内露出</th> <th>機械室・倉庫</th> <th>天井・PS内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> <th>屋外埋設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>a(n) VII</td> <td>b(n) VII</td> <td>c2(n) VII</td> <td>d(n) VII</td> <td>e3(n) VII</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td>排水</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>屋内空調用ドレン管は保温材付き</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>a(n) I</td> <td>b(n) I</td> <td>c2(n) I</td> <td>d(n) I</td> <td>e3(n) I</td> <td>(A)</td> </tr> <tr> <td>冷媒管</td> <td>A1(n) VII</td> <td>B(n) VII</td> <td></td> <td></td> <td>E3(n) VII</td> <td>断熱材被覆鋼管の場合</td> </tr> <tr> <td>矩形ダクト</td> <td>J1(n) X I</td> <td>I(n) X I</td> <td>I(n) X I</td> <td>-</td> <td>K3(n) X I</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>丸形ダクト</td> <td>O1(n) X I</td> <td>N(n) X I</td> <td>N(n) X I</td> <td>-</td> <td>P3(n) X I</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>弁・継手類</td> <td>a(n)</td> <td>b(n)</td> <td>c2(n)</td> <td>d(n)</td> <td>e3(n)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) ロックウール保温材 (n) グラスウール保温材 (n) ポリスチレンフォーム保温材 (2) 簡易保温筒10mm (k) 簡易保温筒20mm (h) 簡易耐熱保温筒10mm (t) 簡易耐熱保温筒20mm 設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]</p>	保温の種類							場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	給水	a(n) VII	b(n) VII	c2(n) VII	d(n) VII	e3(n) VII	(-)	排水						屋内空調用ドレン管は保温材付き	給湯	a(n) I	b(n) I	c2(n) I	d(n) I	e3(n) I	(A)	冷媒管	A1(n) VII	B(n) VII			E3(n) VII	断熱材被覆鋼管の場合	矩形ダクト	J1(n) X I	I(n) X I	I(n) X I	-	K3(n) X I	-	丸形ダクト	O1(n) X I	N(n) X I	N(n) X I	-	P3(n) X I	-	弁・継手類	a(n)	b(n)	c2(n)	d(n)	e3(n)	-	27 特定天井への対応	<p>天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。</p>																																
弁の使用区分																																																																																																																																	
系統名	弁名称	寸法区分	規格																																																																																																																														
給水	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食																																																																																																																														
	バタフライ弁	65A以上	ライニング																																																																																																																														
給湯	ボール弁	50A以下	青銅・管端防食																																																																																																																														
	バタフライ弁	65A以上	SUS																																																																																																																														
冷温水	玉形弁	50A以下	青銅・管端防食																																																																																																																														
	バタフライ弁	65A以上	ライニング																																																																																																																														
保温の種類																																																																																																																																	
場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設																																																																																																																											
給水	a(n) VII	b(n) VII	c2(n) VII	d(n) VII	e3(n) VII	(-)																																																																																																																											
排水						屋内空調用ドレン管は保温材付き																																																																																																																											
給湯	a(n) I	b(n) I	c2(n) I	d(n) I	e3(n) I	(A)																																																																																																																											
冷媒管	A1(n) VII	B(n) VII			E3(n) VII	断熱材被覆鋼管の場合																																																																																																																											
矩形ダクト	J1(n) X I	I(n) X I	I(n) X I	-	K3(n) X I	-																																																																																																																											
丸形ダクト	O1(n) X I	N(n) X I	N(n) X I	-	P3(n) X I	-																																																																																																																											
弁・継手類	a(n)	b(n)	c2(n)	d(n)	e3(n)	-																																																																																																																											
⑤ スリープ	<p>国土交通省仕様とする。ただし、水密を要する部分は配管用ステンレス鋼管及び水密強化ゴムリングを用いる。 (2.2.2.27準拠)</p>	17 塗装	<p>亜鉛鍍金面の塗装下地は化学処理 (エッチングプライマ) を施す。 (2.3.2.1) [2.3.2.1]</p>	28 耐震施工	<p>設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 (2014年版)」及び建設大臣官房官庁営繕部監修の「官庁施設の総合耐震設計基準及び同解説 (平成8年版)」による。局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置層により選定する。100kg以上の機器に適用し、それ以下の機器については監督職員と協議する。 給湯設備の転倒防止措置は、建築基準法施行令第129条の2の7第2号及び同令に基づく告示 (平成24年国土交通省告示第1447号) の定めによる。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。</p>																																																																																																																												
⑥ 支持材料	<p>※ 1階土間コンクリート下部配管は、ステンレス製吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・形鋼振れ止め金物・吊り金物・インサート金物・アンカーボルトはステンレス製とする。 ※ 形鋼振れ止め支持部材の選定は、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) に準ずるものとし、既製品は使用しない。 ※ 冷媒管の吊り用支持受け材として、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に保護プレートを設置する。</p>	18 はつり工事	<p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 [2.4.1.3]</p>	29 別途工事	<p>・ スリープ及び箱入れの補強筋 ・ 床点検口 ・ 洗面化粧台水栓及び排水金物 ・ レンジフードファン ・ 化粧鏡 (多機能便所) ・ コンクリート基礎 (室外機 ・ ポンペ庫)</p> <p>・ ガラリー ・ 天井点検口 ・ キッチン台水栓及び排水金物 ・ シャワーユニット換気扇 ・ 化粧鏡 (一般便所)</p> <p>・ 窓枠アルミパネル ・ 天井及び壁開口に対する下地補強 ・ シャワーユニット水栓及び排水金物 ・ 化粧鏡 (一般便所)</p> <p>・ 給湯機器及び空調機器のリモコン記録用配管</p> <p>設計図面に本工事で施工の旨が個別に記載されたものについてはこれによらない。</p>																																																																																																																												
⑦ さや管工法	<p>さや管ヘッダー工法で施工する場合、さや管施工後に配管挿入を行い、同時施工としない。</p>	19 非破壊検査	<p>はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋、配管類の位置に曇出しを行う。 [2.4.1.1]</p>	30 支給品	<p>メーカーリスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機材名</th> <th>メーカー名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>衛生陶器</td><td>TOTO, LIXIL</td></tr> <tr><td>水栓金具類</td><td>TOTO, LIXIL, 三栄水栓</td></tr> <tr><td>FRP水槽</td><td>三菱樹脂, 日立化成, 積水, プリヂストン</td></tr> <tr><td>うず巻ポンプ</td><td>荏原, 日立, テラル, 川本</td></tr> <tr><td>水中モーターポンプ</td><td>荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見</td></tr> <tr><td>汚水・汚物ポンプ</td><td>荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見, 新明和</td></tr> <tr><td>電気温水器</td><td>四友テック, ユパック, 日本電熱, パナソニック, 三菱, 日立</td></tr> <tr><td>厨房機器</td><td>日本調理, フジマック, 北沢, ホシザキ四国, タニコー, マルゼン</td></tr> <tr><td>小型鋼板ボイラー</td><td>巴, 昭和, 愛知, ネボン, ヒラカワ</td></tr> <tr><td>FRP膨張水槽</td><td>三菱樹脂, 日立化成, ホーコス</td></tr> <tr><td>ルームエアコン</td><td>ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア</td></tr> <tr><td>パッケージエアコン</td><td>ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア</td></tr> <tr><td>冷温水発生機</td><td>矢崎, 日立, 荏原, 川重, 三菱重工</td></tr> <tr><td>エアハンドリングユニット</td><td>新晃, ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日立, 木村, 日本キャリア, 三菱重工</td></tr> <tr><td>送風機</td><td>テラル, 荏原, パナソニック, 谷山, ミツヤ, 旭電業</td></tr> <tr><td>冷却塔</td><td>矢崎, 日立, 荏原シンワ, 空研, 日本スピンドル</td></tr> <tr><td>自動制御機器</td><td>アズビル, ジョンソンコントロールズ</td></tr> <tr><td>ロールフィルター</td><td>日本スピンドル, 東洋空気調和, 日本エアフィルタ</td></tr> <tr><td>全熱交換形換気扇</td><td>三菱, パナソニック, テラル, 日本キャリア, 日立, ダイキン</td></tr> <tr><td>その他</td><td>国土交通省仕様適合品</td></tr> </tbody> </table>	機材名	メーカー名	衛生陶器	TOTO, LIXIL	水栓金具類	TOTO, LIXIL, 三栄水栓	FRP水槽	三菱樹脂, 日立化成, 積水, プリヂストン	うず巻ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本	水中モーターポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見	汚水・汚物ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見, 新明和	電気温水器	四友テック, ユパック, 日本電熱, パナソニック, 三菱, 日立	厨房機器	日本調理, フジマック, 北沢, ホシザキ四国, タニコー, マルゼン	小型鋼板ボイラー	巴, 昭和, 愛知, ネボン, ヒラカワ	FRP膨張水槽	三菱樹脂, 日立化成, ホーコス	ルームエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア	パッケージエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア	冷温水発生機	矢崎, 日立, 荏原, 川重, 三菱重工	エアハンドリングユニット	新晃, ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日立, 木村, 日本キャリア, 三菱重工	送風機	テラル, 荏原, パナソニック, 谷山, ミツヤ, 旭電業	冷却塔	矢崎, 日立, 荏原シンワ, 空研, 日本スピンドル	自動制御機器	アズビル, ジョンソンコントロールズ	ロールフィルター	日本スピンドル, 東洋空気調和, 日本エアフィルタ	全熱交換形換気扇	三菱, パナソニック, テラル, 日本キャリア, 日立, ダイキン	その他	国土交通省仕様適合品																																																																																		
機材名	メーカー名																																																																																																																																
衛生陶器	TOTO, LIXIL																																																																																																																																
水栓金具類	TOTO, LIXIL, 三栄水栓																																																																																																																																
FRP水槽	三菱樹脂, 日立化成, 積水, プリヂストン																																																																																																																																
うず巻ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本																																																																																																																																
水中モーターポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見																																																																																																																																
汚水・汚物ポンプ	荏原, 日立, テラル, 川本, 鶴見, 新明和																																																																																																																																
電気温水器	四友テック, ユパック, 日本電熱, パナソニック, 三菱, 日立																																																																																																																																
厨房機器	日本調理, フジマック, 北沢, ホシザキ四国, タニコー, マルゼン																																																																																																																																
小型鋼板ボイラー	巴, 昭和, 愛知, ネボン, ヒラカワ																																																																																																																																
FRP膨張水槽	三菱樹脂, 日立化成, ホーコス																																																																																																																																
ルームエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア																																																																																																																																
パッケージエアコン	ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日本キャリア																																																																																																																																
冷温水発生機	矢崎, 日立, 荏原, 川重, 三菱重工																																																																																																																																
エアハンドリングユニット	新晃, ダイキン, 三菱, 日立, パナソニック, 日立, 木村, 日本キャリア, 三菱重工																																																																																																																																
送風機	テラル, 荏原, パナソニック, 谷山, ミツヤ, 旭電業																																																																																																																																
冷却塔	矢崎, 日立, 荏原シンワ, 空研, 日本スピンドル																																																																																																																																
自動制御機器	アズビル, ジョンソンコントロールズ																																																																																																																																
ロールフィルター	日本スピンドル, 東洋空気調和, 日本エアフィルタ																																																																																																																																
全熱交換形換気扇	三菱, パナソニック, テラル, 日本キャリア, 日立, ダイキン																																																																																																																																
その他	国土交通省仕様適合品																																																																																																																																
⑧ 変位吸収配管施工	<p>※ 建築物導入部及びエキスパンションジョイント部は、フレキシブルジョイント等を使用した方法で施工する。 ※ 埋設管の屋内外接続部では、地盤沈下等の変位に対して可とう継手、伸縮可とう継手等を用いる等の措置を講じる。 設計図面に個別の記載がない場合は、伸縮継手、自在継手を使用してもよい。 ※ 埋設管と露出配管の切替部 (配管立ち上がり部) に伸縮継手を設ける。 [給水装置工事施工要領準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠]</p>	22 ダクト及びダクト付属品	<p>空調ダクト材料 ※ 亜鉛鍍板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ ステンレス製 換気ダクト材料 ※ 亜鉛鍍板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ ステンレス製 屋外フード ウェザーカバーはステンレス製・給排気形・水切り付きとし、ベンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。 原則として、排気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。</p>	打合せ事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th>官公庁等名</th> <th>高知市水道局</th> <th>打合せ日時</th> <th>令和 年 月 日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>打合せ事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>官公庁等名</th> <th></th> <th>打合せ日時</th> <th>令和 年 月 日</th> </tr> <tr> <td>打合せ事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>官公庁等名</th> <th></th> <th>打合せ日時</th> <th>令和 年 月 日</th> </tr> <tr> <td>打合せ事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	官公庁等名	高知市水道局	打合せ日時	令和 年 月 日	打合せ事項				官公庁等名		打合せ日時	令和 年 月 日	打合せ事項				官公庁等名		打合せ日時	令和 年 月 日	打合せ事項																																																																																																							
官公庁等名	高知市水道局	打合せ日時	令和 年 月 日																																																																																																																														
打合せ事項																																																																																																																																	
官公庁等名		打合せ日時	令和 年 月 日																																																																																																																														
打合せ事項																																																																																																																																	
官公庁等名		打合せ日時	令和 年 月 日																																																																																																																														
打合せ事項																																																																																																																																	
⑨ フランジ接合	<p>※ 屋外及びピット内のフランジ接合材は、ステンレス製とし焼付防止処理を施す。 ※ 異種管のフランジ接合は、絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー等による絶縁フランジ接合とする。</p>	23 合併処理浄化槽	<p>・ 浄化槽の使用開始後概ね3ヶ月間の試運転調整を行う。浄化槽法による「保守点検及び清掃等」のほか下記の事項による。 a) 最低限の点検回数は、小型・沈殿分離方式は月に1回、流量調整槽のある場合は2週に1回とする。</p>																																																																																																																														
⑩ 融着接合	<p>ポリエチレン管融着接合作業における技能者は、十分な経験と技能を有するものとする。</p>																																																																																																																																

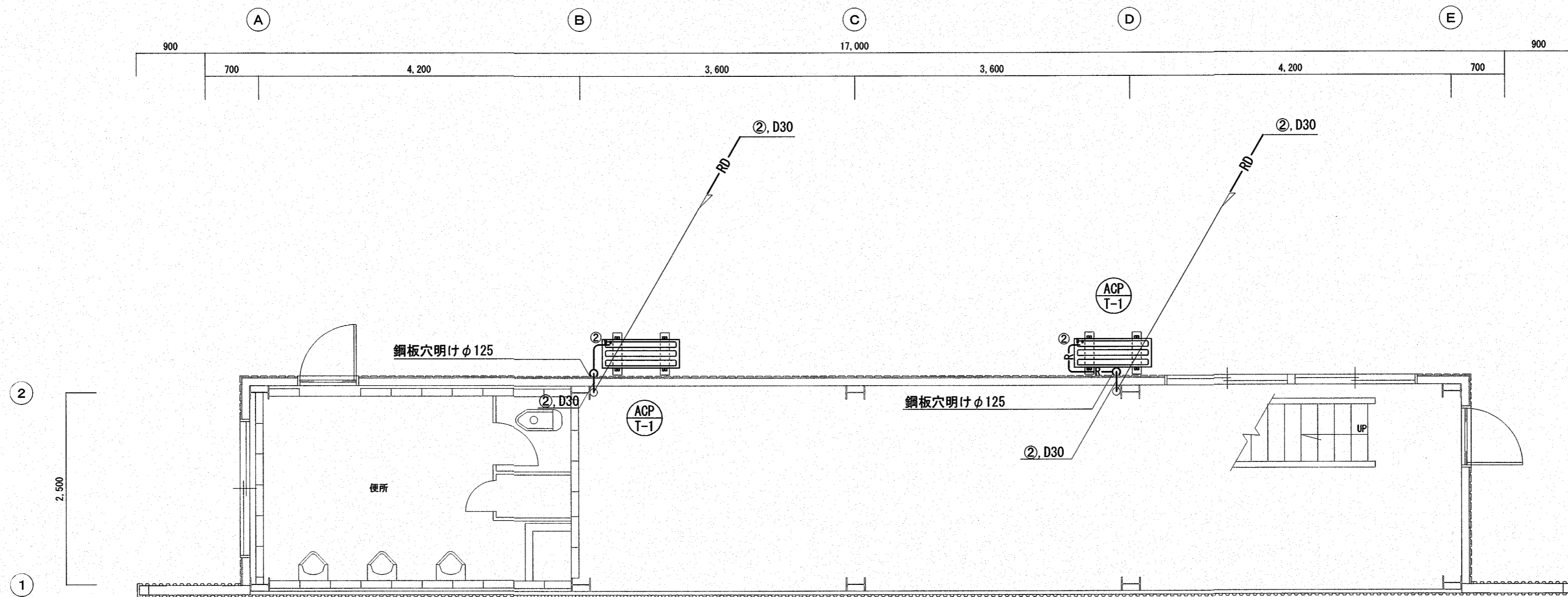
高知市 都市建設部 公共建築課

東部球場スコアボード改修工事



M-01

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
東部球場スコアボード改修工事					M-01
図面名	機械特記仕様書 (1)	更新日	2025.10.1	作図	年 月 日



1階平面図 S=1/50

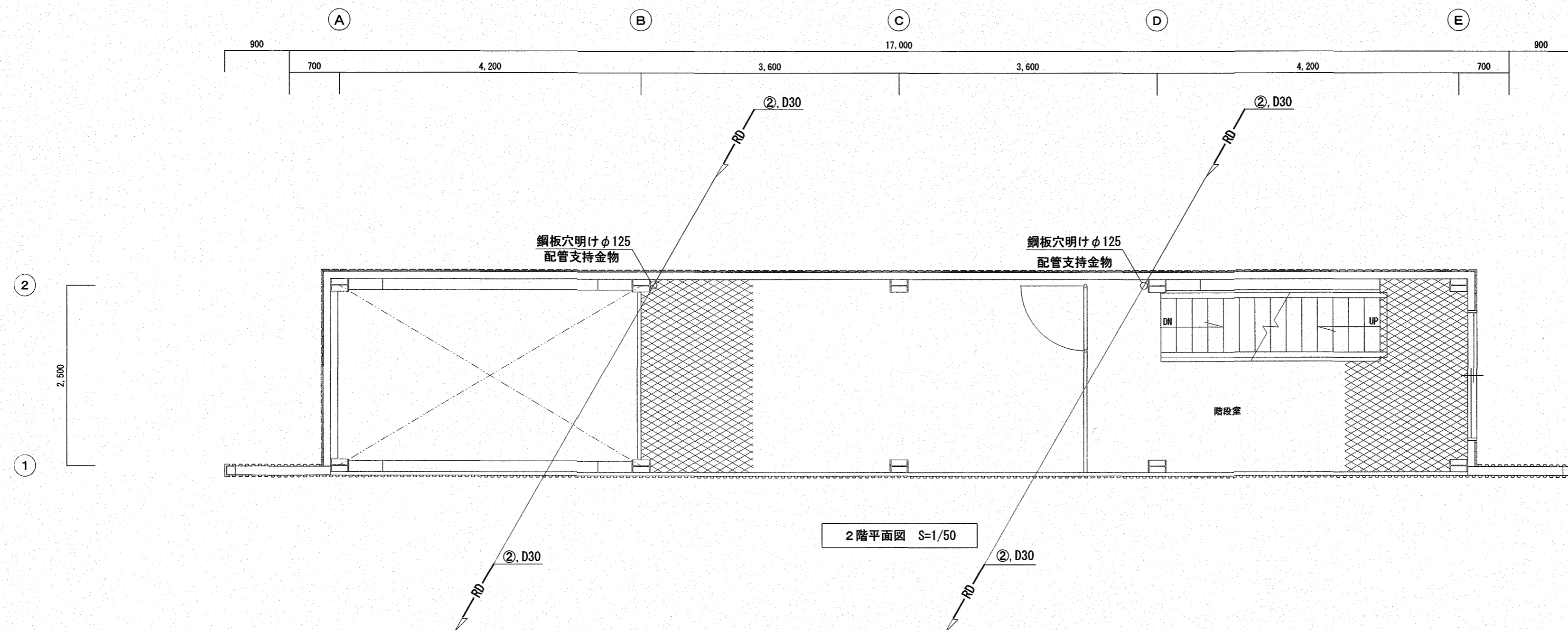
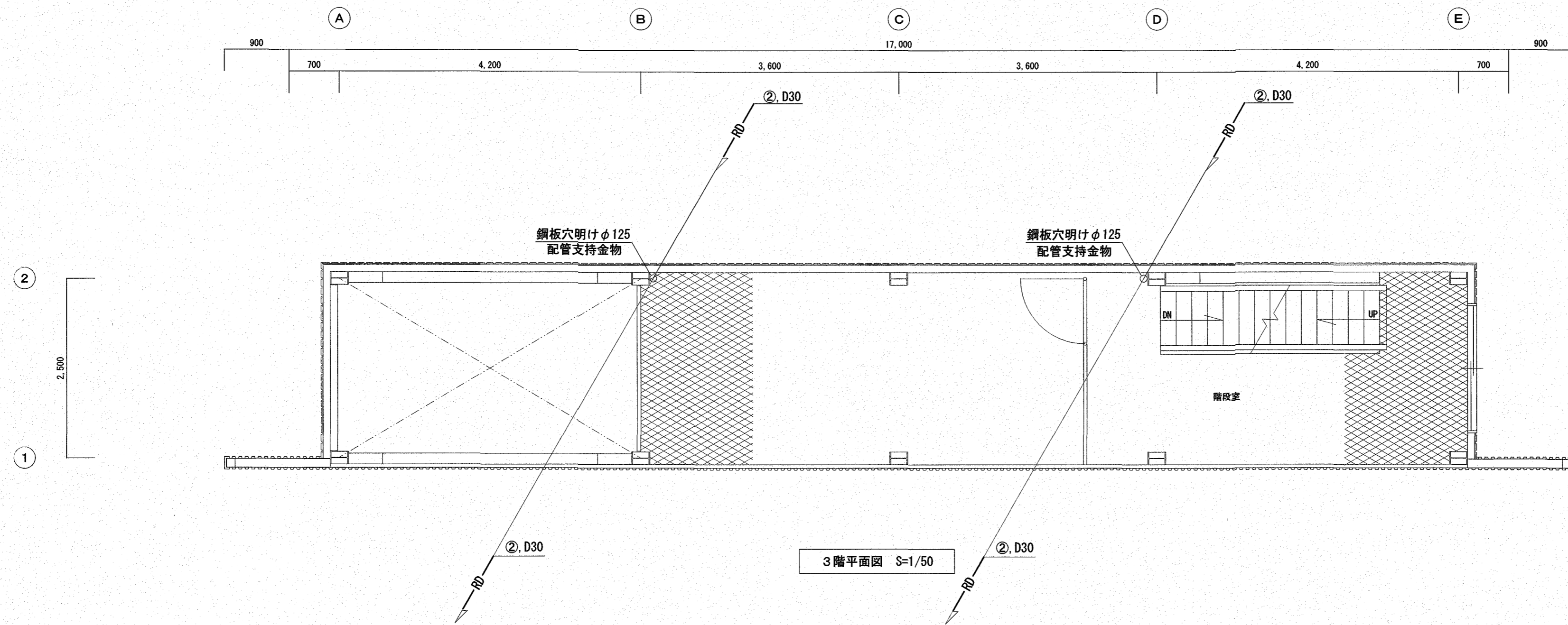
冷暖房機器表										
記号	名称	仕様			電源	数量	備考			
ACP T-1	空気熱源ヒートポンプ式 インバータエアコン 【パッケージエアコン】 同時ツイン	冷房能力	25.0kW (室内機 12.5kW×2)	消費電力	9.05kW	3φ200V	2	5階		
		暖房能力	28.0kW (室内機 14.0kW×2)	消費電力	8.08kW					
		天吊形		圧縮機室力	6.48kW				送風機室力	室内機: 0.139kW×2 室外機: 0.20kW×2
		R32		振れ止め金具、防振ゴム、転倒防止金具、ドレンソケット、コンクリート架台						
		冷媒配管サイズ: 液φ9.52×ガスφ25.4(9.52×15.88)								

	液	ガス
①	9.52	15.88
②	9.52	25.4

※ EM-CEE1.25-4C電源渡り線は、冷媒共巻とする。

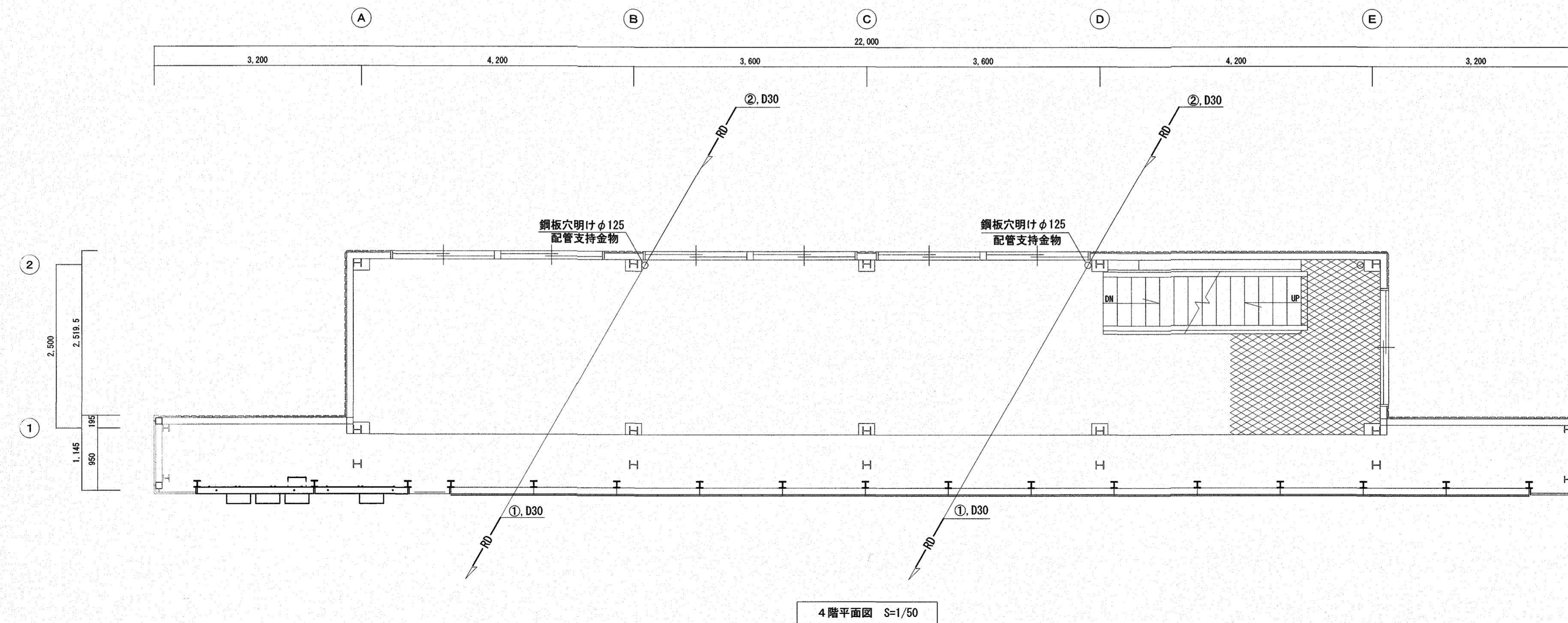
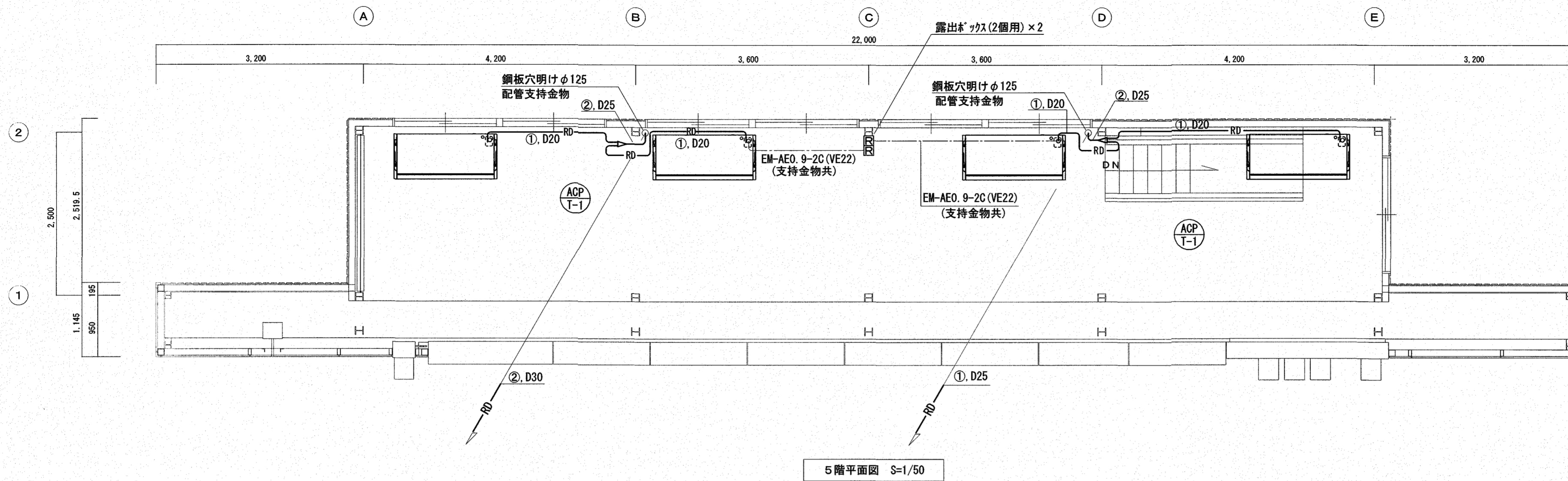
機器	メーカー最高効率機種とする。(JIS 8616:2015) 冷媒にオゾン層を破壊する物質が使用されていない機種とする。	電気工事	リモコン線及び制御線は本工事とする。 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを設置する場合は同保温外装内に納めること。 室外機の一次側電源送り電源線は電気工事とする。 空調用リモコンスイッチの配管配線、スイッチボックスはVEにて設置とする。
冷媒配管	冷媒配管は、断熱材皮覆鋼管 (国土交通仕様保温厚) を使用する。 冷媒配管の追加冷媒充填は本工事に含む。(追加した時は追加量を記録する。)	その他	リモコンスイッチの取付位置は監督職員と打合せの上決定すること。 外壁冷媒管貫通部はコーキングを行い、雨仕舞いに注意して施工すること。 架台取付用ボルト・ナット・ワッシャー・アンカーボルトは溶融亜鉛メッキとし、配管支持金物も溶融亜鉛メッキとする。 屋内機据付は振れ止め金物(アリス製品)を取付けとする。
ドレン配管	空調ドレン配管天井内は保温材付ドレンパイプ及び同等品とする。 露出部は硬質塩化ビニル管 (カラーVP) とする。		
配管外装	屋外露出部の配管は溶融亜鉛鋼板ラッキング、屋内露出部の配管は樹脂製配管化粧カバーとする。 冷媒配管の貫通部はコーキング等により止水処理を行うこと。		
基礎工事	コンクリート基礎 550×120×120H		

※ 電気特性は JIS B 8616に規定された定格条件による。



	液	ガス
①	9.52	15.88
②	9.52	25.4

※ EM-CEE1.25-4C電源渡り線は、冷媒共巻とする。



	液	ガス
①	9.52	15.88
②	9.52	25.4

※ EM-CEE1.25-4C電源渡り線は、冷媒共巻とする。

株式会社 **みやび設計**
MIYABI DESIGNERS OFFICE
高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
高知県知事登録 1037
管理建築士/一級建築士登録 355523
祖父江 司

東部球場スコアボード改修工事

project no _____ date _____ drawn by _____ checked by _____

空調設備 スタンド棟4・5階平面図
scale 1/50

高知市
都市建設部
公共建築課

係	係長	課長補佐	課長	機械
				M-04

<p>2025.10</p> <p>東部球場スコアボード改修工事</p> <p>I 建築工事仕様</p> <p>1. 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>特記事項に記載の()内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>2. 適用基準等</p> <p>図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁管理課長の以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) 建築工事標準詳細図 (令和4年版) 敷地調査共通仕様書 (令和4年版) 建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 	
--	--

項目	特記事項																																						
一般共通事項																																							
① 技能士及び技能資格者	<p>※適用する(○：一級, ●：二級) [1.7.2][1.7.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> <tr> <td>・仮設工事</td> <td>※●とび作業(又は足場組立作業主任者)</td> </tr> <tr> <td>○鉄筋工事</td> <td>※○鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>○コンクリート工事</td> <td>・○コンクリート圧送工事作業 ・○型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>・鉄骨工事</td> <td>※●とび作業</td> </tr> <tr> <td>・ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>・防水工事</td> <td>・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴム系シート防水工事作業 ・○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業 ・○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・石工事</td> <td>※○石張り作業</td> </tr> <tr> <td>・タイル工事</td> <td>※○タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>・木工事</td> <td>※○大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>○屋根及びびとい工事</td> <td>・○かわらぶき ・●スレート工事作業 ○○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>・金属工事</td> <td>・○鋼製下地工事作業 ・(単一)金属製バルコニー工事作業</td> </tr> <tr> <td>・左官工事</td> <td>※○左官作業</td> </tr> <tr> <td>・建具工事</td> <td>・○ビル用サッシ施工作業 ・○木製建具製作 ・○ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>・カーテンウォール工事</td> <td>※○金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td>○塗装工事</td> <td>※○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>・内装工事</td> <td>・○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・○壁装作業 ・●カーペット系床仕上げ工事作業 ・○畳製作作業 ・○ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・植栽工事</td> <td>※○造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>・○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業</td> </tr> </table> <p>適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。</p>	工事種別	技能検定の作業の種別	・仮設工事	※●とび作業(又は足場組立作業主任者)	○鉄筋工事	※○鉄筋組立作業	○コンクリート工事	・○コンクリート圧送工事作業 ・○型枠工事作業	・鉄骨工事	※●とび作業	・ブロック・ALCパネル工事	・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業	・防水工事	・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴム系シート防水工事作業 ・○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業 ・○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○FRP防水工事作業	・石工事	※○石張り作業	・タイル工事	※○タイル張り作業	・木工事	※○大工工事作業	○屋根及びびとい工事	・○かわらぶき ・●スレート工事作業 ○○内外装板金作業	・金属工事	・○鋼製下地工事作業 ・(単一)金属製バルコニー工事作業	・左官工事	※○左官作業	・建具工事	・○ビル用サッシ施工作業 ・○木製建具製作 ・○ガラス工事作業	・カーテンウォール工事	※○金属製カーテンウォール工事作業	○塗装工事	※○建築塗装作業	・内装工事	・○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・○壁装作業 ・●カーペット系床仕上げ工事作業 ・○畳製作作業 ・○ボード仕上げ工事作業	・植栽工事	※○造園工事作業	・その他	・○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業
工事種別	技能検定の作業の種別																																						
・仮設工事	※●とび作業(又は足場組立作業主任者)																																						
○鉄筋工事	※○鉄筋組立作業																																						
○コンクリート工事	・○コンクリート圧送工事作業 ・○型枠工事作業																																						
・鉄骨工事	※●とび作業																																						
・ブロック・ALCパネル工事	・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業																																						
・防水工事	・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴム系シート防水工事作業 ・○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業 ・○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○FRP防水工事作業																																						
・石工事	※○石張り作業																																						
・タイル工事	※○タイル張り作業																																						
・木工事	※○大工工事作業																																						
○屋根及びびとい工事	・○かわらぶき ・●スレート工事作業 ○○内外装板金作業																																						
・金属工事	・○鋼製下地工事作業 ・(単一)金属製バルコニー工事作業																																						
・左官工事	※○左官作業																																						
・建具工事	・○ビル用サッシ施工作業 ・○木製建具製作 ・○ガラス工事作業																																						
・カーテンウォール工事	※○金属製カーテンウォール工事作業																																						
○塗装工事	※○建築塗装作業																																						
・内装工事	・○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・○壁装作業 ・●カーペット系床仕上げ工事作業 ・○畳製作作業 ・○ボード仕上げ工事作業																																						
・植栽工事	※○造園工事作業																																						
・その他	・○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業																																						
② 直接仮設の養生	<p>内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。</p>																																						
③ 建築材料等	<p>本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。</p> <p>ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>県内産資材の優先使用</p> <p>本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。</p> <p>注1： 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。</p> <p>ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。</p> <p>注2： 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。</p>																																						
④ 特別な材料の工法	<p>公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。</p>																																						

項目	特記事項
⑤ 風圧力	<p>本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。</p> <p>風速(Vo)： ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分： ※ III ・ II</p>
⑥ 仕上面の出隅処理	<p>内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。</p> <p>木部(家具を含む) 6mm程度</p> <p>コンクリート、モルタル部 20mm程度</p> <p>鉄部、金属部 3mm程度</p> <p>建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。</p>
仮設工事(改修)	
① 足場その他	<p>内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1]</p> <p>外部足場 ※本足場</p> <p>外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ○メッシュシート ・防音シート ・防音パネル</p> <p>材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種</p> <p>C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示)</p> <p>D種の場合 利用可能な階段(※図示)</p> <p>・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。</p> <p>本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。</p>
② 養生	<p>○既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1]</p> <p>○既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等</p> <p>・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示</p> <p>・固定された備品等の移動 ※図示</p> <p>・開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。</p>
3 仮設間仕切り(屋内)	<p>設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1]</p> <p>間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>A種、B種の場合</p> <p>仕上げの材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm</p> <p>塗装仕上げ等 ・行う ※行わない</p> <p>仮設扉設置箇所 ※図示</p> <p>仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示</p>
4 監督職員事務所	<p>・設ける(n程度) ※設けない</p>

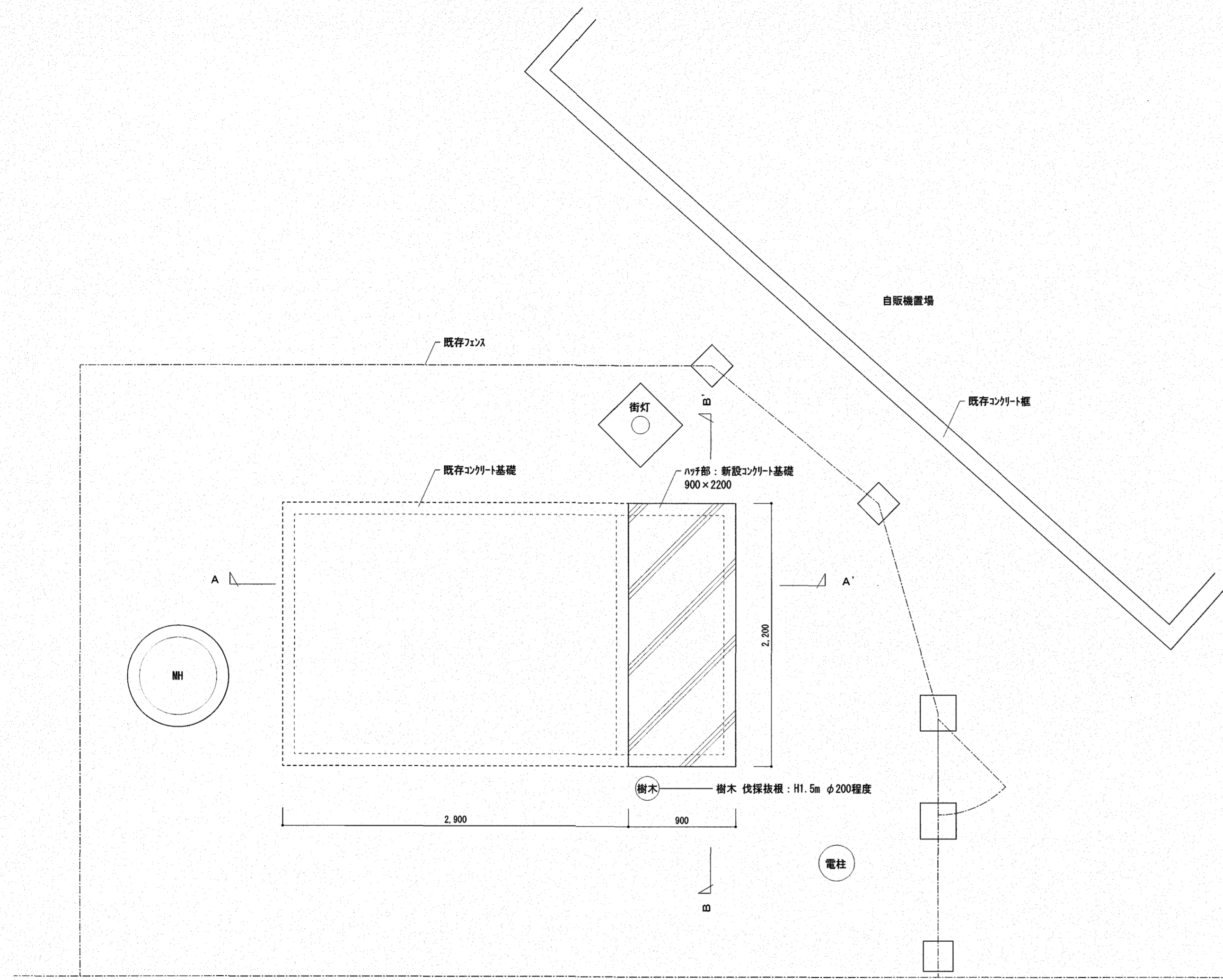
項目	特記事項																																																																																				
塗装改修工事																																																																																					
① 一般事項	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする [7.1.3]</p> <p>防火材料 ※屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3]</p> <p>・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)</p>																																																																																				
② 下地調整	<p>塗替えR B種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す [7.2.1]</p> <p>[7.2.2~7.2.7][表7.2.1~表7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種別</th> <th>ひび割れの補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り ※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル面、プラスター面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面</td> <td>※R B種 ○R C種</td> <td>・行う ○行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面</td> <td>○R C種</td> <td>・行う ○行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面・その他ボード面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> </table>	下地面の種類	下地調整の種別	ひび割れの補修	木部	不透明塗料塗り ※R B種	・		透明塗料塗り	・	鉄鋼面	※R B種	・	亜鉛めっき鋼面	※R B種	・	モルタル面、プラスター面	※R B種	・	コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面	※R B種 ○R C種	・行う ○行わない	コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面	○R C種	・行う ○行わない	せっこうボード面・その他ボード面	※R B種	・																																																									
下地面の種類	下地調整の種別	ひび割れの補修																																																																																			
木部	不透明塗料塗り ※R B種	・																																																																																			
	透明塗料塗り	・																																																																																			
鉄鋼面	※R B種	・																																																																																			
亜鉛めっき鋼面	※R B種	・																																																																																			
モルタル面、プラスター面	※R B種	・																																																																																			
コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面	※R B種 ○R C種	・行う ○行わない																																																																																			
コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面	○R C種	・行う ○行わない																																																																																			
せっこうボード面・その他ボード面	※R B種	・																																																																																			
③ 素地ごしらえ	<p>[7.3.2~7.3.7][表7.3.1~表7.3.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り ※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り ・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td>・A種 ・B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・A種 ○B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスター面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート・ALCパネル面(DP以外)</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート(DP)</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面(継目処理工法)</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面</td> <td>・A種 ※B種</td> </tr> </table>	下地面等	種別	木部	不透明塗料塗り ※A種 ・B種		透明塗料塗り ・A種 ※B種	鉄鋼面(DP以外)	・A種 ・B種 ※C種	鉄鋼面(DP)	・A種 ※B種 ・C種	亜鉛めっき鋼面	・A種 ○B種	モルタル面及びプラスター面	・A種 ※B種	コンクリート・ALCパネル面(DP以外)	・A種 ※B種	コンクリート(DP)	・A種 ・B種	押出成形セメント板面	・A種 ・B種	せっこうボード面(継目処理工法)	※A種 ・B種	せっこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面	・A種 ※B種																																																												
下地面等	種別																																																																																				
木部	不透明塗料塗り ※A種 ・B種																																																																																				
	透明塗料塗り ・A種 ※B種																																																																																				
鉄鋼面(DP以外)	・A種 ・B種 ※C種																																																																																				
鉄鋼面(DP)	・A種 ※B種 ・C種																																																																																				
亜鉛めっき鋼面	・A種 ○B種																																																																																				
モルタル面及びプラスター面	・A種 ※B種																																																																																				
コンクリート・ALCパネル面(DP以外)	・A種 ※B種																																																																																				
コンクリート(DP)	・A種 ・B種																																																																																				
押出成形セメント板面	・A種 ・B種																																																																																				
せっこうボード面(継目処理工法)	※A種 ・B種																																																																																				
せっこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面	・A種 ※B種																																																																																				
④ 錆止め塗料の種別	<p>[7.3.3, 7.4.2~7.4.3][表7.3.3, 表7.4.1~表7.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">DP</td> <td rowspan="3">塗替え</td> <td rowspan="3">新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>1回目 C種</td> <td>※A種</td> <td rowspan="3">※B種 ・C種</td> <td rowspan="3">※B種</td> </tr> <tr> <td>2, 3回目 D種</td> <td>※E種</td> </tr> <tr> <td>2, 3回目 D種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内(EP-G)</td> <td rowspan="3">塗替え</td> <td rowspan="3">新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">亜鉛めっき鋼面</td> <td rowspan="3">塗替え</td> <td rowspan="3">鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>[表7.4.6]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">DP</td> <td rowspan="3">塗替え</td> <td rowspan="3">鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>[表7.4.6]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>[表7.4.6]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>[表7.4.6]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内(EP-G)</td> <td rowspan="3">塗替え</td> <td rowspan="3">鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※C種</td> <td>※C種</td> <td>※C種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>※C種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>※C種</td> <td>※B種</td> <td></td> </tr> </table>	鉄鋼面	塗装面		塗料		工程		SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※C種	※A種 ・B種	※B種 ・A種	DP	塗替え	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	1回目 C種	※A種	※B種 ・C種	※B種	2, 3回目 D種	※E種	2, 3回目 D種	※A種	屋内(EP-G)	塗替え	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	※A種	※C種	※B種	※B種	※A種	※B種		※B種	※A種	※B種		亜鉛めっき鋼面	塗替え	鋼製建具 鋼製建具以外	※A種 ・B種	※A種	※A種 ・B種	※A種	※B種 ・A種	※B種	※B種 ・A種		※B種	※B種	[表7.4.6]		DP	塗替え	鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※B種	[表7.4.6]		※B種	※B種	[表7.4.6]		※B種	※B種	[表7.4.6]		屋内(EP-G)	塗替え	鋼製建具 鋼製建具以外	※C種	※C種	※C種	※B種 ・A種	※C種	※C種	※A種		※C種	※C種	※B種	
鉄鋼面	塗装面		塗料		工程																																																																																
	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※C種	※A種 ・B種	※B種 ・A種																																																																															
DP	塗替え	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	1回目 C種	※A種	※B種 ・C種	※B種																																																																															
			2, 3回目 D種	※E種																																																																																	
			2, 3回目 D種	※A種																																																																																	
屋内(EP-G)	塗替え	新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	※A種	※C種	※B種																																																																															
			※B種	※A種	※B種																																																																																
			※B種	※A種	※B種																																																																																
亜鉛めっき鋼面	塗替え	鋼製建具 鋼製建具以外	※A種 ・B種	※A種	※A種 ・B種	※A種																																																																															
			※B種 ・A種	※B種	※B種 ・A種																																																																																
			※B種	※B種	[表7.4.6]																																																																																
DP	塗替え	鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※B種	[表7.4.6]																																																																																
			※B種	※B種	[表7.4.6]																																																																																
			※B種	※B種	[表7.4.6]																																																																																
屋内(EP-G)	塗替え	鋼製建具 鋼製建具以外	※C種	※C種	※C種	※B種 ・A種																																																																															
			※C種	※C種	※A種																																																																																
			※C種	※C種	※B種																																																																																

項目	特記事項																																																																																																										
⑤ 塗装の種別	<p>[7.3.2, 7.5.2~7.13.2][表7.5.1~表7.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>略号</th> <th>塗装</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・SOP</td> <td rowspan="4">合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種</td> <td>木部(屋外)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td></td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・NAD</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td></td> <td>※B種 ・A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○DP</td> <td rowspan="3">耐水性塗料塗り 上塗り塗料等級 ○1級 ・2級 ・3級</td> <td>鉄鋼面</td> <td>表7.8.1</td> <td>表7.8.1</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>表7.8.2</td> <td>表7.8.2</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びFCP面等</td> <td>○A-2 ・B-2 ・C-2</td> <td>・A-1 ・B-1 ・C-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">・EP-G</td> <td rowspan="7">つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>プラスター面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・EP</td> <td rowspan="4">合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>プラスター面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・UC</td> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン</td> <td>・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>・WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>CL A種の場合の塗料の種類</p> <p>UC 着色 ・適用する</p> <p>OS 仕様 ・図示</p>	略号	塗装	塗装面	塗替え	新規	・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種	木部(屋内)	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・A種	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種			鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)	※A種	※B種	・CL	クリヤラッカー塗り		※B種 ・A種	※B種 ・A種	・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		※B種 ・A種	※B種 ・A種	○DP	耐水性塗料塗り 上塗り塗料等級 ○1級 ・2級 ・3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1	亜鉛めっき鋼面	表7.8.2	表7.8.2	コンクリート面及びFCP面等	○A-2 ・B-2 ・C-2	・A-1 ・B-1 ・C-1	・EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・A種	モルタル面	※B種	※B種 ・A種	プラスター面	※B種	※B種 ・A種	せっこうボード面	※B種	※B種 ・A種	その他ボード面	※B種	※B種 ・A種	屋内木部	※A種	※A種	屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種		屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種 ・B種	・EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・A種	モルタル面	※B種	※B種 ・A種	プラスター面	※B種	※B種 ・A種	せっこうボード面	※B種	※B種 ・A種			その他ボード面	※B種	※B種 ・A種	・UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		※B種	※B種 ・A種	・ステイン	・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)		表7.12.1	表7.12.1	・WP	木材保護塗料塗り		※B種	※B種
略号	塗装	塗装面	塗替え	新規																																																																																																							
・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種																																																																																																							
		木部(屋内)	※B種	※B種																																																																																																							
		鉄鋼面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																																																																							
		鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)	※A種	※B種																																																																																																							
・CL	クリヤラッカー塗り		※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																																							
・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		※B種 ・A種	※B種 ・A種																																																																																																							
○DP	耐水性塗料塗り 上塗り塗料等級 ○1級 ・2級 ・3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1																																																																																																							
		亜鉛めっき鋼面	表7.8.2	表7.8.2																																																																																																							
		コンクリート面及びFCP面等	○A-2 ・B-2 ・C-2	・A-1 ・B-1 ・C-1																																																																																																							
・EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		モルタル面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		プラスター面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		せっこうボード面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		その他ボード面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		屋内木部	※A種	※A種																																																																																																							
		屋内鉄鋼面	※B種	※A種 ・B種																																																																																																							
	屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種 ・B種																																																																																																								
・EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		モルタル面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		プラスター面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		せっこうボード面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
		その他ボード面	※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
・UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		※B種	※B種 ・A種																																																																																																							
・ステイン	・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)		表7.12.1	表7.12.1																																																																																																							
・WP	木材保護塗料塗り		※B種	※B種																																																																																																							

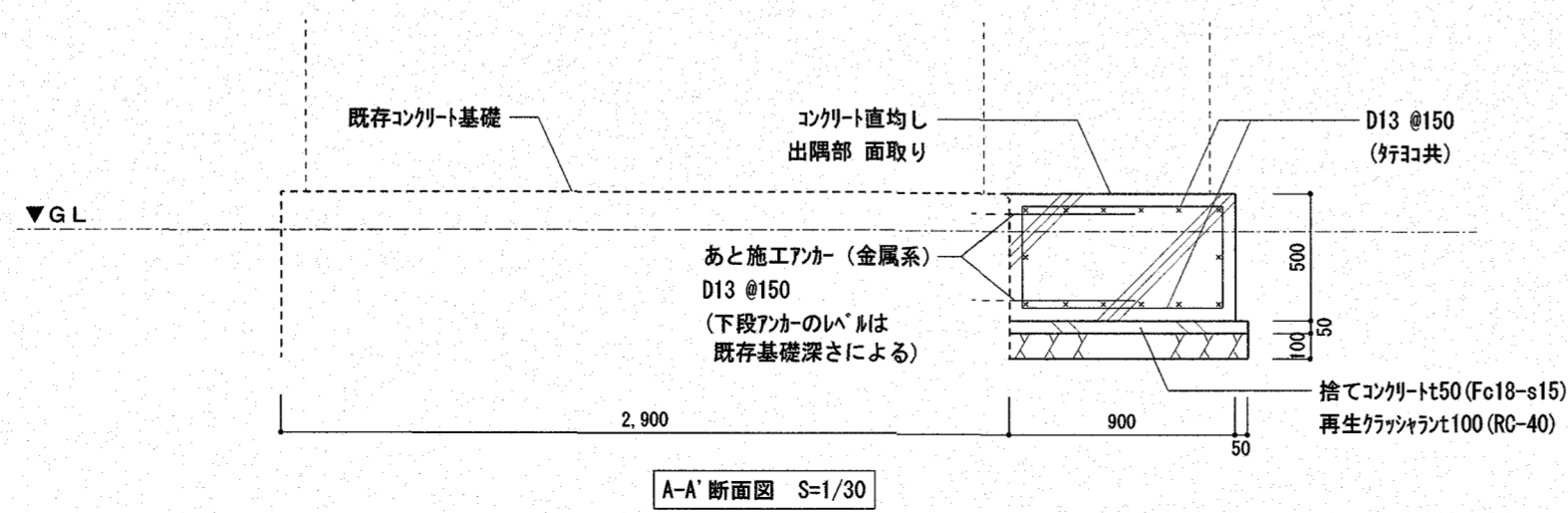
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
金属工事		5 鋼杭地業	材料 (4.4.3)(表4.4.1) ・鋼管ぐい 種類の記号(・SKK400 ・SKK490) ・H形鋼ぐい 種類の記号(・SHK400 ・SHK490M) 寸法 ※ 図示 工法 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 杭の根入れ長さ: ※ 図示 杭の精度: 水平方向の位置ずれの精度・杭径の1/4かつ100mm以内・傾斜 1/100以内 杭の継手の工法 ※ 図示 (4.4.5) ・杭頭処理 杭頭の切断方法 ※ ガス切断 図示 (4.4.6)	6 圧接完了後の試験 (5.4.10) 7 機械式継手 (5.5.3) 鉄筋相互のあき (5.5.3) ・評定等の内容による 図示 施工完了後の継手部の試験 (5.5.5) ・外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示	
① あと施工アンカー	施工後の確認(引張試験)・行う ○行わない 確認強度 () (14.1.3)	6 場所打ち コンクリート杭地業	掘削工法 ・アースドリル工法 (安定液 ※使用する・使用しない) (4.5.1)(4.5.5) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り・行う・行わない) 併用する工法・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.1)(4.5.6) ・拡底杭工法 (安定液・使用する・使用しない) 帯筋の加工及び組立て: ※ 図示 (4.5.4) 鉄筋の最小かぶり厚さ 100mm 図示 (4.5.4) 鉄筋かごの補強 ※ 図示 (4.5.4) 鉄筋の節ごとの継手 ※ 重ね継手 (4.5.4) セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 (4.5.4) コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 図示 (4.5.4) コンクリートの種別 ※ 表4.5.1による (4.5.4) スランブ ※ 18cm (4.5.4) 構造体強度補正值(S) ※ 3N/mm ² (4.5.4) 鋼管(鋼管部分の材料) ※ 図示 (4.5.4) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 (4.5.4~4.5.5) 孔壁の確認 ・行う(超音波測定器による)・行わない (4.5.4~4.5.5) 杭の精度: 水平方向の位置ずれ・杭径の1/4かつ100mm以下・傾斜 1/100以内	8 溶接継手 (5.6.3) 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級 鉄筋相互のあき (5.6.3) ・評定等の内容による 図示 施工完了後の継手部の試験 (5.6.5) ・外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示	
2 表面処理	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1) 表面処理の種類 施工箇所(成形板、笠木、手すり、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種 ・常温乾燥型の塗装の場合 () 陽極酸化皮膜の着色方法 (14.2.1) ※二次電解着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2) 表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、タラップ以外) 溶融亜鉛めっき ・A種 ・B種 ・C種 電気亜鉛めっき ・D種 ・E種 ・F種	7 砂利及び砂地業 (4.6.2) 材料 (4.6.2) 砂利地業 ※ 切込砂利又は切込砕石 ※ 再生クラッシュラン(直接基礎下を除く) 砂地業 ・山砂 ・川砂又は砕砂 厚さ ○ 図示 ※ 60mm (4.6.3)	コンクリート工事 ① コンクリートの種類・強度・スランブ (6.2.1~6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2) ※普通コンクリート (6.2.1)(表6.2.1) 設計基準強度 Fc(N/mm ²) スランブ(cm) 適用箇所 ※21 ・15 ○18 全て ・18 ・15 ・18 ・ ※軽量コンクリート (6.2.1)(表6.2.1) 設計基準強度 Fc(N/mm ²) スランブ(cm) 適用箇所 ※21 ・15 ・18 ・18 ・15 ・18 ・ コンクリートの種類 ※ I類 ・ II類 (6.2.1)(表6.2.1) ② セメントの種類 (6.3.1)(6.13.2) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 () ・高炉セメントB種 (適用箇所:) ・フライアッシュセメントB種(適用箇所:) ・ ③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ※A E剤又はA E減水剤標準形 (JIS A 6204) ・高性能A E減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ ・混和材 ・フライアッシュ(・I種・II種・IV種) (JIS A 6201) ・コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) ・コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)		
土工事		8 捨コンクリート地業 (6.14.1) コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm ² ・18cm スランブ ※ 15cm (4.6.4) 厚さ ※ 50mm	⑤ コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2) 適用部位 ※ 下表 図示 (6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2) 種別 コンクリートの内外装仕上げ 平たんさ 適用部位による仕上げの目安 a種 コクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合 3mにつき7mm以下 化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 酸紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り 合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フォアフェスタ(置敷式) b種 仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合 3mにつき10mm以下 仕上げ塗り 外装タイルモルタル張り カーペット張り 防水下地 セルフレバリング材塗り c種 仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合 1mにつき10mm以下 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り モルタル二重床		
3 山留め	山留め工法 山留めの撤去 ※ 撤去する ・ 存置する (3.3.3)	9 床下防湿層 (4.6.5) 施工範囲 ※ 建物内土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピット下を除く) (断熱材がある場合は、断熱材の直下) ・図示 ・ポリエチレンフィルムの厚さ ※ 0.15mm	⑥ 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)(表5.3.2~表5.3.3) 継手の位置 ※ 図示 ○配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に行う場合 ※ 図示 (表5.3.2)(5.3.4)(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・5.3.4(3)による (表5.3.4)(5.3.4)(5)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所、種類 ※ 図示		
地業工事		⑦ 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1) 種類の記号 呼び名 使用箇所 ○SD295 D13 全て ・SD345 ・SD390 ・SD490 ・SR235 ・SR295	⑦ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B ⑧ 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※表6.3.2による 6 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 (6.6.4)(9.7.3) 打継ぎ目地の寸法 ※ 9.7.3(1)(7)による (6.6.4)(9.7.3) ひび割れ誘発目地の位置 ※ 図示 (6.8.1) ひび割れ誘発目地の形状及び寸法 ※ 9.7.3(1)(7)による (6.8.1)(9.7.3)		
1 試験杭	位置、本数、寸法 ※ 図示 (4.2.2) 杭の種類 ※ 本杭	⑧ 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)(表5.3.2~表5.3.3) 継手の位置 ※ 図示 ○配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に行う場合 ※ 図示 (表5.3.2)(5.3.4)(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・5.3.4(3)による (表5.3.4)(5.3.4)(5)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所、種類 ※ 図示	⑨ 床型特用鋼製デッキプレート (6.8.3) 評価名簿による (6.8.3) 使用箇所 厚さ 備考		
2 杭の載荷試験	試験の種類 ・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験 (4.2.3) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 試験深さ ・設計GLより()m 試験対象土質 最大荷重 ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示	⑨ 鉄筋のかぶり厚さ (表5.3.6)(5.3.5) ※表5.3.6による ※かぶり厚さは目地底から算定する。 ・被害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施工箇所等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ・軽量コンクリートで土に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5)			
3 地盤の載荷試験	試験の種類 ※ 平板載荷試験 試験位置 ()箇所 ※ 図示 (4.2.4) 試験深さ ・設計GLより()m 試験対象土質 最大荷重 ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示	⑩ 各部の配筋 (5.3.7) ※ 図示			
4 既製コンクリート杭地業	杭の種類 ※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) (4.3.3) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) 種類、性能、曲げ強度等による区分等 ※ 図示 寸法及び継手の箇所数 ※ 図示 (4.3.3) 杭先端部の形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉塞形 ※ 図示 (4.3.3) 工法 ・セメントミルク工法 (4.3.4) 支持層の位置及び土質: ※ 図示 掘削深さ及び杭の支持層への根入れ深さ: ※ 図示 杭の精度: 水平方向の位置ずれ寸法 ・杭径の1/4かつ100mm以内・傾斜 1/100以内 ・特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 工法: 支持層の位置及び土質: ※ 図示 杭の根入れ長さ: ※ 図示 杭の精度: 水平方向の位置ずれの精度・杭径の1/4かつ100mm以内・傾斜 1/100以内 杭の継手工法 ※ アーク溶接 (4.3.6) ・機械式継手 (工法: ※ 性能評価された工法 ・杭頭の処理 杭頭の切断方法 ※ ダイヤモンドカッター (4.3.8)				

高知市 都市建設部 公共建築課

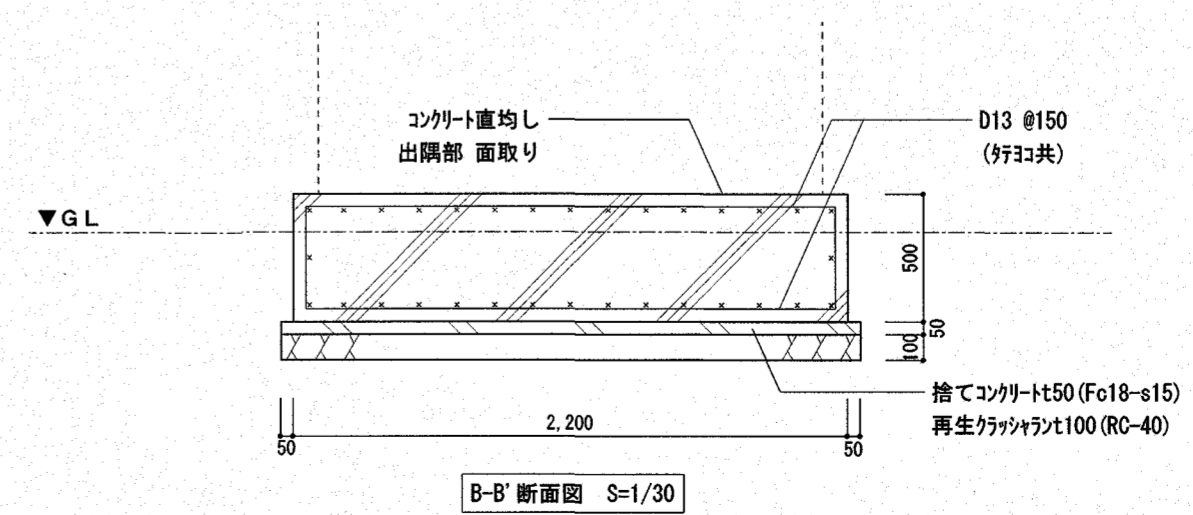
工事名	東部球場スコアボード改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	建築特記仕様書(2)	2025.10	縮尺	1/		A / 02
作図	年	月	日			



平面図 S=1/30



A-A' 断面図 S=1/30



B-B' 断面図 S=1/30

特記
 ■普通コンクリート 設計基準強度 Fc21-s15
 ■鉄筋工事 異形棒鋼 SD295 D13

株式会社 **みやび設計**
 MIYABI DESIGNERS OFFICE
 高知県高知市土居町5-1 TEL 088-831-1156 FAX 088-831-1158

一級建築士事務所
 高知県知事登録 1037
 管理建築士/一級建築士登録 355523
 祖父江 司

東部球場スコアボード改修工事
 project no _____ date _____
 drawn by _____ checked by _____

キュービクル基礎詳細図
 scale 1/30

高知市
 都市建設部
 公共建築課

係	係長	課長補佐	課長	建築
				A-04